YONEX CUP JAPAN OPEN '85
BADMINTON CHAMPIONSHIPS



主　催／財団法人日本バドミントン協会(N.B.A.)
公　認／国際バドミントン連盟(I.B.F.)
主　管／東京都バドミントン協会
　　群馬県バドミントン協会
協　賛／ヨネックス株式会社



霧と液の2アクション、新男性化粧品テック21はmild & sexyなレザータバック+フローラルシプレーの香り。都会的で野性的な新・男の体臭です。

テック・ツーワン **TECH 21**



●ヘアリキッド●ヘアトニック●リキッドブロー●プレーコロン●アフターシェーブローション●ヘアクリーム　全6品・各1,000円　発売元 資生堂商事株式会社

ヨネックスカップ・ジャパンオープン'85バドミントン選手権大会
YONEX CUP JAPAN OPEN '85 BADMINTON CHAMPIONSHIPS



ヨネックスカップはジャパンオープンの勝者のしるしです。5回目を迎えて、賞金総額といい、参加するプレイヤーの質といい、運営の公正かつ円滑さも含めて、高い評価を得ています。

新しい年の幕明けを飾るにふさわしいジャパンオープンは、その年のプレイヤーの活躍を占う意味でも重要視され、すでに〝西の全英〟と比肩するトーナメントに成長してまいりました。

The plates of Yonex Cup are awarded to the winners of Japan Cup.
The 5th Japan Open is highly appraised in view of increased tournament prize money. The world top level of competition, and fairly smooth operation.
Being held in the begining of new year, Japan Open is evaluated as one of the most important international tournaments to know top players' starting condition and furthermore to evaluate their performances of the coming full season of the new year.
With the above, this Japan Open has been grown to be reputed as equally important as Yonex All England Open.



一流プレーヤーのビッグトーナメント

1985年はスタートしたばかりですが、グランプリシリーズはこれまでの2週間にすでに台湾オープン、チャイニーズタイペイマスターズを終了し、ジャパンオープンはこれに続く3番目の大きな大会です。

ＩＢＦは、〝バドミントンの世界的規模の大会を一連化しよう〟という新しい考えが、世界中の選手や大会主催者に十分に理解されてきましたことをうれしく思っております。そして、日本のみなさまには、今年のビッグトーナメントの1つを勝ち取り、そして、12月のグランプリファイナルの出場権をかけて戦う世界のトッププレイヤー達のすばらしいバドミントンを御覧いただけるものと信じております。

ジャパンオープンの参加選手、大会主催者及びスポンサーの皆様に対しまして、大会が成功しますよう心よりお祈り申しあげます。

国際バドミントン連盟

会長　ポール・エリック・ニールセン

The new year of 1985 has just started, but already this tournament is the third big tournament in the grand prix series following the Hong Kong Open and the Chinese-Taipei Masters in the two previous weeks.

The I.B.F. is happy to see that this new idea of a world-wide chain of tournaments has been received so well by players and by organizers all over the world and I am sure (the spectators of the Japan Open) will see some brilliant badminton with some of the best players in the world struggling to win one of the big tournaments of the year and, at the same time, gain points in order to reach the grand prix finals in December.

May I wish the players, the organizers and the sponsors of the Japan Open the very best of luck with the tournament.

International Badminton Federation

President　Poul-Erik Nielsen



意義ある地方開催

ジャパンオープン'85が今回で5回目を迎え、海外から100余名の選手の参加を見ることが出来、質量ともに世界のトップイベントに成長しましたことはまことに喜ばしい限りであります。

今回はいままでと趣きを変え、各種目のベスト4進出までを群馬県桐生市で開催することとなりました。この様に大きな国際大会を地方都市でお引受けいただいたことは、我国のバドミントン界に一つのあり方として示唆され、普及の面はもとより、競技力の向上につながるものと確信致します。

ファイナルラウンドは東京代々木第2体育館で開催されますが、名実ともに世界のトッププレイヤーによって優勝戦が争われ、超一流の技術が見られることは関係者として喜びにたえません。

本年は第4回世界選手権大会（個人）が、カナダのカルガリで開催されますが、本大会はその前哨戦として大きな意義を持つものと思われます。世界チャンピオンへのスタートとなるこの大会は、最高の技術と体力と精神力によって競われると思われますが、同時に国際的な友情や親善を深め、バドミントン界の発展に寄与することを期待してやみません。

終りに、本大会の開催にご尽力されました関係各位に、心から感謝申し上げ、ごあいさつと致します。

財団法人　日本バドミントン協会

会長　桜内義雄

Japan Open'85 celebrates its 5th anniversary this time.

It is our great pleasure that it has been developed in quality and scale as the world top event having the entry of over 100 players from abroad.

This year the schedule of the event is different from the last year. The best 4 players for each title will be decided in Kiryu of Gunma prefecture.

We are confident that such a big international event in local town will change the future direction of badminton in Japan and its development of the game.

The final round of the tournament will be played in Tokyo, viz. the 2nd Yoyogi gymnasium.

I feel great pleasure that the finals will be played among the world top players both in name and reality, and the 1st class technique shall be exhibited.

The 4th World Championships (individual) will be held in Calgary, Canada this year. We feel it is very meaningful that Yonex Japan Open is held in advance to the World Championships.

We believe this tournament as a start of the world championships will be played by those who have the best technique, strong body and spirit, and at the same time we hope this tournament enhance the international friendship and relations, and contribute to the development of badminton game.

In conclusion, I express sincere appreciation for the endeavor to all the people who are concerned to arrange this tournament.

Nippon Badminton Association

President　Yoshio Sakurauchi



歓迎のことば

「ヨネックスカップ・ジャパンオープン'85」の開催を心から歓迎致します。世界の強豪が参加して、一流のプレーが展開される本大会は、名実ともに最高のバドミントン大会であります。その開催を群馬県と共にお引受けしたことは、身の引きしまる思いがします。

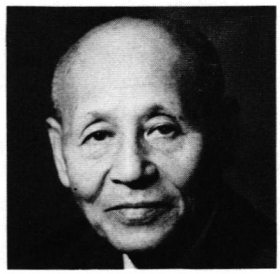
私どもでは昨年に続いての開催となりますが、本大会がファンの皆様のご期待に添い、今まで以上のすばらしい試合が行われることを念願しております。

最後に、この大会を開催するにあたってご協力いただいた関係者各位に深く感謝する次第であります。

東京都バドミントン協会
会長　小口政雄

We are pleased to host "Yonex Cup Japan Open'85". It goes without saying that Yonex Cup is one of supreme the badminton tournaments not only in fame but also in reality where the first class play is demonstrated.
We feel the big responsibility to host such tournament in Tokyo as well as Gunma prefecture.
We sincerely wish that many excellent games than ever will be played in this tournament which many badminton fan is expecting to watch.
In conclusion, we greatly appreciate to all the people who are concerned to arrange this tournament.

Tokyo Metropolitan Badminton Association
President　Masao Oguchi



ジャパンオープン開催の喜び

ヨネックスカップ・ジャパンオープン'85が群馬県で開催されるはこびとなり、選手役員の皆様を心より歓迎いたします。

バドミントンの普及発展は近年特に目を見張るものがあり、そのレベルも巾広い層に支えられて年々向上しているように見受けられます。

今回、ジャパンオープン'85の準々決勝までが本県で行われるわけですが、地方のバドミントン愛好の人たちにとって、世界の一流選手のプレーを直接見ることができる滅多にないチャンスであり、この大会がまた一つの刺激となって、一層の普及発展が図れるのではないかとこの点も非常に喜んでおります。

選手の皆様には、存分のプレーをご披露下さるよう、また各位のご健闘を心よりお祈りいたします。

群馬県バドミントン協会
会長　日野貞夫

As the time for the opening of the Yonex Cup Japan Open'85 in Gunma Prefecture has come, we would like to take this opportunity to express our heartfelt thanks to the players and officials who will make this event possible.
The popularization of badminton has progressed tremendously in the past few years and the level of play has also increased significantly, and this trend looks to continue in the future.
This year, matches up to the semi-finals of the Japan Open '85 will be played in Gunma Prefecture, and we are proud to be able to give badminton fans in the regional areas a once in a lifetime chance to see the world's best players in action and we are confident that this will provide further stimulus in the development of badminton as a popular sport.
We are sure that the players will show us outstanding badminton competition, and we would like to express our gratitude in advance for their efforts.

Gunma Prefecture Badminton Association
President　Sadao Hino



重味を加え更に意義のある大会へ

世界の一流プレーヤーが一堂に会し、「ヨネックスカップ・ジャパンオープン'85」が開催されることを誠に喜ばしく存じます。

年頭を飾る本大会は世界のバドミントン界でも、その卓越した技術のプレーヤーによる熱戦で、回を重ねる毎に重味を増し意義あるものとなってまいりました。それは、バドミントンの普及と発展を願う弊社にとりましても、喜びを同じとすることで、多少なりとも大会に関与させていただき、誠に欣喜の念に堪えません。

終りに、本大会開催に当たり多大なるご尽力を賜りました、日本バドミントン協会、東京都バドミントン協会、並びに群馬県バドミントン協会の皆様に、心より厚く御礼申し上げる次第でございます。

ヨネックス株式会社
代表取締役社長　米山　稔

It is our great pleasure to have the "Yonex Cup Japan Open'85" with the entry of many top international players. This annual tournament has become more important tournament as the opening event of the year for the first class international tournaments, where the high quality standard of the games shall be played.
The promotion and development of badminton game is what our company is pursuing and we are very happy to contribute to this tournament. In conclusion, we express our sincere appreciation for the effort and cooperation to all the people of International Badminton Federation Nippon Badminton Association, Tokyo Metropolitan Badminton Association and Gunma Badminton Association who have devoted to arrange this tournament.

Yonex Corporation
President　Minoru Yoneyama

FLASH BA

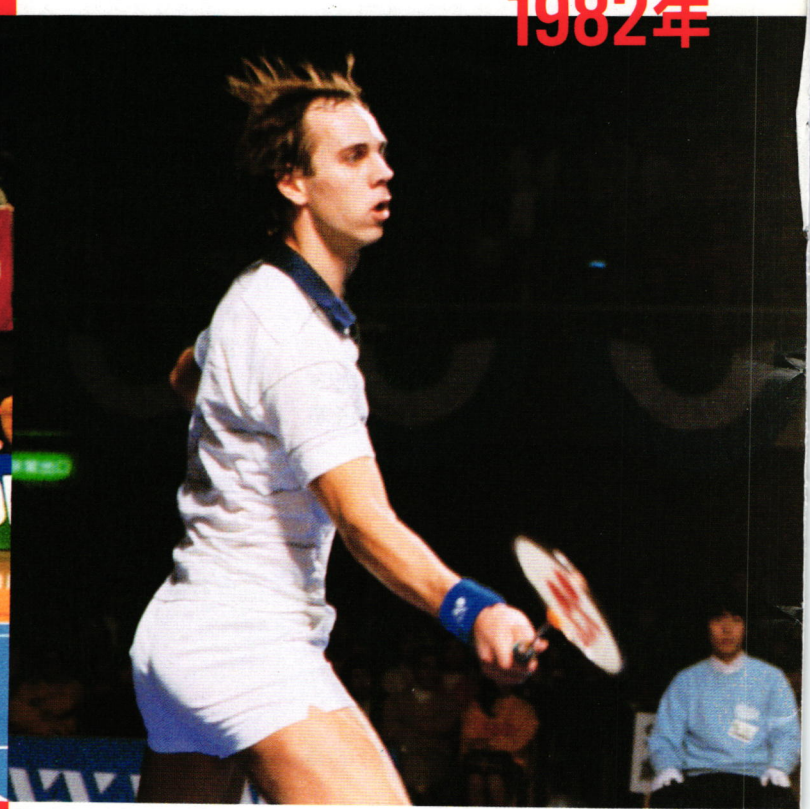
歴代勝者の顔

1981年



1981年大会は東京で開かれ、男子シングルスの勝者にはハルトノ/R•Hartono（インドネシア）がなった

1982年



神戸に会場を移し、日本で初めての賞金付きとなったこの大会、ライセンス・プレーヤーのキールストローム/T.Kihlstrom（スウェーデン）が優勝。賞金200万円を手にした



同じ大会の女子は韓国の黄善愛（ハンソンエイ）が優勝、隣国の急成長に日本勢はダブルスタイトルのみ



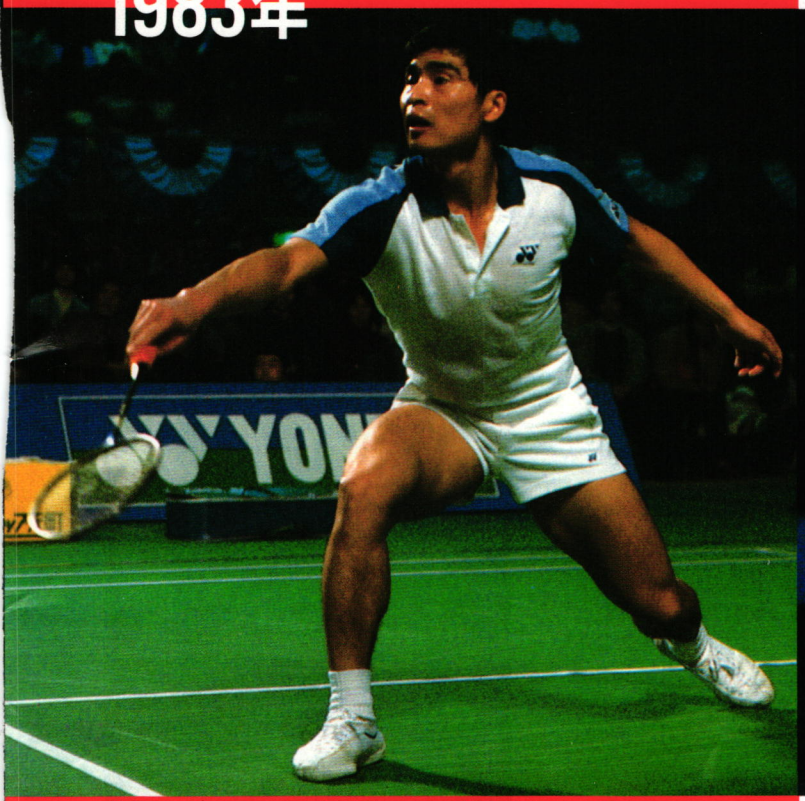
女子で圧倒的な強さを見せたのが中国勢。層の厚さを誇るなかで李玲蔚（リーリンウェイ）が優勝した

CK '81—'84 JAPAN OPEN

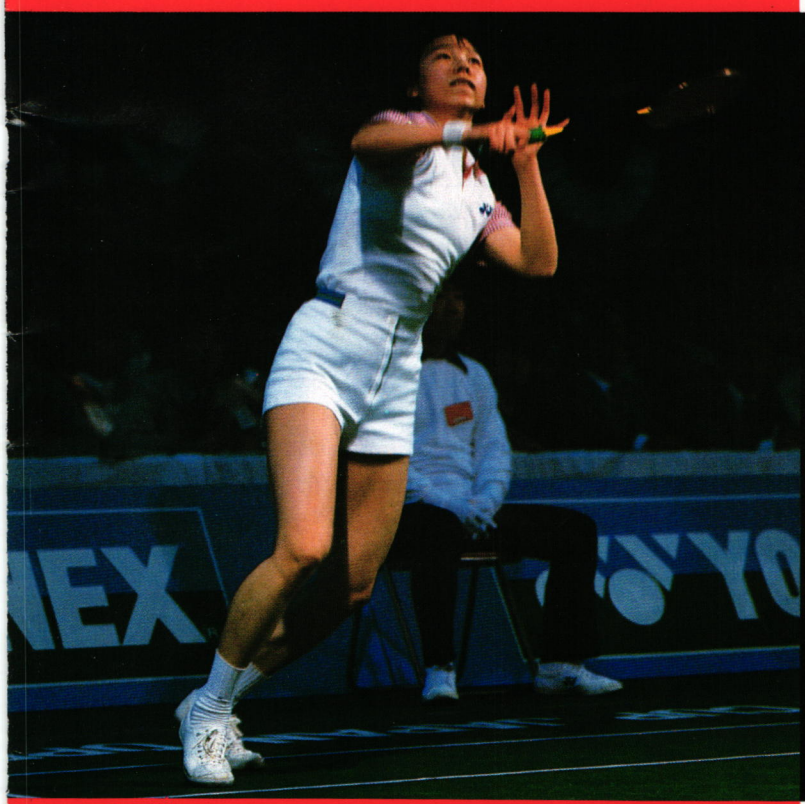
1981年にスタートしたジャパンオープンも今年で5回目。'82年からはヨネックスカップとして賞金付きの大会となり、海外の一流選手も参加して文字通りビッグトーナメントとなった。第1回からの男女シングルスの勝者を振り返ってみると、そこには、はからずも世界のバドミントン界勢力図の変遷が浮かび上がってくる。

※各大会の詳細はP. 8 ～ 9

1983年

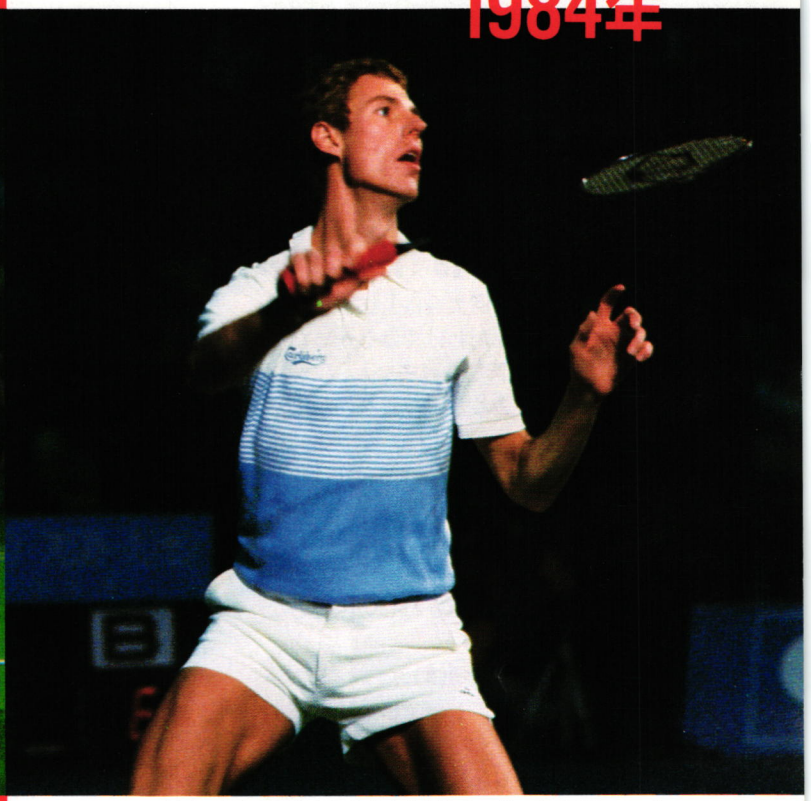


横浜で行なわれたこの大会、男女ともに中国勢が制した。男子シングルス決勝ではプラカシュとの長いラリーに打ち勝った韓健（ハンジャン）がチャンピオンに



前年優勝の李に変わって女子のタイトルを取ったのは同じ中国の韓愛萍（ハンアイピン）。デンマークのラーセンをストレートで下した

1984年



大雪の東京で行なわれた大会を制したのは、北欧デンマークから来たハンセン/Morten Frost Hansen。決勝ではインドネシアのリム・スイ・キングを破っただけに価値ある優勝



'82年以来、女子はすべて中国勢が優勝。この年も鄒昱（ツェンユー）-鯉（リー）が女子シングルスを制しこれで中国選手が3連勝

FLASH BACK
'81—'84 JAPAN OPEN

81 黄善愛（ハン ソン エイ）の衝撃デビュー
第1回ジャパンオープン●1/23～25・東京代々木体育館

記念すべき第1回大会は、必ずしもスムーズに開催されたわけではなかった。'79年から1月に行なわれていた、ワールドカップを発展させたものだが、規模や招待数にI.B.F.からクレームがつき、「次回から基準に合致させる」ということでようやく“ジャパンオープン”という名称が認められたのである。

そういった紆余曲折はあったものの、競技の方は第1回にふさわしい内容となった。

男子シングルスで優勝したインドネシアのハルトノ。彼にとっては最後の輝きを見せた大会でもあった。この年はジャパンオープン後も、数々の国際試合に出場したものの、翌年からはそのプレーを見ることはできなくなった。きっかけとなったのはスウェーデンオープンの決勝で、インドのプラカシュにスタミナ切れで破れたから、と聞く。

女子では何といっても、韓国の黄善愛（ハンソンエイ）の鮮やかなデビューが中心になる。日本の近藤小織をもっと男っぽくしたタイプの彼女は、この大会であれよあれよという間にシングルス優勝をさらうと、余勢を駆って3月の全英オープンにも優勝したのである。それまで、緻密さに欠けるという印象のあった韓国バドミントンを世界の有力国に押し上げたのである。

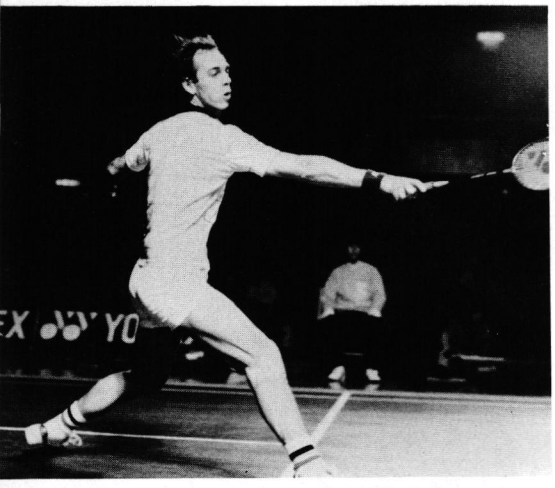
日本勢では徳田／米倉組が女子ダブルスで優勝し、何とか面目を保ったがこの大会以降、昨年まで日本人優勝者が出ないのは何とも淋しい限り。

ともあれ、この第1回ジャパンオープンは、'80年代のプレーヤーの消長をうかがう節目の大会となったことは確かである。



初出場、初優勝と世界中をアッと言わせた黄善愛

82 初の賞金付き大会に
ヨネックスカップ・ジャパンオープン'82●1／14～17・神戸市中央体育館他



'82年の男子シングルスの勝者はダブルスプレーヤーのキールストロームだった

この大会は日本のバドミントン界にとって画期的なものとなった。ヨネックスがスポンサーに付き“冠大会”となり、国内では初の賞金付きのバドミントン大会となった。

競技面では中国が初参加、日本のファンの前にその姿を見せ、女子では圧倒的な力を発揮して“中国強し”を印象づけた。決勝で日本の東海林を破りシングルス優勝の李玲蔚（リーリンウェイ）は国際舞台に初登場、その愛らしい顔で日本にも多くのファンができたが、その後の全英でも準優勝してトッププレーヤーの仲間入りをした。

男子ではインドネシアのハルトノやリム・スイ・キングといった一流どころが不参加で、やゝ興趣をそがれたが、ヨーロッパからは高額の賞金ということもあってか多数の選手が参加した。

中でもシングルスで優勝したキールストロームは、どちらかというとダブルスプレーヤーと思われていただけに意外感があった。年齢も30歳を過ぎベテランの域に達しており、ゲーム運びの巧さを見せつけていた。彼と準決勝で対戦し、惜しくも敗れたが、日本の長谷川博幸の活躍も目をひいた。開催国でありながら、早々と姿を消す日本選手の中で、一人ベスト4と気を吐いた。

神戸で開かれたこの大会、運営面では大成功を収め、来日中のI.B.F.リディー会長（当時）にも、ジャパンオープンが第一級の大会であることを印象づけた。

83 ベールを脱いだ韓健（ハン ジャン）

ヨネックスカップ・ジャパンオープン'83● 1／19～23・横浜文化体育館

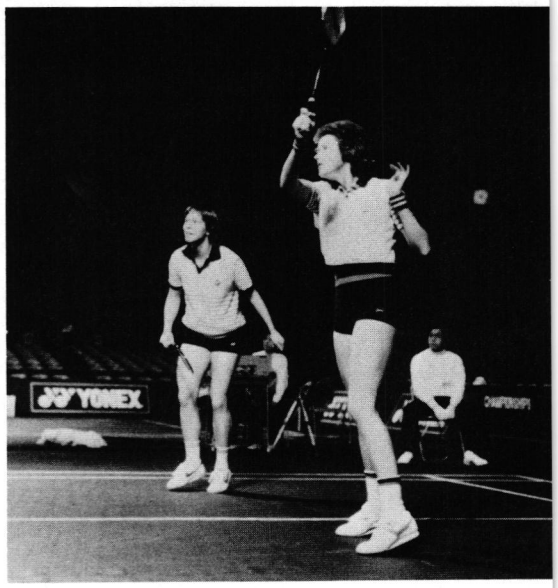
日本のバドファンにとって、ハンセン、キングの参加こそなかったが、男女ともに世界のトッププレーヤーが顔を揃え、見応えのある大会となった。特に注目を集めたのが中国の韓健（ハンジャン）選手。'82年のトマス杯で中国が優勝したが、その時中心となって活躍したのが韓健であり、ワールドゲームでもシングルスのタイトルを取っている。しかし、国際的には殆ど知られておらず、日本のファンはまだ一度もプレーを見たことがなかった。期待は大きくふくらんだが、予想通り決勝に進出。

インドのプラカシュとのファイナルでは、両者ともにオールラウンド・プレーヤーだけに長いラリーの応酬の末、韓健が勝利を収めた。どんなコースでも粘り強く拾いまくるプレーは、一見した華やかさはないが、日本のプレーヤーにとって参考になる選手である。

前年のシングルスで優勝したキールストロームはダブルスのみにエントリー。男子と混合複のタイトルを取り、本来のダブルスプレーヤーの巧さを発揮した。

女子では相変わらず中国勢が強く、韓（ハン）愛萍（アイピン）が決勝でデンマークのラーセンを下し、この種目では'82年に続き連続して中国勢が制覇した。

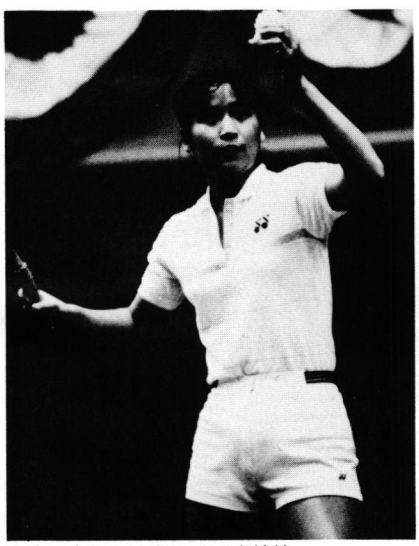
この年で目立ったのは、シングルスとダブルスのプレーヤーがそれぞれ専業化してきたこと。先のキールストロームのように、ダブルスのみに専念するといった選手が多くなったのが特徴。これは世界的にオープントーナメントが多くなり、試合数も増えヨーロッパの選手は確実に賞金の稼げる種目を選ぶようになったものと思われる。



'83年の女子ダブルスはクラーク／ギルクス組が優勝

84 実現したNo.1対戦

ヨネックスカップ・ジャパンオープン'84● 1／18～22・東京体育館



'84年の女子シングルスは3年連続中国勢が優勝。この年は鄭昱鯉

4年ぶりに東京で開催されたが、記録的な大雪に見舞われ気候的には恵まれなかった。しかし、エントリーした選手の顔ぶれを見ると世界ランキング上位が殆ど揃っており充実した大会となった。

男子シングルスではヨーロッパのチャンピオン、デンマークのモルテン・フロスト・ハンセンが参加。そしてインドネシアの王者、リム・スイ・キングも'80年以来の来日と、ファンとしては見逃がせない大会となった。

決勝は順当に勝ち進んだ両雄の対決。勝負の行方は、上昇気流に乗るハンセンが2－0でキングを破りジャパンオープンに初優勝。この2人、全英でも再度対決、ハンセンが再び勝って第一人者の地位を着々と固めた年でもあった。

また前年優勝の韓健（ハンジャン）はセミファイナルを足の故障で棄権したが、その前の試合を痛みをこらえながら敢闘したファイトは大いに称賛された。

女子は相も変わらず中国の強さが目立った。若手と思われていた鄭昱鯉（ツェンユーリー）と銭萍（チェンピン）の決勝戦はフルセットにもつれ込んだが、2－1で鄭昱鯉（ツェンユーリ）が初優勝。中国バドミントン界の選手層の厚さをまざまざと見せつけた。

賞金総額も倍増され、規模、内容ともに全英と肩を並べるまでに成長したジャパンオープン。参加選手の豪華な顔ぶれとともにビッグトーナメントを印象づけた'84年大会であった。

西の全英、東のジャパンオープン

ジャパンオープンも今年で5回目。1年毎に規模、内容ともに充実してきている。年始めの大会ということで、各国ともにその年のプレーヤーの力を見るための大会と位置づけている。IBFでも、1年間のシード選手の参考資料になる大会と重要視しており、以後の全英、デンマーク、スウェーデン等の大会のシード枠を決める際、ジャパンオープンで活躍した選手が上位シードされている。

また、この大会は若手の登龍門としてもバド界の注目を集めている。ベスト8以上に進出した選手は、その後の大きなトーナメントでも上位に進出しており、決してフロックではないことを実証している。それは、ジャパンオープンの水準が高いことの証明でもある。

現在、世界のバドミントン界の競技スケジュールを見ても、団体戦のトマス杯、ユーバー杯を除けば、参加国、人員の賞金総額、運営面とどれを見てもトップランクに位置づけられている。

"西の全英""東のジャパンオープン"と評価され、トッププレーヤーの一流のゲームが日本のファンの前で繰り広げられるようになったのである。



マルちゃん
東洋水産

L.L. Noodle

新発売

新感覚ヌードル

味覚は
セオリーにとらわれない創造的な3タイプ。
しょうゆ／カレー／シーフード。
感覚は
カップからもわかるモダンなセンス。
これなら友達と一緒に楽しめる。
サイズも・味覚も・感覚も、
ひとまわり大きな新感覚ヌードルです。





いまだかつて、それを体験したものはいなかった。電子制御自動5速トランスミッションNAVI－5。基本はクラッチを持った5速マニュアルトランスミッション。だからスポーティなマニュアル走行ができる。なのに、エコノミカルなオートマチック走行ができる。どちらを楽しむもケース・バイ・ケース、道次第、気分次第、ドライバー次第。知能と感性と腕を持ったロボットが、最適のギヤをセレクトする。ジャストタイミングでシフトコントロールする。それはNAVI－5がドライバーの気持ち、そのニュアンスを読みとれる異次元的トランスミッションだからできること。アスカに乗ったNAVI－5。その走り、その異次元的感応力に、ヒト、震エル。

異次元的トランスミッション誕生 ナビファイブ

NAVI5

なが く乗りたい

ISUZU アスカ

技とハート

ISUZU

いすゞ自動車

'85 JAPAN OPENの見所

ビッグ4対決、誰が'80年代後半の第一人者か?

男女ともに今回のエントリーを見ると、ワールドランキング20位以内の選手がずらりと顔を揃えている。特に男子は、実力的にビッグ4と評されるハンセン、キング、バドレー、韓健(ハンジャン)がエントリー。誰が優勝賞金150万円とヨネックスカップを手にするか予断を許さない。

順当なら決勝は去年の再現か

男子シングルスでベスト8以上に進出しそうなメンバーを予想すると、筆頭に挙げられるのはデンマークのモルテン・フロスト・ハンセン。

昨年の勝者だが、その後(3月)の全英でも優勝しており、年令的にも今がピークで疲れを知らぬスタミナは他の追随を許さない。プレーも単に攻撃的というのではなく、相手のミスを待つ粘り強さを持っている。

2番手は異論はあるかもしれないが、ここでは中国の韓健(ハンジャン)をあげたい。—昨年の覇者であり、昨年こそ準々決勝で痛めた足の故障で棄権したが、実力的にはハンセンと遜色ない。オールラウンドプレーヤーらしく、動きはハデさこそないが堅実で、どんな相手にも自分の力を十分に発揮できるのが強味。

対抗としてリム・スイ・キング(インドネシア)を挙げる人も多い。昨年は決勝でハンセンに敗れたが、依然として流麗なフットワークと、華麗なジャンピング・スマッシュは健在だ。一部には年令的な哀えを指摘するむきもあるが、昨年11月のトマス杯でインドネシア優勝に貢献した活躍は、いまだキング健在ぶりを印象づけた。

その3人に割り込むのはワールドランキング3位のステーブ・バドレー(イングランド)が予想される。バドレーはプレーに派手さはないが、勝負強さを身上としている選手で、日本のコーチが見たら直したくなるように、フットワークも悪くフォームもなっていない。しかし、シャトルコックをどこまでも追いかけ、思いもかけない態勢から打ち返してくる。

曲者といえば、マレーシアのミスブン・シデックもトリッキーなプレーであなどれない。'84年はランキング11位と、活躍は今一つだったが、大物食いをすればこの選手だろう。

さらにハンセンの力が目立つヨーロッパ勢のなかで、ピーター・ニアホフ(デンマーク)も上位に出てきそうだ。

今回も候補ナンバーワンのモルテン・フロスト・ハンセン



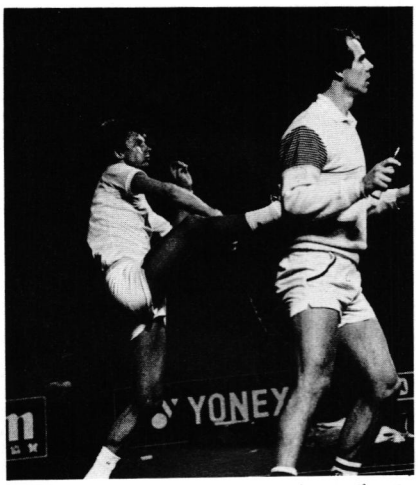
昨年の雪辱に賭けるリム・スイ・キング



以上が男子シングルスの有力どころだが、残念なことに、ランキング2位のイチョック・スギャルト（インドネシア）は、今回足の故障のため、欠場している。

シングルスにおいて、激戦が予想される他、今年はダブルスも注目したい。

ベスト4以上ならインドネシアのハディナタ／ハディボー組、カルトノ／ヘリヤント組がまず挙げられる。ハディナタ組は全英オープンに優勝しており、ワールドカップでもベスト4に入っている。



ダブルスでは相変わらずの巧さを見せるキールストローム

ダブルスに伝統を持っているヨーロッパ勢ではイングランドのデュー／バドレー組とスウェーデンのキールストローム／カールソン組が注目される。特にキールストローム組はディフェンディングチャンピオンであり、ダブルス専門ともいえる彼の巧さは本命といえる。

その他、マレーシアのシデック兄弟もいるが、韓国の朴／金組も無視できない。今回のエントリーでは人数をしぼっており、この2人はダブルスだけに出場する。韓国は'86年のアジア大会を控えており、'88年のソウルオリンピックではバドミントンがデモンストレーション競技になるべく運動もしている。そうなると、地元で好成績をあげようと強化に力を入れるのも目に見えてくる。そして今回のエントリーが、'86、'88年をにらんでの強化第1弾であるのか注目したいところだ。

女子はやはり中国が断然か

大方の予想では中国勢同士の決勝戦という公算が強い。'82年ジャパンオープンのシングルス優勝者でもある李玲蔚（リーリンウェイ）は、'84年全英のチャンピオンであり、現在のトッププレーヤーであることは間違いない。彼女と決勝で対決すると思われるのは、やはり中国の銭萍（チェンピン）が妥当。昨年のこの大会では韓愛萍（ハンアイピン）に次いで準優勝。1年間でぐんと力をつけている。

ヨーロッパ勢ではイングランドのヘレン・トロークとデンマークのキルステン・ラーセンが続く。ラーセンは昨年のジャパンオープンのベスト4、ヨーロッパ選手権でもベスト4入りをしている。

イングランドの若手のホープ、トロークも昨年学校を辞め、プレーに専念している。それだけハングリー精神も旺盛でヨーロッパ選手権シングルス優勝と急速に力をつけている。

何といっても女子シングルスでは中国勢が有利だが、これを崩す可能性が強いのは韓国の金練子（ユンジャキム）。コンスタントに上位進出の力を持っており、強気に攻めるプレーぶりは、中国の選手を倒す可能性をもっとも秘めている。

ダブルスではノラ・ペリー／ギリアン・クラーク組をはじめとしてベックマン／ギルクス組などのイングランド勢が有力だ。それを阻むとすれば中国のペア。どういう組み合せでも、呉建秋（ウージャンキュー）組が今大会の中国のトップダブルスで、その力は優勝するだけのものを持っている。

ただ、ジャパンオープンのダブルスでは過去の実績からいってもヨーロッパ勢が強く、やはりライセンスプレーヤーの多いヨーロッパ勢の意気込み勝ちというところか。

その他、韓国では金／柳が全英2位の実績があり、その一角に食い込むことは間違いなさそう。

★　★　★

これまでジャパンオープンの見所をさぐってきたが、残念ながら日本選手の名前は出てこなかった。全日本総合で7度目の優勝した男子の銭谷、女子では北田など上位進出してもらいたい選手はいる。しかし、トマス杯やユーバー杯などの成績を見てもやや低迷気味の日本選手は、正直なところ、どこまで勝ち進めるか程度の予想しかできない。過去に1回優勝している女子ダブルスの徳田／米倉組がその中でも、一番上位進出の可能性を秘めている。



韓国のエース金練子（ユンジャキム）、中国勢を倒す可能性を秘めている


圧倒的な強さを見せる中国女子。李玲蔚（リーリンウェイ）は優勝候補



思いっきりからだを動かすと、あたらしい自分を発見する感じ。
もっと自分のことを知りたい。だから、わたしはけんおんくん『エル』。
こころとからだのバランスをチェックして、よりヘルシーに、よりアクティブに。
いま、ナチュラルな自分が好きです。

- ●0.01℃単位の表示で高精度に検温。
- ●正確な基礎体温チェックに欠かせない3分タイマー。
- ●2段階の表示でからだの異常をお知らせするお熱マーク。
- ●その場で記録用グラフに記入できるべんりなコンパクトケース。

＃けんおんくん『エル』は、ふつうの電子体温計としてもご利用いただけます。

オムロン 婦人用 電子体温計
けんおんくん エル
MC-7L ¥2,380
医療用具番号 59BI274



※お求めは薬局・薬店、百貨店、医療機器店などでどうぞ。

立石電機株式会社 健康医用機器事業本部 〒105 東京都港区虎ノ門3-4-10 虎ノ門35森ビル TEL 03(436)7092

エース



僕たちは、ここでハネムる。

交通公社でハネムれば、愛はひとつ飛び。
この島で、このビーチで、思い出をしっかりと
あたためるために、二人はここへリザーブした。

ジャスト・ハネミング
Just Honeyming.

いつでもすぐに飛び立てる。

ハネムーンのお申し込みは
JTB 日本交通公社



THE RIVAL

ライバルストーリー

来るかハンセン時代、阻むかキングの意地!!

'84年のバドミントン界を2分した男、ハンセンとキング。片や学生のライセンス・プレーヤーでヨーロッパで活躍すれば、インドネシアの国民的英雄キングとして君臨する。対照的な2人を比較してみると……。

2度のライバル対戦 ハンセンが制す

バドミントンを国技とするインドネシアは、過去にソネビル、ハルトノといった世界的な名プレーヤーを生み出した。リム・スイ・キングはその後継者と目される、'80年代のインドネシアを代表するプレーヤーとしてトップの位置を占め続けていた。'78、'79、'81年の全英シングルスのタイトルを取り、'80、'82年のワールドカップのシングルスにも優勝している。

そのキング、'83年は不調ともいえる年で大タイトルからは遠去かっていた。そのキングが久しぶりに日本へ来たということもあって、'84年のヨネックスカップ・ジャパンオープンにはファンの期待が集まっていた。

予想通り、決勝に進出したキングの相手はヨーロッパのチャンピオンとして知られるデンマークのモルテン・フロスト・ハンセン。彼もまた、'83年はやや不調であっただけに、年始めのこの大会に照準を合わせて調整している。復活を賭けるこの2人の対決は大雪に見舞われた東京体育館で行なわれた。



決勝の第一セットまでは接戦だったが、ミスの目立ったキングが自滅の格好で2－0で破れてしまった。熱戦を期待したファンにとっては、いささか物足りない結果に終ってしまったのである。

そして3月の全英オープン。

雪辱を期すキングは、またもやハンセンとファイナルで顔を合わせることになった。気合の入っているキングは第1セットを簡単に取ったが、それがかえって甘さにつながり、以後フロストの待ちの作戦でスタミナを失いミスを多発、1月のジャパンオープンの雪辱を果たすことができなかった。

2度の対戦でキングを破ったハンセンは、果たしてこれからのバド界の第一人者としての地位を保てるか興味がある。

4～5年はバドに専念宣言のハンセン

デンマークの首都コペンハーゲンから100kmほど離れた、人口5,000人というニューキョードングという小さな町でハンセンが生まれたのは1958年の4月。



Morten Frost Hansen VS. Liem Swie king

8歳になると両親に買ってもらったラケットを持ち、街のクラブに入りバドミントンを始めた。しかし、この頃は冬の間だけで、夏はサッカーや陸上、水泳を楽しんでいた。気ままにシャトルを打ちゲームを楽しんでいたハンセンが、本格的にバドミントンに打ち込むようになったのは10代の後半から。

小さな町のクラブでやっていたハンセンが、自分を力を試そうと参加したジュニアトーナメントで初優勝したのは16歳の時。そして翌年も連続優勝すると、小さなクラブでは練習相手がいない。力が違いすぎるからだ。そこで、現在も所属するゲントホフテ・バドミントン・クラブ（ＧＢＫ）に移籍した。18歳になって3年連続ジュニアチャンピオンになり、学校もコペンハーゲン大学に入学。学業とバドミントンの両立をはかった。

しかし、'78年にライセンス・プレーヤーとなり、競技にウェイトを置くようになると、歴史と経済を専攻する大学の方は休学状態となってしまった。

それも、競技に専念しようと思えば、ある程度は経済的なバックアップがなければ、と割切っているからだ。'84年にハンセンが稼いだ賞金は約990万円、その他にスポンサーの契約料と合計で4,000万円ほどになるという。

国内にいる時は努力して授業に出るようにしているが、あと4、5年はトッププレーヤーとしてやっていきたい、と語る。その間にしっかりと貯金して、それから大学に戻ってもデンマークではやっていけるというからうらやましい限りだ。

それでも、「ライセンスプレーヤーは試合が総てだ」というハンセン、コンディションには神経を使うという。

代表選手はエリートの証明

インドネシアではバドミントンの代表チームの合宿入りすることは、名誉なことばかりでなく経済的にも優遇されることになる。それだけに競争が激しく、国内全域から選ばれた才能のある若手選手も、一定期間内に実績を挙げなければ即座に合宿から追放されてしまう。

一時期、リュースポンという選手が国際試合に出場していたが、その後あまり名前を聞かなくなった。これも噂であるが、練習の厳しさに合宿から逃げてしまい以後ほされてしまったそうだ。

そういった状況のインドネシアのバドミントン界で、'80年を通じて第一人者の位置を保っているリム・スイ・キングの生い立ちはほとんど知らされていない。年令も今年27歳で生まれた土地も正確な月日もインドネシア協会の資料には記されていない。それだけに、キングに関してはさまざまな噂が伝わってくる。日本のバド関係者にも、同国人で「オレがキングにバドを教えた」「ウチの空いている倉庫で練習させ育てた」という話をする人が枚挙にいとまがないそうだ。

ただ、名前の「リム・スイ・キング」から判断すると、どうも中国系らしいと推測される。となると、スカルノ時代からスハルト政権へ移行する時の、インドネシアの複雑な情勢から、彼の幼ない時代は決して平坦な道ではなかったように思われる。

背景はどうあれ、リム・スイ・キングは'80年代を代表するバドミントンのプレーヤーであることは確かだ。それは彼の輝かしい成績が実証している。また、彼の実力からしても、このまま世代交替を許すはずもない。スギャルトという後継者が育って来ているが、まだムラがあって第一人者とはいい難い。

ヨーロッパを代表するハンセン、国威を肩にするキングとその背景は対照的だが、プレーヤーとしての実力は互角のライバルと言えよう。



JAL SPORTS DESK

JAL
日本航空



スポーツ海外遠征のプランづくりから帰国まで すべてをお世話します。JALスポーツデスクです。

スポーツを通じた汗のふれあいは、言葉をこえた心のふれあいを生みます。ラグビー、サッカー、テニス、ゲートボールなど、あらゆるスポーツチームの海外遠征、とくにアマチュアチームの国際交流をお世話します。学校や会社のクラブ、地域のスポーツクラブ、ママさんチームなどにとっては、貴重な国際試合体験。海をこえた友情が生まれ、素顔の外国に触れる絶好の機会となるでしょう。遠征スケジュールのすべてにわたって日本航空がきめ細やかにお手伝い。海外遠征のことなら、「JALスポーツデスク」へ気軽にご相談ください。●海外遠征旅行プランづくり●ふさわしい対戦相手捜し●試合会場の手配●ホテルや交通機関などのお世話●親善パーティなど●その他、海外からもアマチュアスポーツチームが日本へ。人間交流の輪が大きく育っています。

●JALスポーツデスク：札幌(011)241-4144/東京(03)284-8687/新潟(0252)41-5770/金沢(0762)64-3211/名古屋(052)563-4151/大阪(06)223-2153/福岡(092)281-2221/長崎(0958)22-4114/熊本(096)322-5213/鹿児島(0992)58-2311/沖縄(0988)62-3351

COMPETITORS
出場選手

Gentlemen男子

AUSTRALIA オーストラリア
Darren McDonald ダーレン・マクドナルド
Sze Yu スィー・ユー
AUSTRIA オーストリア
Tariq Farooq タリク・ファローク
CANADA カナダ
Mike Butler マイク・バトラー
CHINA 中国
Han Jian 韓 健
Jhao Jianhua 趙新華
Yang Gianli 楊千里
Zhang Qian 張 強
Li Yongbo 李永波
Ding Qiqing 丁其慶
Zhou Jincan 周金燦
CHINESE TAIPEI 台北
Gor Rong Yih ゴー・ロン・イー
Chang Weng Sung チェン・ウェン・スン
DENMARK デンマーク
Morten Frost Hansen モルテン・フロスト・ハンセン
Jens Peter Nierhof ジェン・ピーター・ニアホフ
Michael kjeldsen マイケル・キールセン
Ib Frederiksen イップ・フリッドリクセン
Torben Carlsen トルベン・カールセン
Steen Fladberg スティーン・フラドベルグ
Jesper Helledie ジェスパー・ヘレディー
E.B.U. ヨーロッパバドミントン連合
Darren Hall ダーレン・ホール
Mark Christiensen マーク・クリスチャンセン
ENGIAND 英国
Steve Baddeley スティーブ・バドレー
Nick Yates ニック・イエーツ
Steve Butler スティーブ・バトラー
Dipak Tailor ディパック・テイラー
Martin Dew マーティン・デュー
HONGKONG 香港
Chan Chee Choi チャン・チ・チョイ
Yeung Yik Kei ヨン・イク・ケイ
Poon Fai Hung プン・ファイ・チュン
Wong Lap Chuen ウォン・ラップ・チュン
INDIA インド
Wong Man Hing ウォン・マン・ヒン
INDONESIA インドネシア
Liem Swie King リム・スイ・キング
Lius Pongoh リュース・ポン
Sigit Pamungas スギット・パムンガス
Christian Hadinata クリスチャン・ハディナタ
Hadibowo ハディボー
Kartono カルトノ
Heryanto ヘリヤント
KOREA 韓国
Han Kook Sung ハン・クック・スン
Joo Bong Park 朴柱奉
Moon Soo Kim 金文秀
MALAYSIA マレーシア
Misbun Sidek ミスブン・シデック
Ong Beng Tong オン・ベン・トン
Foo Kok Keong フー・コック・キョン
Razif Sidek ラジフ・シデック
Jalani Sidek ジャラニ・シデック
NEW ZEALAND ニュージーランド
Grame Robson グレム・ロブソン
SCOTLAND スコットランド
Billy Gilliland ビリー・ギリランド
Dan Travers ダン・トラバース
SINGAPORE シンガポール
Wong Shoon Keat ウォン・ソーン・キート
Lau Wing Cheok ロウ・ウィン・チョク
Hamid Khan ハミッド・カン
Wong Shoon Soon ウォン・ソーン・スーン
Benson Wong ベンソン・ウォン
SWEDEN スウェーデン
Thomas Kihlstrom トーマス・キールストローム
Steffan Karlsson ステファン・カールソン
Ulf Johansson ウルフ・ヨハンセン
Paer Gunnar Joensson パー・グナー・ヨエンセン
Stellan Oesterberg スティラン・オスターベルグ
THAILAND タイ
Sompol Kukasemkij ソンポール・クカセミイ
Sakrapee Thongsari サクラピィー・トンサリー
Surachai Makkasasithorn スラチャイ・マカサアシイトーン
Chaiwat Chalermpusitarak チイワット・チアレンプシタラック
U.S.A. アメリカ
Chris Jogis クリス・ジオギス
Tony Alston トニー・オルストン
JAPAN 日本
Hiroyuki Hasegawa 長谷川博幸(ヨネックス)
Hiroshi Nishiyama 西山博司(電電東京)
Shuzi Matsuno 松野修二(法政大)
Shinji Matsuura 松浦進二(法政大)
Kinji Zeniya 銭谷欽治(三洋電機)
Tetsuaki Inoue 井上哲章(日体大)
Syokichi Miyamori 宮森庄吉(電電東京)
Masao Tsuchida 土田証雄(電電東京)
Tasuhiko Mouri 毛利達彦(金沢市役所)
Yuji Imai 今井勇司(渋川女子高教員)
Tatsuya YaNagiya 柳谷辰哉(日大)
Yasuaki Tsujita 辻田泰昌(中央大)
Yukihiro Miyamoto 宮本幸弘(ヨネックス)
Mikio Ozaki 尾崎幹雄(電電東京)
Tuneo Kurihara 栗原恒夫(桐生高教員)
Kiyonori Kogai 小飼清統(法政大)
Kouji Honda 本田浩二(法政大)
Hideki Yamamoto 山本秀樹(トヨタ自動車)
Kaszushi Koga 古賀勝志(法政大)
Yoshio Endo 遠藤好男(電電北海道)
Kouji Yoneyama 米山孝二(電電北海道)
Shoichi Toganoo 梅野尾昌一(ヨネックス)
Kyoji Kusi 工士恭司(RHオールマン)

Ladies女子

AUSTRALIA オーストラリア
Mcdonald マクドナルド
CANADA カナダ
Denyse Julien デニス・ジュリアン
Linde Cloutier リンダ・クローティア
Johanne Falardeau ジョアンナ・ファラデュー
Claire Backhouse クレア・バックハウス
CHINA 中国
Li Lingwei 李玲蔚
Qian Ping 銭 萍
Guan Weizhen 関渭貞
Wu Jianqiu 呉建秋
Ruan Xiaoqing 阮小卿
CHINESE TAIPEI 台北
Lin Hui Shu リン・フィ・スー
Liu Sherry リュウ・シェリー
Fung Mei Ying フン・メイ・イン
DENMARK デンマーク
Kirsten Larsen キルステン・ラーセン
Charlotte Hattens シャーロット・ハッテン
Dorte Kjaer ドルテ・キオール
Rikke Sorensen リッケ・ソレンセン
ENGLAND 英国
Helen Troke ヘレン・トローク
Gillian Gowers ギリアン・ゴワーズ
Karen Beckman カレン・ベックマン
Nora Perry ノラ・ペリー
Gillian Clark ギリアン・クラーク
Gillian Gilks ギリアン・ギルクス
HONGKONG 香港
Amy Chan 陳念慈
Wong Har Ping 王夏萍
INDONESIA インドネシア
Elizabeth Latief エリザベス・ラティフ
Ratih Komala Dewi ラテー・クマラ・ドワィ
Yanti Kusumiatie ヤンティ・クスミアティ
Mary Herlim マリー・ハーリム
Rosiana Tendean ロジアナ・テンデアン
Imelda Kurniawan イメルダ・クルニアワン
KOREA 韓国
Yun Ja Kim 金練子
Hye Young Hwang ヒー・ヤン・ハン
Sang Hee Yoo 柳尚希
SINGAPORE シンガポール
Irene Lee アイリン・リー
Choy Leng Sing チョイ・レエン・ション
SWEDEN スウェーデン
Christine Magnusson クリスティン・マグヌソン
Maria Bengtsson マリア・ベントソン
JAPAN 日本
Sumiko Kitada 北田スミ子(三洋電機)
Athuko Tokuda 徳田敦子(東京都協会)
Yoshiko Yonekura 米倉よし子(電電東京)
Mariko Imagawa 今井真理子(日体大)
Kimiko Jinnai 陣内貴美子(RHオールマン)
Harumi Kouhara 鴻原春美(四条畷学園女子短大)
Michiyo Nishimura 西村美千代(サントリー)
Michiyo Tomita 冨田美千代(三洋電機)
Yoko Kikuchi 菊池洋子(サントリー)
Hiromi Tsukioka 月岡広美(ヨネックス)
Hisako Takamine 高峯尚子(ヨネックス)
Etsuko Toganoo 梅野尾悦子(ヨネックス)
Sonoe Miyamori 宮森ソノエ(ヨネックス)
Hideyo Noguchi 野口英代(渋川女子高教員)
Yuko Nagaoka 長岡裕子(邑楽中教員)
Chikako Sanda 三田知佳子(電電東京)
Yoshiko Kasima 彼島佳子(北国銀行)

PRIZE賞金

Total Prize	賞金総額	¥15,000,000
GENTLEMEN'S SINGLES		男子シングルス
Winner	優勝	¥1,500,000
Runner-up	準優勝	¥ 750,000
Semi Finalist	3～4位	¥ 350,000
5～8	5～8位	¥ 150,000
LADIES' SINGLES		女子シングルス
Winner	優勝	¥1,200,000
Runner-up	準優勝	¥ 600,000
Semi Finalist	3～4位	¥ 300,000
5～8	5～8位	¥ 120,000

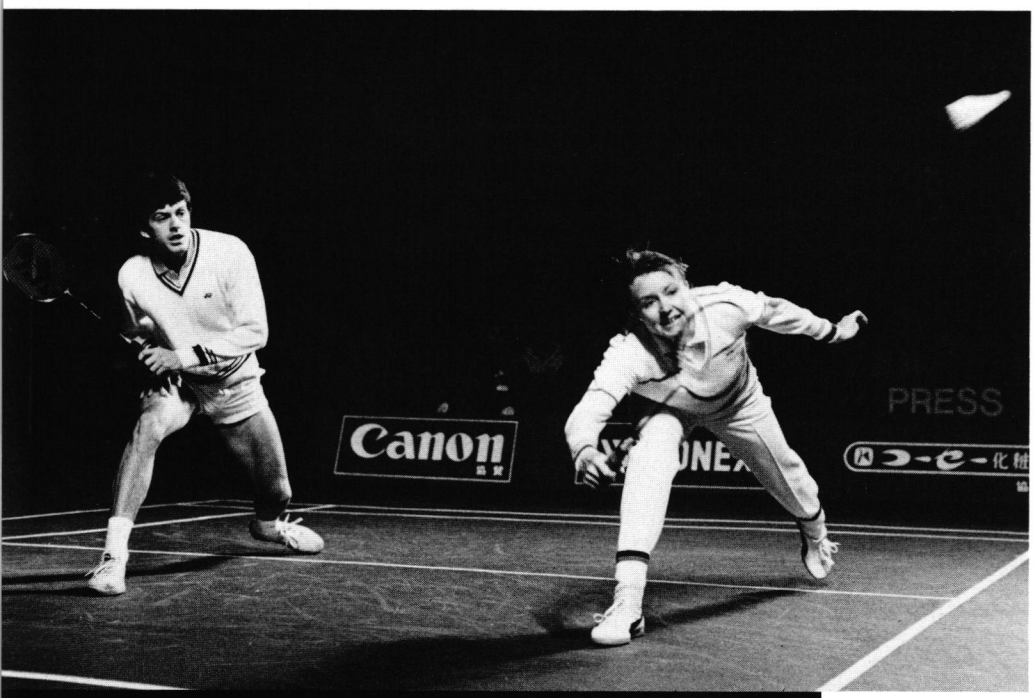
※賞金総額1,500万円は
I·B·F公認料等を含んだ金額です。

GENTLEMEN'S DOUBLES		男子ダブルス(ペアー)
Winner	優勝	¥1,200,000
Runner-up	準優勝	¥ 600,000
Semi Finalist	3～4位	¥ 300,000
5～8	5～8位	¥ 120,000
LADIES' DOUBLES		女子ダブルス(ペアー)
Winner	優勝	¥1,000,000
Runner-up	準優勝	¥ 500,000
Semi Finalist	3～4位	¥ 250,000
5～8	5～8位	¥ 100,000
MIXED DOUBLES		混合ダブルス(ペアー)
Winner	優勝	¥1,000,000
Runner-up	準優勝	¥ 500,000
Semi Finalist	3～4位	¥ 250,000
5～8	5～8位	¥ 100,000

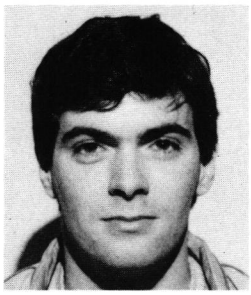
PLAYERS' GU

ENGLAND イングランド

バドミントンを現在のような競技として発展させた、いわば母国ともいえる。最も権威ある大会といわれる全英選手権は1899年から開催されており、英国バドミントン協会には4750のクラブが加盟している。今回のジャパンオープンには男女各6名ずつ参加している。イングランドの選手は伝統的にダブルスに強く、特にミックスでは前回優勝している。



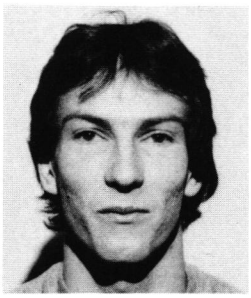
Gentlemen男子



NICK YATES　ニック・イエーツ

ひざのケガにもかかわらずトップランクを維持。数々の英国代表歴を持っており、ふだんは物静かだが、試合になると粘り強いプレーをする。23歳。

〔84年の戦績〕カナダオープン(単)ベスト4、(複)ベスト4。

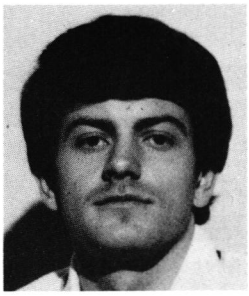


STEVE BADDELEY スティーブ・バドレー

グランプリポイント685で3位と英国選手では最上位にいる。型にはまらないトリッキーなプレーが特徴で、思わぬ大物食いもある。サウスポーからのオーバーヘッドに威力ある。

〔84年の戦績〕ジャパンオープン(複)2位。ヨーロッパ選手権(単)ベスト4。マレーシアオープン(複)ベスト4。カナダオープン(単)ベスト4、(複)ベスト4。

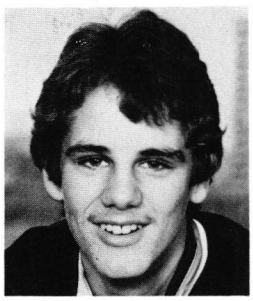




MARTIN DEW　マーティン・デュー

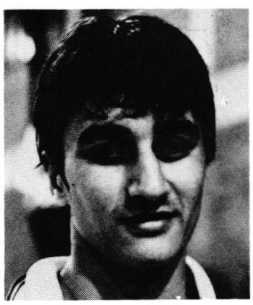
左利きのダブルスのスペシャリスト。数学の学位を持っており、1982年からライセンスプレイヤー。前回ジャパンオープンでもミックスで優勝しており、今回も期待されている。

〔84年の戦績〕ジャパンオープン(混)優勝、(複)2位。全英選手権(混)優勝、(複)2位。ヨーロッパ選手権(複)および(混)優勝。スカンジナビアオープン(混)優勝、(複)2位。マレーシアオープン(複)ベスト4。アルバワールドカップ(複)ベスト4。ドイツオープン(複)(混)優勝。



STEVE BUTLER　スティーブ・バトラー

国内ランキング3位の実力の持ち主。1984年のトマス杯では銅メダル獲得に貢献し、これからの活躍が期待される。

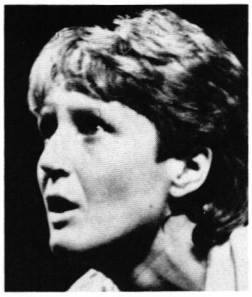


DIPAK TAILOR　ディパック・テイラー

若手でもっとも期待される一人。現在20歳ながら国内ランキング7位。昨年のトマス杯では代表に選ばれ、英チーム銅メダル獲得の一員となった。

〔84年の戦績〕スウェーデンオープン(混)2位。全英選手権(混)ベスト4。

Ladies女子



NORA PERRY　ノラ・ペリー

英国を代表する女子プレーヤー。昨年は出産で引退かと思われたが数ヵ月で復帰。ユーバー杯では銀獲得の立役者。クラークとのペアは常に優勝を争う力を持っているダブルス。

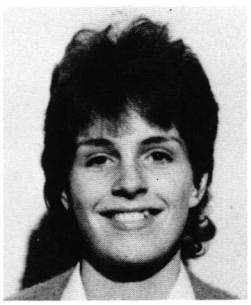
〔84年の戦績〕インドネシアオープン(複)優勝。アルバワールドカップ(混)優勝。マレーシアオープン(複)ベスト4。



GILLIAN CLARK　ギリアン・クラーク

1983年にヒザを痛めて数ヵ月休んだことがあるが、それ以外は故障知らず。ノラ・ペリーとのペアで'84年はダブルスで大活躍。今シーズンも上位進出が期待される。

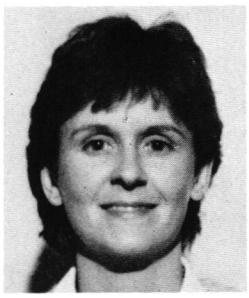
〔84年の戦績〕ヨーロッパ選手権(複)優勝、(混)ベスト4。スウェーデンオープン(複)ベスト4。マレーシアオープン(複)2位。アルバワールドカップ(複)ベスト4。ドイツオープン(複)2位。



HELEN TROKE　ヘレン・トローク

19歳と若いがワールドランキング2位と英国のNo.1。また英国マスターズでラーセンを破り人気でもトップの地位にいる。ユーバー杯代表にも選ばれ銀メダルを獲得。

〔84年の戦績〕ヨーロッパ選手権(単)優勝。インドネシアオープン(複)ベスト4。ドイツオープン(単)2位。



KAREN BECKMAN　カレン・ベックマン

1982、83年の国内シングルスチャンピオンで、代表チームの常連メンバー。'84年ユーバー杯代表にも選ばれており、前回ジャパンオープンのダブルスタイトルを取っている。

〔84年の戦績〕ジャパンオープン(複)優勝。全英選手権(複)ベスト4。ヨーロッパ選手権(単)ベスト4、(複)2位。インドネシアオープン(複)ベスト4。ドイツオープン(単)(複)優勝。



GILLIAN GOWERS　ギリアン・ゴワーズ

1984年3月に英国代表として国際試合にデビュー。まだ学生でスポーツ科学を専攻しているが、'83年の国内選手権でシングルス準優勝したのが代表入りのきっかけとなった。

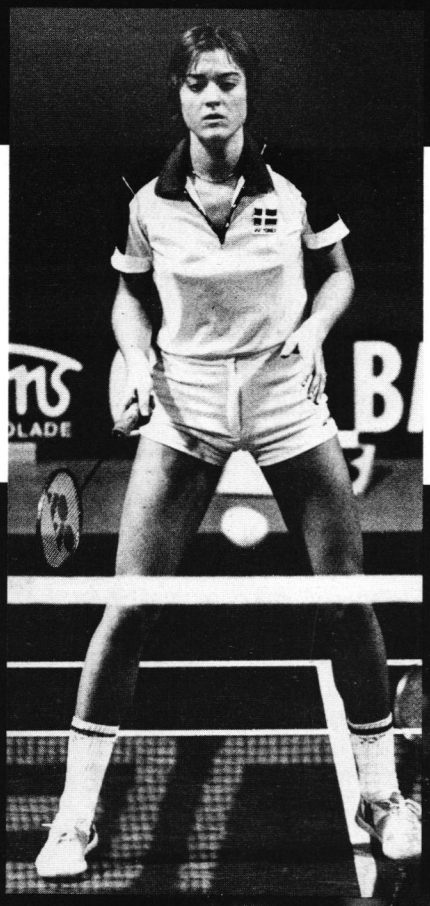
〔84年の戦績〕スウェーデンオープン(複)ベスト4。マレーシアオープン(混)2位。全英選手権(混)2位。



GILLIAN GILKS　ギリアン・ギルクス

1968年以来、国際試合で活躍しているベテラン。ユーバー杯に毎回英国代表として出場、最も経験あるプレーヤーとして、他の選手からも信頼されている。代表歴100回。

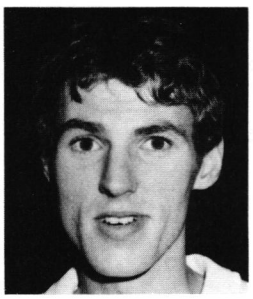
〔84年の戦績〕ドイツオープン(複)(混)優勝。アルバワールドカップ(複)(混)ベスト4。マレーシアオープン(混)優勝、(複)ベスト4。全英選手権(複)ベスト4。ジャパンオープン(複)(混)優勝。



DENMARK デンマーク

ヨーロッパではバドミントンの盛んな国の1つ。登録人口も16万人と多く、デンマークオープンはジャパンオープン、全英と並び権威があるとされる。現在、もっとも安定した強さを発揮するモルテン・フロスト・ハンセンをはじめ、女子でもキルステン・ラーセンなどトップ・クラスの選手がいる。今回は男子では若手を増やしており注目される。

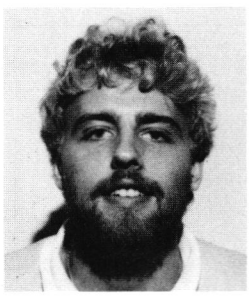
Gentlemen男子



MORTEN FROST HANSEN
モルテン・フロスト・ハンセン

現在、もっとも安定した力を発揮している第一人者。'84年はほとんどのタイトルを手中にしており、バドミントンの第一人者としての風格も出てきた。ワールドランキング1位。

〔84年の戦績〕ジャパンオープン(単)優勝。全英選手権(単)優勝。ヨーロッパ選手権(単)優勝、(複)2位。スカンジナビアオープン(単)優勝。マレーシアオープン(単)2位。インドネシアオープン(単)4位。



JENS PETER NIERHOF
ジェン・ピーター・ニアホフ

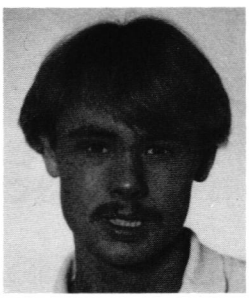
デンマークではハンセンに次ぐ実力の持ち主。ヒゲが特徴だが、年令はまだ23歳と若く、187cmと他の選手を圧倒する大きさで、高い球筋に強い。

〔84年の戦績〕スウェーデンオープン(単)優勝。スウェーデンオープン(複)ベスト4。ヨーロッパ選手権(単)2位、(複)2位。

MICHAEL KJELDSEN
マイケル・キールセン

日本のファンには馴染みはないが、国内では徐々に力をつけており、シングルスランキングも上位を占めている。

〔84年の戦績〕全英選手権(単)ベスト4。ドイツオープン(単)優勝。



TORBEN CARLSEN
トルベン・カールセン

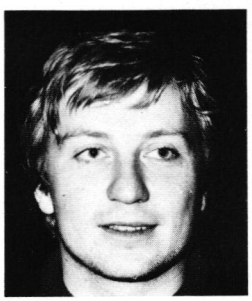
IB FREDERIKSEN
イップ・フリッドリクセン

〔84年の戦績〕スウェーデンオープン(単)ベスト4。

STEEN FLADBERG
スティーン・フラドベルグ

若手育成の目的で今回のジャパンオープンに派遣された一人。国際的には力の程はわからないが、あるいは今大会から大きくはばたくかもしれない。

〔84年の戦績〕全英選手権(複)ベスト4。マレーシアオープン(複)ベスト4。

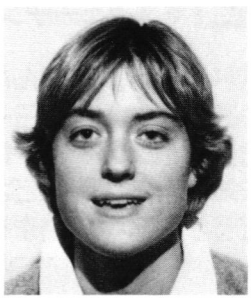


JESPER HELLEDIE
ジェスパー・ヘレディー

ダブルスではコンスタントに力を発揮している。1984年のトマス杯代表に選ばれている。

〔84年の戦績〕スウェーデンオープン(複)ベスト4。全英選手権(複)ベスト4。

Ladies女子



KIRSTEN LARSEN
キルステン・ラーセン

デンマークの女子第一人者。ヨーロッパではシングルスでも上位に入っているが、アジアの選手と対戦すると、どうも分が悪い。'83年ジャパンオープン単のベスト4。

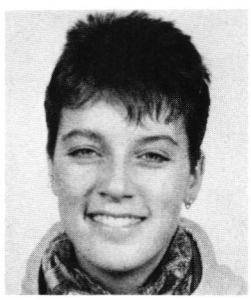
〔84年の戦績〕ヨーロッパ選手権(単)ベスト4、(複)ベスト4。スウェーデンオープン(単)ベスト4。マレーシアオープン(単)ベスト4。インドネシアオープン(単)ベスト4。スカンジナビアオープン(単)2位。カナダオープン(単)優勝。



DORTE KJAEL
ドルテ・キオール

可愛らしい顔で昨年の大会でも人気を集めた。まだ20歳と若く、国際試合で経験を積めばまだまだ伸びる余地がある。

〔84年の戦績〕ヨーロッパ選手権(複)ベスト4。



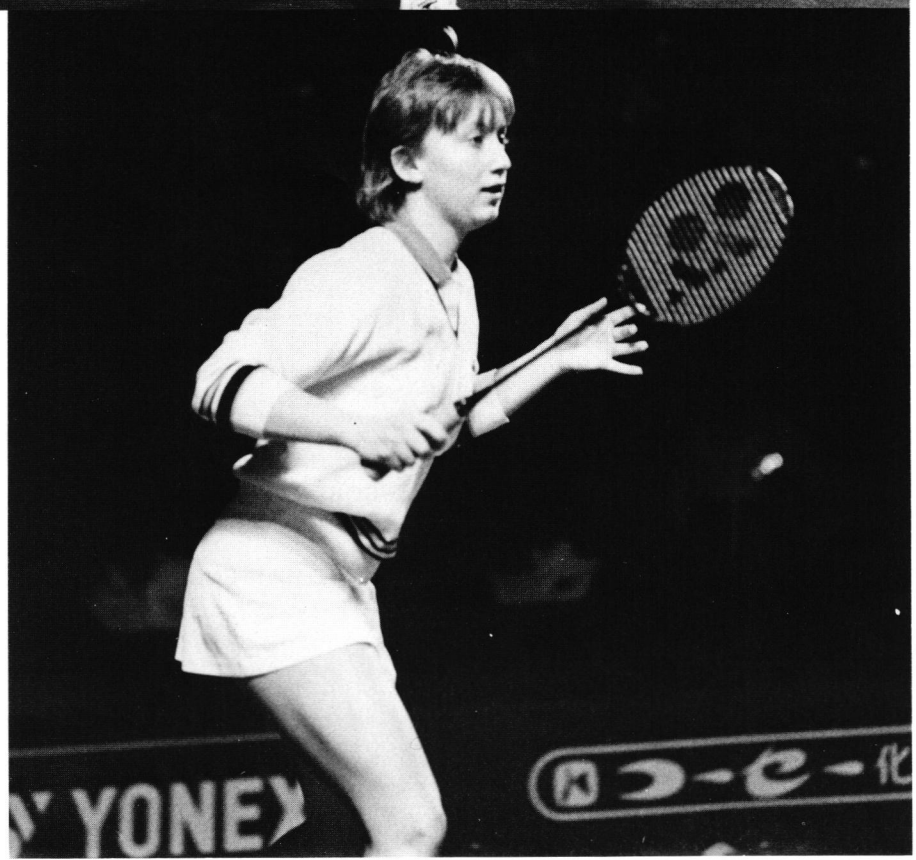
RIKKE SORENSEN
リッケ・ソレンセン

CHARLOTTE HATTENS
シャーロット・ハッテン

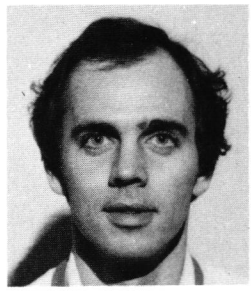
SWEDEN スウェーデン

ヨーロッパでバドミントンの盛んな国の一つ。キールストロームは日本でもお馴染みの選手だが、ここ2〜3年は若手が余り伸びていない感もあった。今年はジャパンオープンに3人の選手が初出場しており、どの程度の力かは未知数だが、期待どおりにキールストロームの後を継ぐ活躍ができるかどうかに興味が集まる。





Gentlemen男子



THOMAS KIHLSTROM
トーマス・キールストローム

ダブルスでは世界的に見てもトップの実力を持っている。'82年のヨネックスカップジャパンオープンで単優勝しているが、ここ2、3年は年令的なものからか、ダブルスにしぼって確実に優勝戦線に顔を出している。

〔84年の戦績〕ジャパンオープン(複)優勝、(混) 2位。スウェーデンオープン (混) 優勝、(複) 2位。アルバワールドカップ (混) 優勝。ヨーロッパ選手権 (混) 2位。スカンジナビアオープン (複) ベスト4。



STEFFAN KARLSSON
ステファン・カールソン

キールストロームとのペアで、各国際試合で常に上位へ顔を出している。今年29歳と技術的にも円熟してきており、ベテランコンビのプレーは一見の価値がある。

〔84年の戦績〕ジャパンオープン (複) 優勝。スウェーデンオープン (複) 2位。ヨーロッパ選手権 (単) ベスト4。スカンジナビアオープン (複) ベスト4。

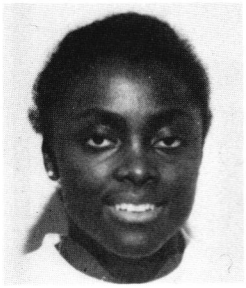
ULF JOHANSSON　ウルフ・ヨハンソン

1959年生まれの25歳。スウェーデンの次代をになうべき力を持っており、キールストロームの後継者か。

PAER GUNNAR JOENSSON
パー・グナー・ヨエンセン

STELLAN OESTERBERG
スティラン・オスターベルグ

Ladies女子



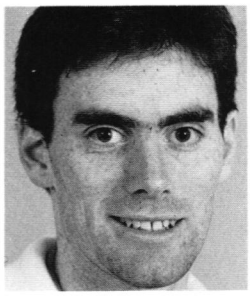
CHRISTINE MAGNUSSON
クリスティン・マグヌソン
20歳の学生でライセンスプレーヤーになって今年で3年目。まだまだ力は伸びそうで、柔らかなバネがあり期待されている。
〔84年の戦績〕ヨーロッパ選手権（複）ベスト4。マレーシアオープン（複）2位。



MARIA BENGTSSON
マリア・ベントソン
昨年も来日しており、日本のファンにもお馴染み。前回のジャパンオープンでは混合複で2位に入っている。キールストロームのリードで今年も上位進出を果たしそう。
〔84年の戦績〕ジャパンオープン(混)2位。ヨーロッパ選手権（複）ベスト4（混）2位 スウェーデンオープン（混）優勝。

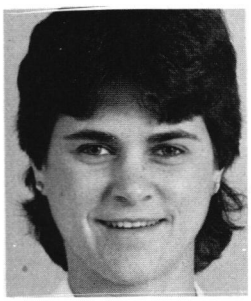
CANADAカナダ

Gentlemen男子

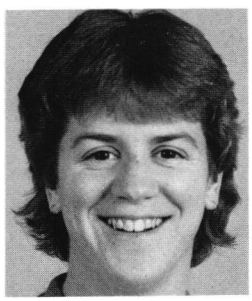


MIKE BUTLER　マイク・バトラー
1984年トマス杯カナダ代表に選ばれ、シングルス、ダブルスもこなすトッププレーヤー。
〔84年の戦績〕カナダオープン（混）優勝。ドイツ・ビクターカップ（混）ベスト4。カナダ国内選手権（単）優勝。

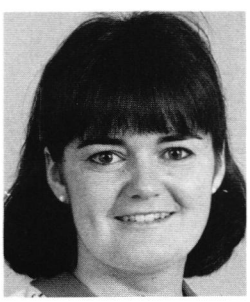
Ladies女子



DENYSE JULIEN
デニス・ジュリアン
カルガリーのトレーニングセンターで訓練を受け急速に力をつけ、1984年のユーバー杯代表に選ばれた。
〔84年の戦績〕カナダ国内選手権（複）ベスト4。



JOHANNE FALARDEAU
ジョアンナ・ファラデュー
シングルスよりダブルスで力を発揮する選手。1984年ユーバー杯代表。
〔84年の戦績〕スコットランドオープン(単)ベスト4（複）ベスト4。カナダ国内選手権（複）優勝。



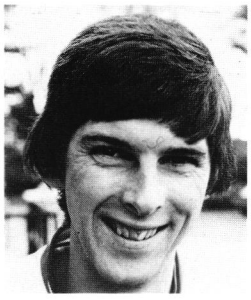
LINDA CLOUTIER
リンダ・クローティア
1984年の国内シングルスチャンピオン。彼女もカルガリーのトレーニングセンター出身で、ユーバー杯の代表。
〔84年の戦績〕カナダ国内選手権(単)優勝。ニュージーランドのヨネックスインターナショナル（複）優勝。



CLAIRE BACKHOUSE
クレア・バックハウス
ダブルスで技量が発揮できるタイプ。国際試合でもそこそこの力を発揮する。
〔84年の戦績〕スコットランドオープン(複)ベスト4。カナダ国内選手権(複)(混)優勝。

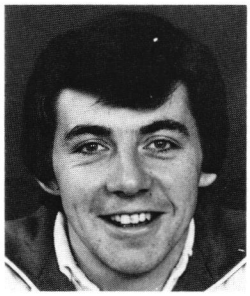
SCOTLAND
スコットランド

Gentlemen男子



B. GILLILAND　B・ギリランド

スコットランドの代表的プレーヤー。ダブルスを得意としており、'82年には全英のダブルス決勝に進出している。



D. TRAVERSE　D・トラバース

そろそろベテランの域に達したダブルス・プレーヤー。グラスゴー生まれで、食料品店を経営。

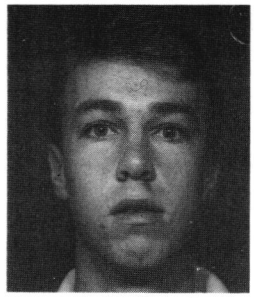
〔84年の戦績〕ジャパンオープン（複）ベスト8。

U.S.A
米国

Gentlemen男子

TONY ALSTON　トニー・オルストン

現在22歳、ジャパンオープンはダブルス戦のみに出場。

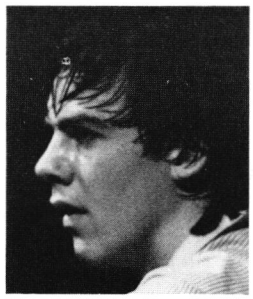


CHRIS JOGIS　クリス・ジョギス

ダブルスとシングルスの両方に出場するがその力の程は未知数。どこまでやれるか。

E.B.U
ヨーロッパバドミントン連合

Gentlemen男子



DARREN HALL　ダーレン・ホール

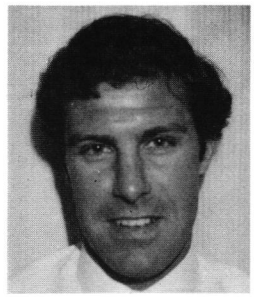
英国20歳以下の国際チャンピオン。ジュニアの中国遠征ではキャプテンをつとめた。

〔84年の戦績〕スコットランド・ベルズオープン、ドイツビクターカップで各決勝進出。

MARK CHRISTIENSEN
マーク・クリスチャンセン

NEW ZEALAND
ニュージーランド

Gentlemen男子



GRAME ROBSON　グレーム・ロブソン

184 cmと長身の選手。27歳と円熟期に入った同国のチャンピオン。

〔84年の戦績〕ニュージーランド選手権(単)優勝、(混)優勝。

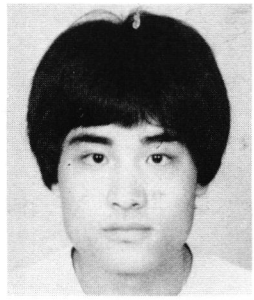
AUSTRALIA
オーストラリア

Gentlemen男子

DARREN McDONALD
ダーレン・マクドナルド

まだ21歳と若く、これからが期待される。実力的には未知数。1984年トマス杯代表。

Gentlemen男子



SZE YU　スイー・ユー

香港の第1人者。昨年の大会はシングルス1回戦で優勝したハンセンと当り敗退。今年は何とか上位を。

Ladies女子

McDONALD
マクドナルド

AUSTRIA
オーストリア

Gentlemen男子

TARIQ FAROOQ
タリク・ファローク

たしかな技術で世界をむすぶ
NEC

C&C
コンピュータ アンド コミュニケーション

パソコンは、命の泉。

でもねぇ、ちょっと手が出ない——なんて気持ちがそもそもいけません。好奇心に素直であれ。時代の空気に敏感であれ。ともかく、ひとつさわってごらんなさい。たとえば、PC－100。これはやさしい。時代の最先端だからこそ、逆に簡単さもきわめつけ。マウスという強い味方がついているのです。机の上をころがすだけで、パソコンを使いこなせるようになってしまう。ワープロはもちろん、複雑な表計算、芸術家肌のグラフィックも思いのまま。これで頭の内側は確実に10年以上若返ります。残念なことに、頭の外側までは無理なようですが……。



知に交われば、若くなる。

NECパーソナルコンピュータ
PC-100シリーズ

model 10本体標準価格 398,000円（モノクロ仕様、フロッピィ1台内蔵）
model 20本体標準価格 448,000円（モノクロ仕様、フロッピィ2台内蔵）
model 30本体標準価格 558,000円（カラー仕様、フロッピィ2台内蔵）
（ソフト添付、マウス実装価格です。但し、ディスプレイは別売です。）

日本電気グループ NECパソコンインフォメーションセンター 〒108 東京都港区三田三丁目14-10（明治生命三田ビル）……☎(03)452-8000
※電話番号は、よくお確かめのうえおかけください。

NEC PERSONAL COMPUTER

高性能はヒトをやさしくする。
NECのパソコンファミリー 国内実績No.1

PC-2000シリーズ／PC-6000シリーズ PC-6001mkII／PC-6000シリーズ PC-6001mkIISR／PC-6600シリーズ PC-6601
PC-6600シリーズ PC-6601SR／PC-8000シリーズ PC-8001mkII／PC-8200シリーズ／PC-8800シリーズ PC-8801mkII
PC-100シリーズ／PC-9800シリーズ PC-9801E／PC-9800シリーズ PC-9801F／PC-9801M2／N5200 モデル05

かるい・われない
ニッサン・ステンレス魔法ビン
nissan

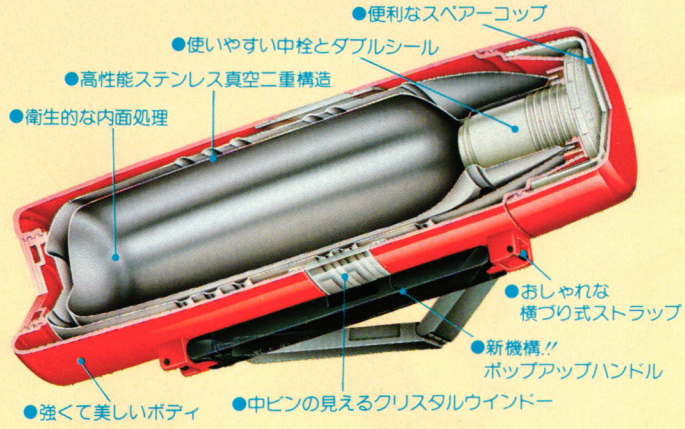




女性がつくりました。くらしのファッションです。

カンやビンに入った、つくられた飲みもので満足ですか。くらしにもっとオリジナリティを楽しみましょう。軽くて、われないファッショナブルな新しいステンレス魔法ビンが生まれました。

- 同容量クラスでは初めての5,000円台、お求めやすい価格です。
- かるくて、われないスポーティなステンレス魔法ビンです。
- ファッショナブルなデザインとカラーです。
- おしゃれなストラップ＆新開発のポップアップハンドルを採用。
- 使いやすい中栓とダブルシール構造。横づりも安心です。



型名		HSD-850	HSD-1000
保温効力	6時間	78度以上	79度以上
	24時間	58度以上	59度以上
容量（実容量）		0.85ℓ	1.0ℓ
口径		36mm	
色		レッド・イエロー・グリーン・ホワイト	
標準小売価格		5,400円	5,800円

女性とファミリーのためのカジュアルなステンレス魔法ビン。

シャトルジョイ

製造・発売元 日本酸素

●お問い合わせは
☎(03)503-2271



毎月複利がうれしい、出し入れ自由がうれしい、山一の中期国債ファンド。カード・ショッピング代金のお支払いができて※ それがまたうれしい。とくれば、これはもう、生活の必需品ですね。 便利で有利なパートナー。いつでも、どこでもパートナー。暮らしといっしょに、夢といっしょに弾みます。

出し入れ自由でふえるふえる

便利で有利な山一の 中期国債ファンド

預ける貯蓄から、ふやす貯蓄へ。

山一證券

〒104 東京都中央区八重洲2の4の1
☎(03)276 3181(代表)

※ご利用の銀行口座へ自動的に振込みます。●中期国債ファンドの設定・運用は、山一投信委託。●お申込みの際は受益証券説明書をご覧ください。

スマッシュに驚異のニューパ



T型ジョイントを内蔵した、ヨネックス独創のジョイントレス。

これはまた、ビッグなニュースだ。ヨネックスから世界的特許のT型ジョイントを、こんどは内蔵させた驚異のジョイントレスラケットCAB-20登場。ヨネックスの技術力を結集したオールカーボン一体成型により、ラケットのスウィングによるエネルギーロスを極限にまで抑えました。フレームとシャフトが一体となって最も効果的なしなりと、強い反発を実現した

ワー。





新製品

ALL CARBON GRAPHITE RACKET

CAB-20 Carbonex20

ニューパワーラケットです。この構造によりラケットのヘッドスピードと
反発系数が飛躍的に高まり、これまでにないパワーと抜群の振り抜きが
可能になりました。時代をつねにリードする、ヨネックスならではの自信作です。

〈カーボネックス・20〉●価格:**¥16,000**(フレーム・ケース付)●シャフト/フレーム:オールカーボン
●グリップサイズ表示:G3・G4・G5●重量表示:2U(90~94g)・U(95~99g)●色:セピア・マリンブルー

YONEX®

話題の自然飲料

●爽やかな程よい渋味が、スポーツやレジャーにピッタリ！

●ウイスキーのウーロン割り〝シルクロードの味〟が巻で評判になっています。



ドリンク ウーロン茶 BLACK CAN

中国福建省産直輸入原料

小売価格100円



はと麦茶CAN

株式会社 伊藤園
東京都新宿区歌舞伎町2—31—11
TEL 03(200)9911

久光製薬

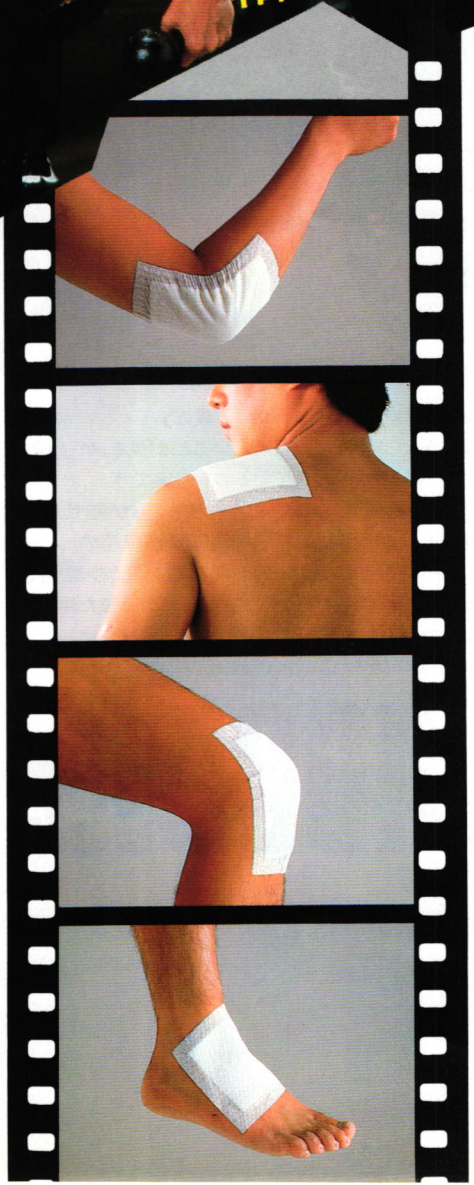


曲がったところもピッタリはれる

粘着シート付



サロンシップエースは、固定用粘着シート付の消炎・鎮痛シップ剤です。伸縮性にすぐれた粘着シートの使用により、関節などの屈伸部位にも、ぴったりと固定することができます。



打身・ねんざ・筋肉痛に…シップ剤

サロンシップエース

Nikon

カメラグランプリ'84 受賞 ニコンFA



昼 昌 夜 鉄

「世の中おもしろくしているのは、写真だ」
そんな声をよく聞きます。おもしろいことは「見る」から「撮る」へ。
実際、そういうひとが増えているのも事実です。
で、ニコンの超高速1/4000秒シャッター。目が離せない世の中を、
一瞬のうちに切り撮ってしまう。まさに問答無用の
おもしろさであります。スピードライト高速1/250秒同調を
使えば、朝・昼・晩といろいろ遊べて、これがまた愉しい。
これからは、進んだ技術の一眼レフで、
おもしろいもの撮ろうよ、という最近のニコンです。

1/4000sec.

マルチ・パターン測光、マルチモードで1/4000秒。
標準小売価格——Aiニッコール50mmF1.4S付¥151,000
ボディ¥115,000(ブラックボディは¥4,000高)/セミソフトケースCF-30¥4,000

Multi Nikon
Nikon FA



絞り優先オート&マニュアルで1/4000秒。
標準小売価格——Aiニッコール50mmF1.4S付¥111,000
ボディ¥75,000(ブラックボディは¥4,000高)/セミソフトケースCF-27¥4,000

Simple Nikon
Nikon FE2



マニュアル専用のメカニカル1/4000秒。
標準小売価格Aiニッコール50mmF1.4S付¥101,000/ボディ¥65,000(ブラックボディは¥4,000高)/セミソフトケースCF-27¥4,000

Manual Nikon
Nikon New FM2

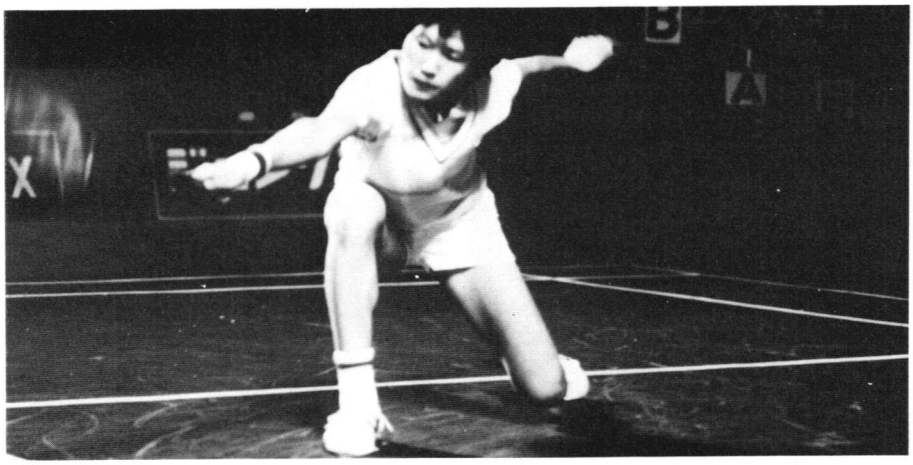


◉詳しいカタログを用意しています。機種名、年令をご明記のうえ〒100-91東京中央郵便局私書箱第1269号日本光学工業㈱宣伝課宛ご請求ください。

Nikon 日本光学工業株式会社 本社〒100東京都千代田区丸の内3-2-3(富士ビル)

KOREA韓国

'86年にアジア大会、'88年にオリンピックとスポーツの大きな祭典を開催するだけに、各種競技の強化計画がスタートしている。バドミントンもその例外ではないが、今大会にはそういった選手は見当らない。男子シングルスのハン・クック・スンは昨年に続いて出場、日本の長谷川を破っているだけにどこまで成長したかが楽しみ。



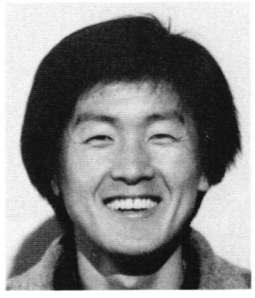
Gentlemen男子



JOO BONG PARK　朴　柱奉

韓国のトップダブルスで、今回もダブルスだけにエントリー。スウェーデン、デンマークでは優勝しており、今回も有力な候補。

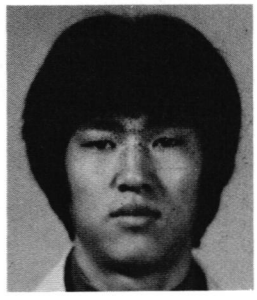
〔84年の戦績〕スウェーデンオープン（複）優勝(混)ベスト４。デンマークオープン(複)優勝。



MOON SOO KIM　金　文秀

朴と組むダブルスは韓国のトップクラス。'84年には海外での試合でも実績を挙げており、今年も活躍しそう。

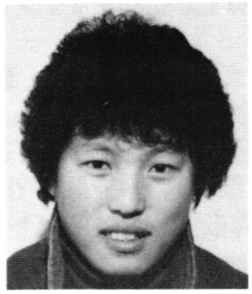
〔84年の戦績〕デンマークオープン（複）優勝。スウェーデンオープン（複）優勝（混）ベスト４。



HAN KOOK SUNG　ハン・クック・スン

韓国期待の若手。昨年のジャパンオープンでは、180 cmの長身を利して長谷川を下している。今回はシングルスとミックスにエントリーしている。

Ladies女子



YUN JA KIM　金　練子

韓国では世界的に知られたプレーヤー。柳とのペアで全英ダブルス２位の実績を持ち、圧倒的な強さを見せる中国勢を崩すとすればこの人と言われる。

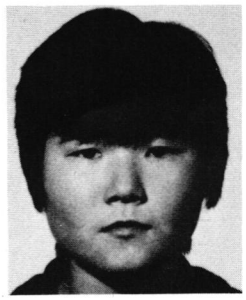
〔84年の戦績〕ジャパンオープン（単）ベスト４。全英選手権（複）２位。スウェーデンオープン（複）優勝、（混）ベスト４。



SANG HEE YOO　柳　尚希

ダブルスプレーヤーとして世界のトップクラスの力を持っている。金のリードで'84年もビッグトーナメントで実績を挙げており、今年も活躍しそう。

〔84年の戦績〕全英選手権（複）２位。スウェーデンオープン(複)優勝、(混)ベスト４。



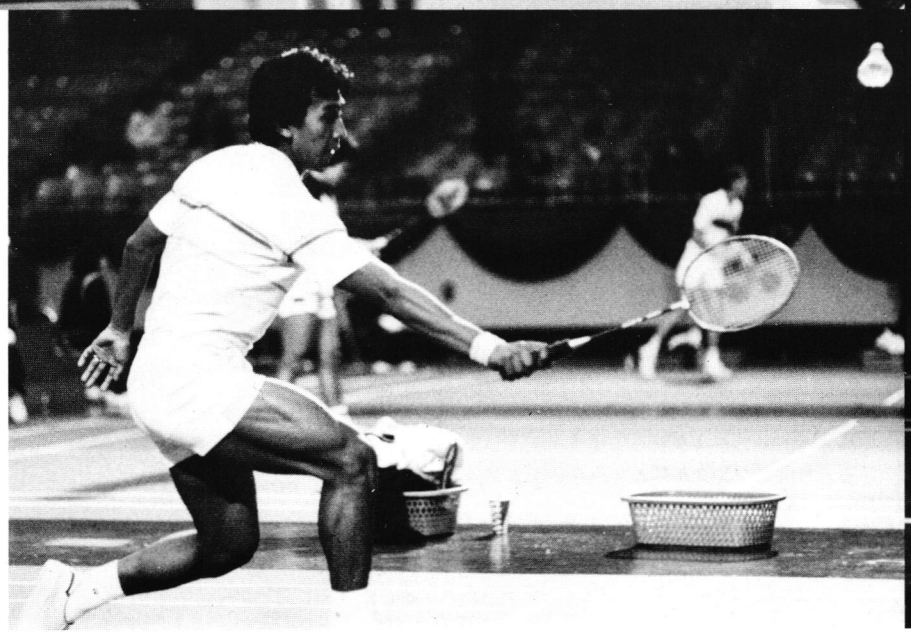
HYE YOUNG HWANG　ヒー・ヤン・ハン

まだ19歳と若いが、ジュニアランク１位でこれからが期待されている。アジア大会、ソウル五輪の公開競技に向けての選手か。

INDONESIA インドネシア

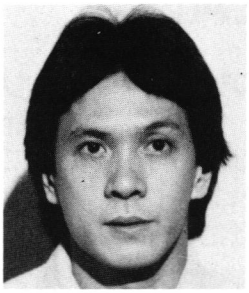
バドミントンが国技なだけに、登録選手だけで15万人、非公式な競技人口となると500万人といわれる。タン・ジョー・ホク、ルディ・ハルトノといった名選手は国民的英雄であり、現在のリム・スイ・キングも知名度はNo.1。1984年のトマス杯では中国からタイトルを奪還、8度目の優勝を飾り、世界をリードするバドミントン強国であることを実証した。





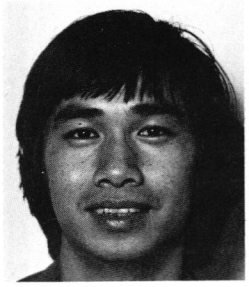


Gentlemen男子



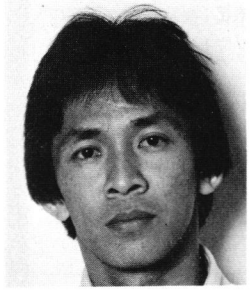
LIEM SWIE KING リム・スイ・キング

'80年代を代表する世界的なプレーヤー。シングルスの第一人者として君臨してきたが、'84年はデンマークのハンセンに2敗しており、今年は巻き返しなるかに興味が持たれる。〔84年の戦績〕アルバワールドカップ（複）ベスト4。ジャパンオープン（単）2位。全英選手権（単）2位。



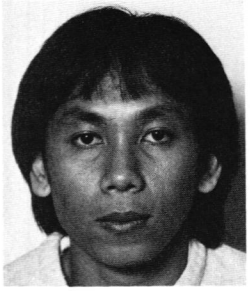
CHRISTIAN HADINATA
クリスチャン・ハディナタ

今年35歳になるベテランプレーヤー。ハディボーとのペアでダブルスに出場するが、その技巧は円熟の境地にある。
〔84年の戦績〕インドネシアオープン（複）優勝。アルバワールドカップ(混) 2位(複)ベスト4。ジャパンオープン（複）ベスト4。



KARTONO　カルトノ

'82年ヨネックスカップ・ジャパンオープンで初来日。男子ダブルスでヘリヤントとのペアで優勝し力のあるところを見せた。今回もダブルスのみにエントリー優勝を狙っている。
〔84年の戦績〕全英選手権（複）優勝。アルバワールドカップ（混）ベスト4。



HERYANTO　ヘリヤント

カルトノとのペアはインドネシアのトップダブルス。ダブルスの巧なヨーロッパ勢にひけをとらず、今大会も有力な優勝候補。
〔84年の戦績〕全英選手権（複）優勝。

HADIBOWO　ハディボー

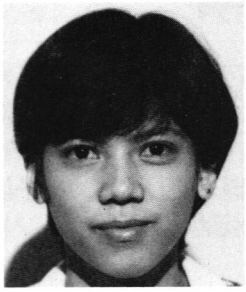
2年ぶりにジャパンオープン出場。今回はハディナタとのペアでダブルスにエントリー、国内選手権で優勝しているだけに目が離せない。
〔84年の戦績〕インドネシアオープン（複）優勝。スウェーデンオープン(複)ベスト4。アルバワールドカップ（複）ベスト4。

LIUS PONGOH　リュース・ポン

ジャパンオープンには初参加だが、力は侮れないものを持っている。インドネシアではある程度以上の力を持たないと、海外へ出さないので、そこそこには行きそう。
〔84年の戦績〕インドネシアオープン（単）優勝。

SIGIT PAMUNGAS
スギット・パムンガス

Ladies女子



ELIZABETH LATIFF
エリザベス・ラティフ

昨年のジャパンオープンにシングルス出場し、優勝した鄺昱鯉に2回戦で破れた。

IMELDA KURNIAWAN
イメルダ・クルニアワン

アジアでは珍しく、ミックスダブルスを得意とする選手。'84年の全英ではスコットランドのギリランドとのペアで準決勝進出。優勝したデュー／ギルクス組をあわやというところまで追いつめた。
〔84年の戦績〕全英選手権（混）ベスト4。デンマークオープン（混）2位。マレーシアオープン（混）ベスト4。アルバワールドカップ(混)ベスト4。ジャパンオープン(混)ベスト4。

ROSINA TENDEAN
ロジアナ・テンデアン

MARY HERLIM
マリー・ハーリム

YANTI KUSUMIATIE
ヤンティ・クスミアティ

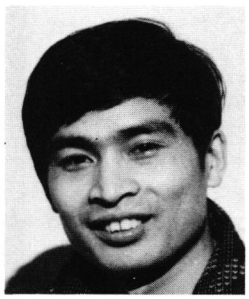
RATIH KUMALA DEWI
ラテー・クマラ・ドワイ

PLAYERS' GUIDE

CHINA中国

国際舞台に登場するようになってからの中国の強さは目をみはるばかり。男女ともに出場する大会では優勝または上位進出を必ず果たしている。1984年トマス杯では、タイトルをインドネシアに奪われたが、ユーバー杯は英国を破り獲得。女子は世界最強のレベルにある。今回は韓健（ハンジャン）、李玲蔚（リリンウェイ）のほかは若手がエントリーしてきたが、力はトップと差がないとみた。

Gentlemen男子



HAN JIAN　韓　健

'84年のジャパンオープン優勝で第一線級のプレーヤーになったが、'84年前半は足の故障に泣いた。今大会はどこまで回復したかを占う大事な一戦となる。

〔84年の戦績〕ジャパンオープン(単)ベスト4。全英選手権(単)ベスト4。アルバワールドカップ(単)優勝。

JHAO JIANHUA　趙新華
YANG GIANLI　楊千里
ZHANG Qian　侯加燦
LI YONGBO　李永波
DING QIQING　丁其慶
ZHOU JINCAN　周金昌

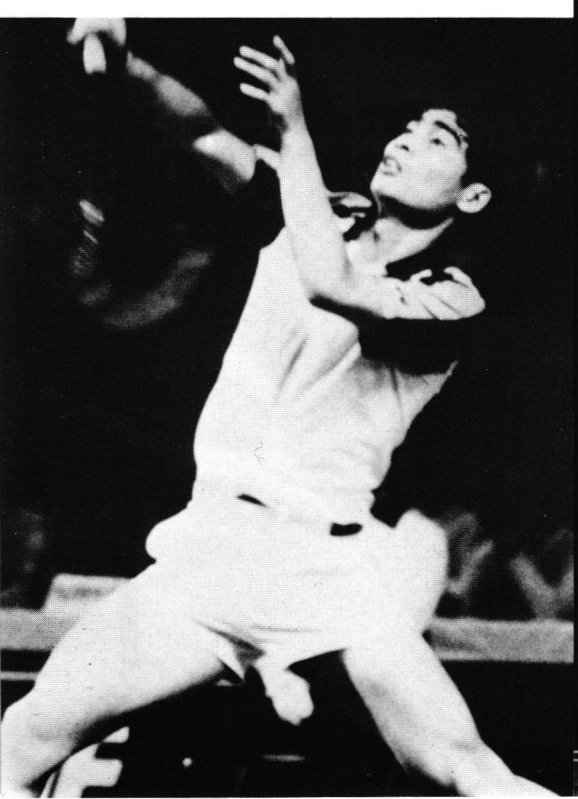
Ladies女子

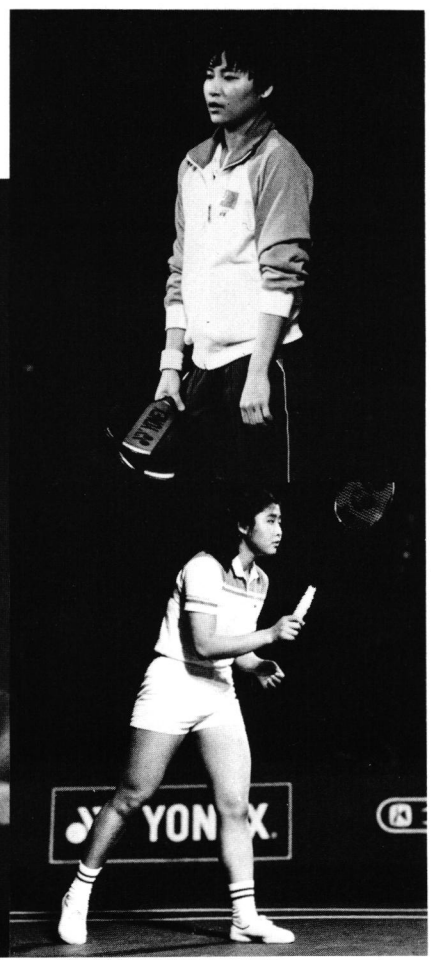


LI LINGWEI　李　玲蔚

昨年の活躍は素晴しく、今や実力No.Ⅰの女王の座についた。特に全英ではすべてストレート勝ちで優勝するなど、他を寄せつけない強さを発揮、当分は李時代が続きそう。

〔84年の戦績〕全英選手権(単)優勝。マレーシアオープン(単)優勝。インドネシアオープン(単)優勝。アルバワールドカップ(単)優勝、(複)ベスト4。







QIAN PING　銭　萍

昨年のジャパンオープン準優勝ですっかり自信をつけ、中国女子の三番手とまで評されるようになった。今大会では、李とのペアでダブルスにも出場する。

〔84年の戦績〕全英選手権(単)ベスト4。ジャパンオープン（単）2位。ワールドカップ(単)ベスト4。

WU JIANQIU　呉　建秋

ここへ来て力をつけ呉迪西／林瑛のトップダブルスに迫る勢い。単複にエントリー。

〔84年の戦績〕全英選手権(複)ベスト4。ワールドカップ(複)優勝。マレーシアオープン(複)優勝。

GUAN WEIZHEN　関渭貞

今大会では呉とのペアでダブルスの優勝を狙っている。単にもエントリーしている。

〔84年の戦績〕マレーシアオープン(単)ベスト4、(複)優勝。

RUAN XIAOQING　阮小卿

CHINESE-TAIPEI
中国台北

Gentlemen男子

GOH RONG YIH　ゴー・ロン・イー
CHANG WENG SUNG　チェン・ウェン・スン

Ladies女子

LIN HUI SHU　リン・フイ・スー

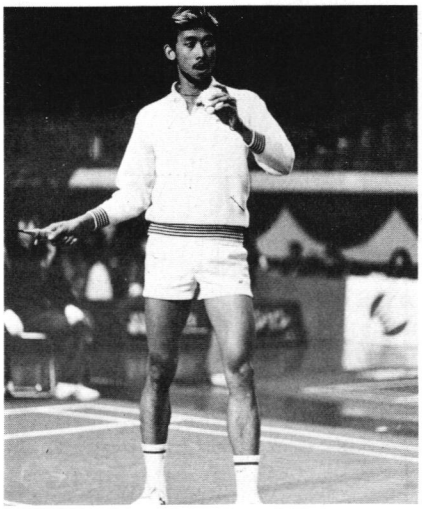
女子のナンバーⅠ選手。昨年はシングルスでマグヌソンを破りⅠ回戦突破。今年はさらにその上を狙う。

LIU SHERRY　リュウ・シェリー

'84年タイペイオープンのシングルスで2位の実績を持つ。

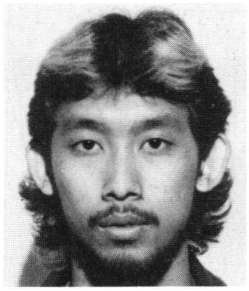
FUNG MEI YING　フン・メイ・イン

MALAYSIAマレーシア



1950年代にはトマス杯4回優勝など、バドミントンの伝統国である。東南アジアではインドネシアと並んでバドの人気が高く、TV放映も毎日30分番組があるほど。84年にはトマス杯、ユーバー杯を開催するなど、一般の理解が深い。トッププレーヤーはシデック3兄弟が有名だが、それに次ぐ選手がなかなか現われないのが悩み。

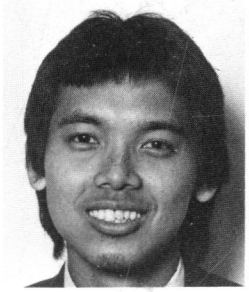
Gentlemen男子



MISBUN SIDEK　ミスブン・シデック

シディク兄弟の一番上でシングルスの第一人者。彼独得のトリッキーなプレーで、各大会の上位にいつも顔を出すが、'84年はビッグトーナメントの活躍が少なかった。

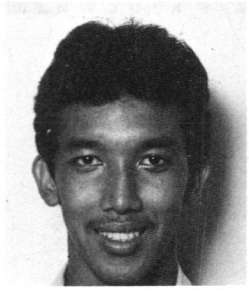
〔84年の戦績〕カナダオープン(単)優勝。マレーシアオープン(単)ベスト4。デンマークオープン(単)ベスト4。



RAZIF SIDEK　ラジフ・シデック

兄弟の真ん中の彼は、末弟ジャラニとのダブルスで活躍している。'82年には全英で優勝もしており、ヨーロッパのダブルスとは一味違ったプレーを見せてくれる。

〔84年の戦績〕カナダオープン(複)優勝。マレーシアオープン(複)2位。全英選手権(複)ベスト4。アルバワールドカップ（複）ベスト4。



JALANI SIDEK　ジャラニ・シディク

次兄との息の合ったコンビは、ダブルスプレーヤーとして世界のトップクラスにいる。まだ21歳と若いので、これから大きく伸びる可能性もある。

〔84年の戦績〕カナダオープン(複)優勝。マレーシアオープン(複)2位。全英選手権(複)ベスト4。アルバワールドカップ（複）ベスト4。



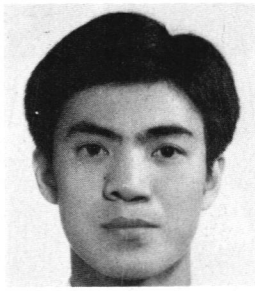
ONG BENG TONG　オン・ベン・トン

2年連続しての参加。昨年は1回戦で英国のニック・イエーツを破ったが、2回戦でハンセンに一方的に負けた。今年は昨年の成績を上回れるか。

FOO KOK KEONG
フ・コック・キョン

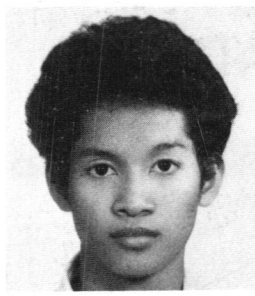
THAILAND
タイ

Gentlemen男子



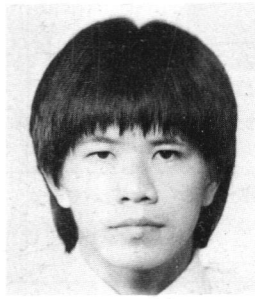
SOMPOL KUKASEMKIJ
ソンポール・クカセミイ

現在タイのシングルスチャンピオン。'84年トマス杯のタイ代表になった21歳の学生。



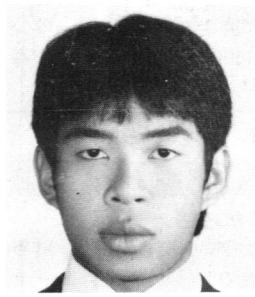
SAKRAPEE THONGSARI
サクラピィー・トンサリー

タイランキングNo.2、22歳の学生。



SURACHAI MAKKASASITHORN
スラチャイ・マカサアシイトーン

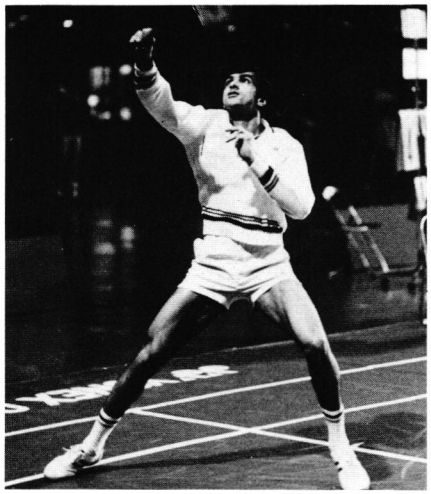
'83、'84年タイダブルスチャンピオン。21歳。



CHAIWAT CHALERMPUSITARAK
チイワット・チアレンプシタラック

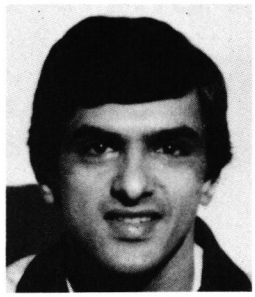
スラチャイとのペアでダブルスランク1位。

INDIAインド



インドのバドミントンといえば、プラカシュの名前が挙がるほど彼の存在は大きい。昨年のジャパンオープンには、サイド・モディという選手も参加したが本戦入りを果たせなかった。やはり層は薄いようだが、プラカシュの力が世界的に通用する間に後継者を育てておきたいというのが望みのようだ。

Gentlemen男子



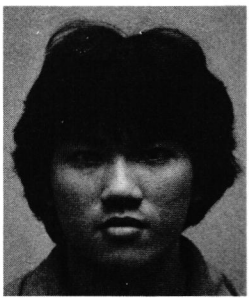
PRAKASH PADUKONE
プラカシュ・パデュコーン

初来日は1980年京都で行なわれたワールドカップの時。それ以後、ハルトノを破ったりしてすっかり世界のトップスターに成長。拾って拾いまくるゲーム運びが特徴。

〔84年の戦績〕マレーシアオープン（単）ベスト4。デンマークオープン(単)ベスト4。

SINGAPORE
シンガポール

Gentlemen男子



WONG SHOON KEAT　ウォン・ソーン・キート

シンガポールのトッププレーヤー。'82年以来国内チャンピオンの座を守っている。

LAU WING CHEOK　ロウー・ウイン・チョク

国内でキートに次ぐ実力の持ち主。まだ21歳と若く経験を積むことが第一。

HAMID KHAN　ハミッド・カン

昨年に続いての出場、チョクとのペアでダブルスに出場したが1回戦で敗退。

WONG SHOON SOON　ウォン・ソーン・スーン

キートとのペアで昨年のジャパンオープンダブルスに出場。1回戦で日本の井上／宮森組にストレート負け。

BENSON WONG　ベンソン・ウォン

Ladies女子

IRENE LEE　アイリン・リー

シンガポールの女子No.1プレーヤー。昨年はシングルス1回戦でラーセンにストレート負け。今年は1回戦突破なるか。

CHOY LENG SIONG　チョイ・レン・ション

HONG KONG香港



CHAN CHEE CHOI　チャン・チ・チョイ

単、複、混合にエントリー。昨年は混合のみ本戦入り、今年もどこまでやれるか。

WONG MAN HING　ウォン・マン・ヒン

35歳のベテランで'83年の香港選手権複に優勝したことも。今回も複と混合にエントリー。

YEUNG YIK KEI　ヨン・イク・ケイ

シングルスのみにエントリー。

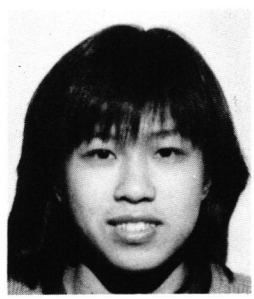
WONG LAP CHUEN　ウォン・ラップ・チュン

プンとのペアでダブルスに出場。

POON FAI CHUNG　プン・ファイ・チュン

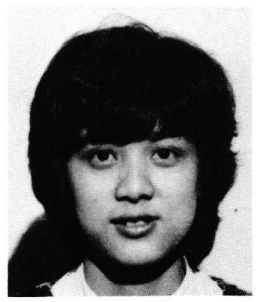
ウォン・ラップと組んでダブルスにエントリー。

Ladies女子



AMY CHAN　陳　念　慈

'81年のオーストラリアインターナショナルのシングルスに優勝したことも。昨年の大会は1回戦で英国のヘレン・トロークに敗退。



WONG HAR PING　王　夏　萍

3年連続してジャパンオープンに出場。今年は単、複、混合にフルエントリー。

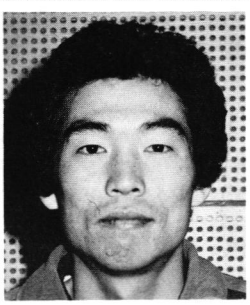
JAPAN 日本

84年のユーバー杯でタイトルを失ない、日本は国際的に見てもやや取り残されてしまっている。この大会でも、82年大会以来、日本人の優勝者が出ておらず、この辺で是非ともとの期待がかかる。何とか好成績を残せればそれをバネに再び国際大会での活躍も……。





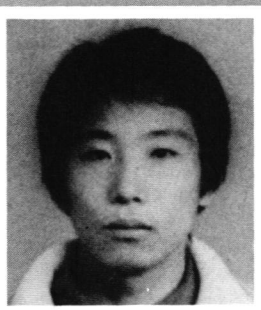
Gentlemen 男子



KINJI ZENIYA　銭谷欽治(三洋電機)

今年の全日本総合で3年ぶり7度目の優勝を飾り、ベテラン健在を見せつけてくれた。その試合巧者ぶりは、まだまだ日本の若手を寄せつけない力を持っている。

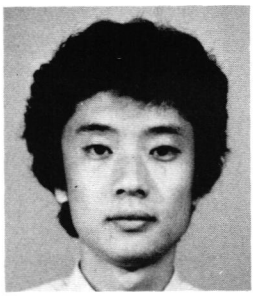
〔84年の成績〕全日本総合（単）優勝。全日本社会人（単）2位。



HIROSHI NISHIYAMA　西山博司(電電東京)

このところ力をつけてきており、全日本のシングルスで準優勝。日本人では群を抜いた力とスピードのスマッシュが、外国勢を相手にどこまで通用するかが楽しみ。

〔84年の戦績〕全日本社会人(単)優勝、(複)ベスト4。全日本総合(単)2位、(複)ベスト4。



HIROYUKI HASEGAWA
長谷川博幸(ヨネックス)

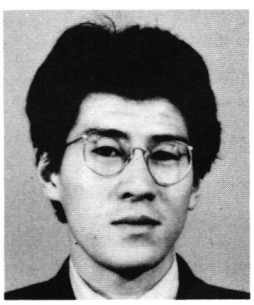
―昨年の全日本チャンピオンも、'84年は今一つ波に乗れず3連覇を逸した。今年は巻き直しの年でもあり、'82年大会ではシングルスベスト4進出の実力者だけに上位進出も。

〔84年の戦績〕全日本社会人(複)優勝、(単)ベスト4。全日本総合(単)(複)ベスト4。



SYOKICHI MIYAMORI　宮森庄吉(電電東京)

〔84年の戦績〕全日本社会人(複)2位。全日本総合(複)優勝。



YUKIHIRO MIYAMOTO
宮本幸弘(ヨネックス)

〔84年の戦績〕全日本社会人(複)優勝。全日本総合(複)ベスト4。



SHOICHI TOGANOO
栂野尾昌一(ヨネックス)

〔84年の戦績〕全日本総合(混合)ベスト4。

SHUZI MATSUNO 松野修二(法政大)
〔84年の戦績〕全日本学生(単)4位、(複)優勝。全日本総合(複)2位。

SHINJI MATSUURA 松浦進二(法政大)
〔84年の戦績〕全日本学生(単)2位、(複)優勝。全日本総合(複)2位。

TETSUAKI INOUE 井上哲章(日体大)
〔84年の戦績〕全日本学生(単)優勝、(複)2位。全日本総合(単)ベスト4、(複)優勝。

MASAO TSUCHIDA 土田証雄(電電東京)
〔84年の戦績〕全日本総合(単)ベスト8。

TATSUHIKO MOURI
毛利達彦(金沢市役所)
〔84年の戦績〕全日本社会人(単)ベスト4。全日本総合(単)ベスト8、(複)2位。

YUJI IMAI 今井勇司(渋川女子高教員)
〔84年の戦績〕全日本総合(複)ベスト8。

TATSUYA YANAGIYA 柳谷辰哉(日大)

YASUAKI TSUJITA 辻田泰昌(中大)

MIKIO OZAKI 尾崎幹雄(電電東京)
〔84年の戦績〕全日本総合(複)ベスト4。全日本社会人(複)ベスト4。

TSUNEO KURIHARA 栗原恒夫(桐生高教員)
〔84年の戦績〕全日本総合(複)ベスト8。

KIYONORI KOGAI 小飼清統(法政大)
〔84年の戦績〕全日本総合(複)ベスト8。

KOUJI HONDA 本田浩二(法大)
〔84年の戦績〕全日本総合(複)ベスト8。

HIDEKI YAMAMOTO
山本秀樹(トヨタ自動車)

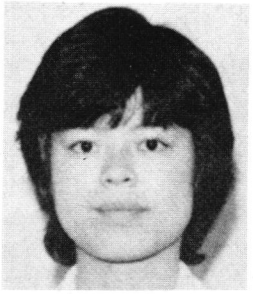
KATSUSHI KOGA 古賀勝志(法大)

YOSHIO ENDO 遠藤好男(電電北海道)
〔84年の戦績〕全日本総合(複)ベスト8。

KOUJI YONEYAMA 米山孝二(電電北海道)
〔84年の戦績〕全日本総合(複)ベスト8。

KYOJI KUSI 工士恭司(RHオールマン)
〔84年の戦績〕全日本総合(混合)優勝。

Ladies女子



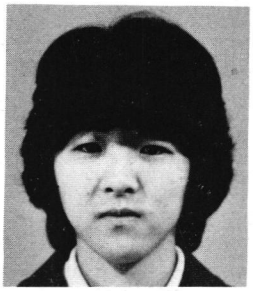
SUMIKO KITADA 北田スミ子(三洋電機)
シングルスでは今や日本のエース。昨年のジャパンオープンでも、2回戦でラーセンに善戦しており、今年はさらに上位の望みも。
〔84年の戦績〕全日本社会人選手権(単)優勝。全日本総合(単)優勝。



ATSUKO TOKUDA 徳田敦子(東京都協会)
女子ダブルスでは米倉とのペアで日本最強を誇る。全日本総合でも6連勝と、その実力は抜きん出ている。第1回のジャパンオープンで女子ダブルス優勝を飾っており、唯一の日本人勝者だけに奪回を願うファンも多い。
〔84年の戦績〕全日本社会人(複)優勝。全日本総合(複)優勝。ジャパンオープン(複)ベスト4。スカンジナビアオープン(複)優勝。スウェーデンオープン(複)2位。



YOSHIKO YONEKURA
米倉よし子(電電東京)
世界的に通用する日本のトップダブルス。徳田とのペアで、'84年も海外で優勝するなど、ジャパンオープンで日本が優勝するもっとも可能性のある選手。
〔84年の戦績〕全日本社会人選手権(複)優勝。(単)2位。全日本総合(複)優勝。ジャパンオープン(複)ベスト4。スカンジナビアオープン(複)優勝。スウェーデンオープン(複)2位。



HISAKO TAKAMINE 高峯尚子(ヨネックス)
〔84年の戦績〕全日本総合(複)ベスト4。

ETSUKO TOGANOO
栂野尾悦子(ヨネックス)
〔84年の戦績〕全日本社会人(複)ベスト4。全日本総合(混)ベスト4、(複)ベスト8。

MARIKO IMAGAWA 今川真理子(日体大)
〔84年の戦績〕全日本学生(単)(複)ベスト4。全日本総合(単)ベスト4。

KIMIKO JINNAI
陣内貴美子(RHオールマン)
〔84年の戦績〕全日本社会人(混)優勝。全日本総合(混)優勝。

HARUMI KOUHARA
鴻原春美(四条畷学園女子短大)
〔84年の戦績〕全日本学生(単)(複)優勝。全日本総合(複)ベスト8。

MICHIYO NISHIMURA
西村美千代(サントリー)
〔84年の戦績〕全日本社会人(単)ベスト4、(混)2位。全日本総合(複)ベスト4。

MICHIYO TOMITA 冨田美千代(三洋電機)
〔84年の戦績〕全日本社会人(複)ベスト4。全日本総合(複)2位。

YOKO KIKUCHI 菊池洋子(サントリー)
〔84年の戦績〕全日本総合(複)ベスト4。

HIROMI TSUKIOKA 月岡広美(ヨネックス)
〔84年の戦績〕全日本総合(複)ベスト4。

SONOE MIYAMORI 宮森ソノエ(ヨネックス)
〔84年の戦績〕全日本社会人(複)ベスト4。全日本総合(複)ベスト8。

CHIKAKO SANDA 三田知佳子(電電東京)
〔84年の戦績〕全日本総合(混)ベスト4。

YOSHIKO KASHIMA 彼島佳子(北国銀行)
〔84年の戦績〕全日本社会人(混)ベスト4。全日本総合(混)2位。

HIDEYO NOGUCHI
野口英代(渋川女子高教員)

YUKO NAGAOKA 長岡裕子(邑楽中教員)

味の素KK

麦から、ビール。さとうきびから、「味の素」。



素材のおいしさを いちだんと ひきたてます。

AJI-NO-MOTO®

—うま味の調味料—

麦から、ビールがつくられるように、「味の素」は、天然のさとうきびからとれる糖蜜を発酵させてつくられます。自然の恵みと人の知恵から生まれる「味の素」。お台所や食卓でかかせない**うま味の調味料**です。

バドミントン勢力

'85バド情報

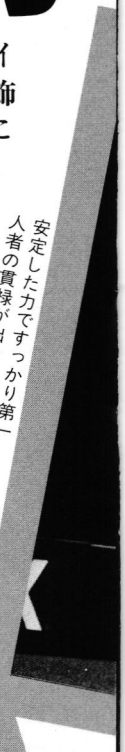
'84年のバドミントン競技を振り返ってみると、トマス杯はインドネシアが8回目の優勝を、ユーバー杯は中国が初優勝を飾った。そして個人戦ではモルテン・フロストが全英を制覇。この成績を見る限り、勢力図に大きな変化はないようだが……。



8回目のトマス杯を獲得したインドネシアだが、やはりこのリム・スイ・キングの力は大きい



カルトノ／ヘリヤント組は全英ダブルスチャンピオン。その力をトマス杯でも十分に発揮



安定した力ですっかり第一人者の貫禄が出たモルテン・フロスト・ハンセン



楊陽（ヤンヤン）は中国期待の若手。85年は国際大会での優勝も……

3 強時代はまだ続く!?

昨年おこなわれた第13回トマス杯は、インドネシアが前回優勝の中国を破り8回目のトマスカップを獲得した。大会前の予想でもこの両国にデンマークを加えた三つ巴と思われたが、結果はその通りとなった。

インドネシアの勝因は何といっても、ダブルスで確実にポイントをあげられる強さにある。全英を制したカルトノ／ヘリヤント、クリスチャン／エルタントと強力ペアを持っている。その上シングルスでも、リム・スイ・キング、イチョック・スギャルトをはじめハストモ、ハディヤントと揃っていただけに、今回の優勝も妥当といえばいえる。

一方、惜しくも苦杯を喫した中国は、シングルスではインドネシアと対等以上のメンバー韓健（ハンジャン）、欒勁（ルアンジン）、陳昌傑（チェンチャンジイ）などを擁していたが、今一つ調子が出なかった。そして、シングルスに比べてのダブルスの弱体は、やはり団体戦では不利で連覇を逸する大きな要因となった。

決勝ラウンドB組で中国とあたったデンマークが、もしかしたらトマス杯初のヨーロッパ勢、という期待が持たれたが、やはり主砲モルテン・フロスト・ハンセンに次ぐメンバーの力が、他の国と比べると差があり過ぎ決勝へ進出できなかった。ケルドセン、ニヤホフなど力を付けてはいるのだが、まだトップに立つには壁が厚い。

個人戦の全英を見ると、シングルス決勝はジャパンオープン同様、ハンセン対キングとなりハンセンが優勝している。84年のビッグタイトルの戦績やランキングを見ても、現在のハンセンは最も安定しており、当分はこの強さが続くと思われる。

彼に2度破れたキングも、83年当時のスランプから脱しており、相変らず王者の風格を備えた華麗なプレーを見せてくれた。しかし、全盛時に比べるとややスタミナの衰えが目立ちはじめた感もある。

中国勢では83年のジャパンオープンを勝った韓健（ハンジャン）、同年全英を制した欒勁（ルアンジン）などがトップシングルの地位にいる。しかし、84年は韓健（ハンジャン）は足の故障に泣き、欒勁（ルアンジン）も今一つ冴えがなかった。

こうしてトッププレーヤーの勢力図を眺めて見ると、上昇、下降の差こそあれ安定している。インドネシアのスギャルト、インドのプラカシュといった名前も名染みであるし、新興勢力といった若手は見当たらない。

わずかに、これからどう伸びるかと期待されるのが中国の楊陽（ヤンヤン）。84年のジャパンオープンでいきなりベスト4入りし、準決勝ではキングに2－1と破れはしたが善戦。その後のワールドカップでも準優勝と、ジャパンオープンの活躍がフロックではなかったことを示している。

女 子は中国勢の天下

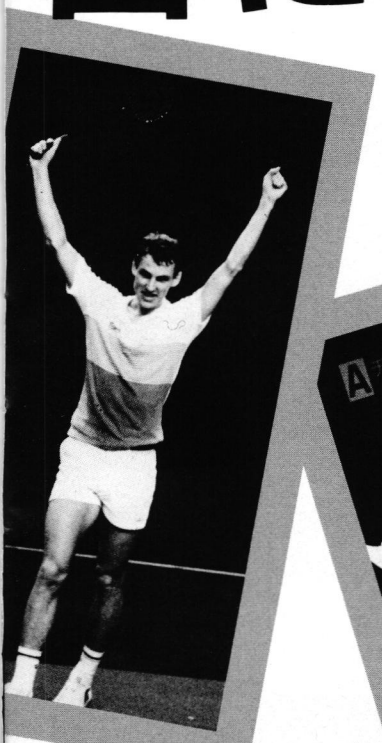
10回目のユーバー杯は日本がタイトルを失い、中国が優勝したのを見ても分かるように、女子バドミントン界では圧倒的な強さを発揮している。

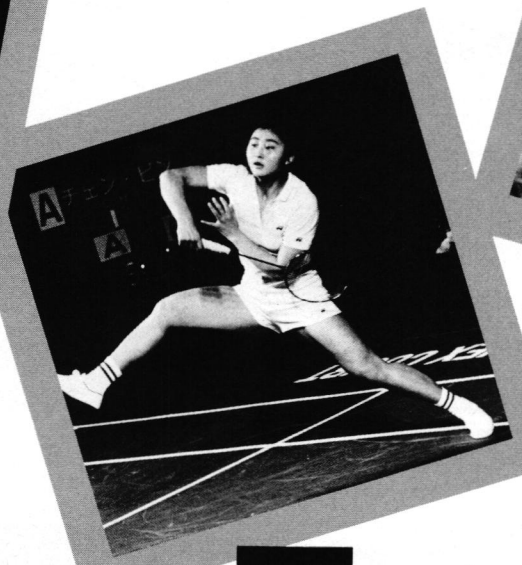
それは84年の主な大会の女子の勝者を列記しても分かる。中国選手が単複の上位を占めているからである。

全英のシングルスでは李玲蔚（リーリンウェイ）が優勝して、韓愛萍（ハンアイピン）が2位。ダブルスでも呉迪西（ウーディシー）／林瑛（リンイン）組が優勝している。ワールドカップのシングルスは全英同様に李と韓が1、2位を占めており、ダブルスでは全英ベスト4だった徐蓉（シュロン）／呉建秋（ウージャンキュー）が優勝、林瑛／呉迪西組が2位となっている。さらにマレーシア・オープンでは、シングルス李玲蔚と呉建秋が1、2位を占め、ダブルスも呉建秋／関渭貞（クワンウェイゼン）組が優勝している。

中国以外で層の厚さを誇るのがイング

図に変動はあるか





層の厚い中国女子、84年ジャパンオープン準優勝で自信をつけた銭萍（チェンピン）も次代をになう若手の一人



ユーバー杯は中国が圧倒的な強さを見せて優勝（写真提供／ベースボールマガジン社・バドミントンマガジン）



韓国のトップシングル金練子（ユンジャキム）、打倒中国の一番手の期待がかかる

ランド。ヘレン・トロークやサリー・ポジャーなどこれから活躍が期待できる。トロークはライセンスプレーヤーとしてバドミントンに打ち込んでおり、まだまだ伸びる余地は十分にある。また、イングランドの女子は競技歴の長い選手が多く、ベテランも健在である。クラーク、ギルクスをはじめ、ベックマンやウェブスターなどはダブルスで力を発揮している。

ユーバー杯保持国であった日本は、徳田／米倉組が全日本総合で6連勝するなど、ベテランの一線級をまだ倒すほどの若手が現われないのが苦しい。

むしろお隣りの韓国の方に逸材はいる。全英ダブルスで2位になった金練子（ユンジャキム）／柳尚希（ユーサンヒー）組は、現在もっとも充実しており、中国の上位独占を崩すとすれば、韓国勢との評価がある。特に金練子はシングルスでも上位にコンスタントに進出しており、その力は世界のトップクラスにある。

韓国は86年のアジア大会の開催国であり、その面子に賭けても各競技の強化に力を入れており、バドミントンも例外ではない。金メダルを取るための強化計画を進めており、男女ともにこれから若手をどんどん海外へ出して実績をつくることは十分考えられる。それだけに、金と柳のトップに続く選手として、誰が出てくるかは当分の間は目が離せない。

その他、インドネシアのイバナ・リ・インホー、デンマークのラーセンなどは、ここ当分の間は各大会の上位リストに名を連ねるだけの力は維持している。

88年に大きな変動がある？

バドミントンのトップクラスをざっと紹介してきたが、男女ともにここ数年は大きな変動はない。男子ではハルトノ、リム・スイ・キング、モルテン・フロスト・ハンセンと続いたトップ層。それに続くプラカシュ、スギャルト、韓健、欒勁といった選手はここ数年はその力を維持するであろう。

女子ではここ当分は中国時代が続きそうで、ヨーロッパの若手がどこまで伸びるかが目新しさを感じさせるに過ぎない。

こういったバドミントンの勢力図が大きく変わる可能性があるのは、86～88年にかけてだ、というのが関係者の予想である。86年にはアジア大会、88年にはオリンピックがソウルで開催される。

特に88年のソウルオリンピックではバドミントンが公開競技に採用されるようＩＢＦでは運動しており、そうなれば、先に触れたが韓国の選手強化がより一層進められる。となれば、勢力図変化の台風の目となるのは韓国といえよう。

現在でも世界的に通用する選手を出しており、3年後をにらんでの強化策が実れば、一挙にバドミントン強国のNo.Ⅰに躍り出る可能性が強い。

最後に、プレーの質でこれからを予測すれば、70年代後半から80年代前半に主流を占めた攻撃型プレーが変わってきつつある。インドネシアや中国に代表される速攻型のプレーではもはやビッグトーナメントを勝ち抜くのは難しくなっている。中国でも韓健のようにオールラウンドでいながら、どちらかといえば守備型の選手も出ており、世界のバドミントンのプレーが攻撃より守備、もしくはオールラウンドというように変化している。

女子でも、中国の攻撃プレーが主流だが、これも勝ち続けているからであって、立ちふさがる国が出てくればプレーの質が変化する可能性は大きい。

バドミントンも賞金付きのオープントーナメントが増え、世界中を転戦するサーキット化すれば、プレーの質もよりコンスタントに上位へ進出できるスタイルになっていくのは否定できない。それは調子のいい時は圧勝できるが、一たん歯車が狂うともろい攻撃一辺倒よりも、どこといって穴の少ないオールラウンドや守りに守って相手のスタミナ切れを待つ守備中心が平均して賞金を稼げることにつながるからである。

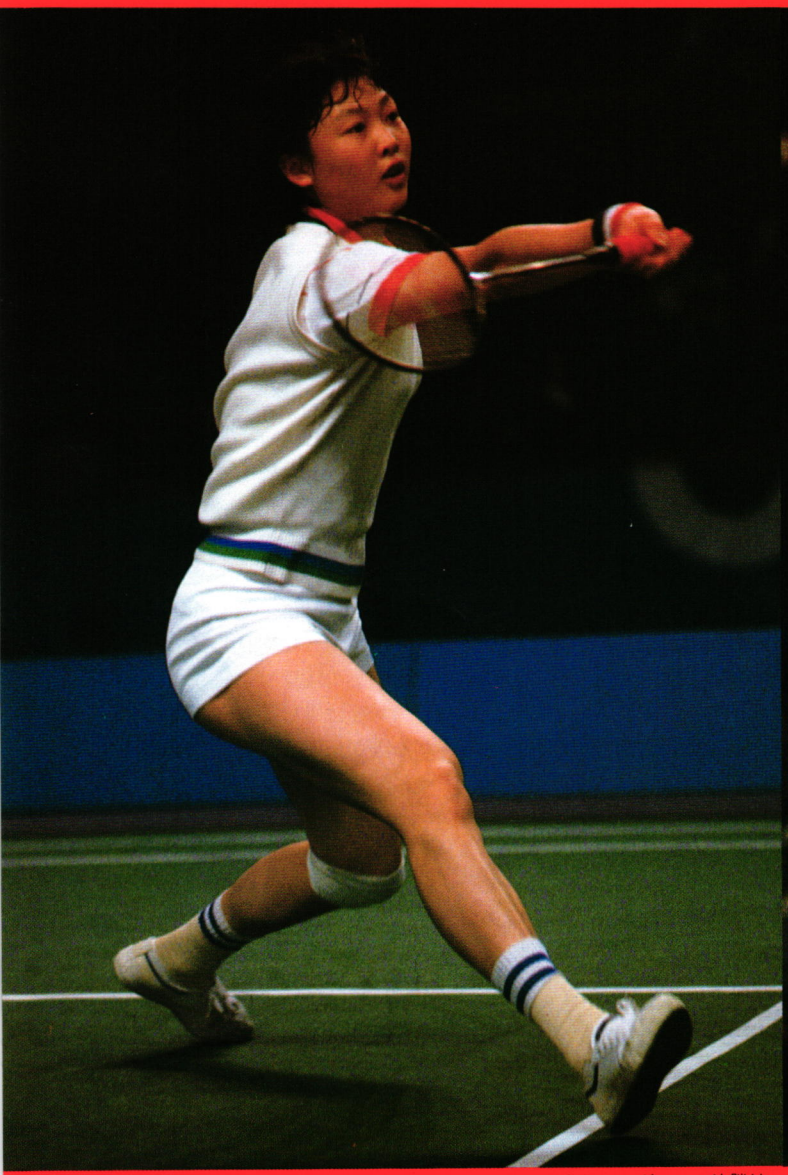
BIG TOURNAMENT WINNERS

'84年海外主要大会の優勝者

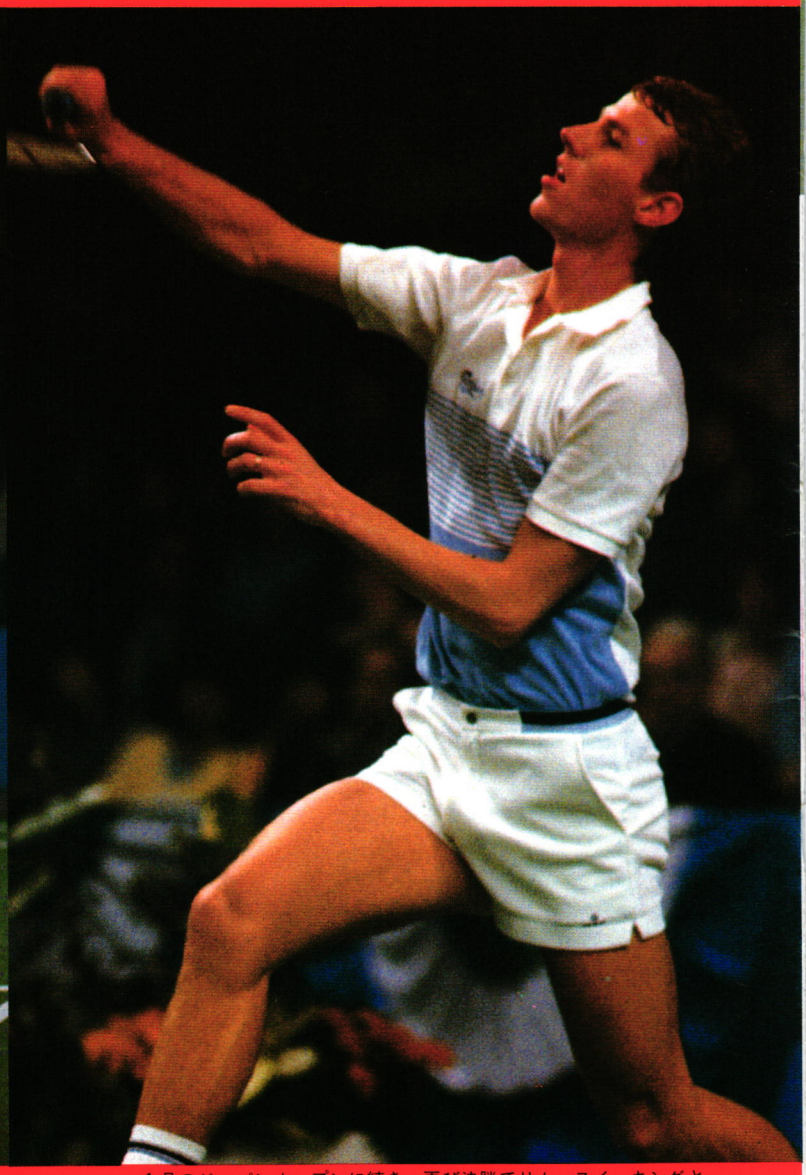
第94回全英オープン '84 ALL ENGLAND 3/21～25・ロンドン

最古の歴史を誇り、バドミントン競技の大会としては最も権威があるとされる全英オープン。

'84年のチャンピオンの座に就いたのは男子がモルテェン・フロスト、女子は李玲蔚（リーリンウェイ）だった。



中国勢同士の対戦となった女子シングルスの決勝は、李玲蔚が勝ち、昨年の張愛玲に続き中国選手の2連勝



1月のジャパンオープンに続き、再び決勝でリム・スイ・キングと対決したモルテェン・フロストは2－1で下し全英タイトルを獲得

第13回トマス杯 Tohmas Cup　5 7〜18・クアラルンプール

2年に一度開かれる男子の国別団体戦のトマス杯は、'84年から女子のユーバー杯と同時期開催となり、マレーシアで熱戦が展開された。今回初参加の中国の戦い振りが注目されたが、予想通りインドネシアー中国の決勝となった。結果は、リム・スイ・キング、スギャルトなどの活躍でインドネシアが8回目の優勝を遂げた。



依然衰えぬ力を見せるリム・スイ・キング、シングルスで大活躍して優勝に大きく貢献した



ハディナタ／ハリヤントのダブルスペアもポイントを稼ぎ、インドネシアに8回目のタイトルをもたらした

第10回ユーバー杯 UBER Cup　5 7〜17・クアラルンプール

日本が唯一保持している世界タイトルが、この女子団体戦のユーバー杯。しかし、今回初参加の実力No.1の中国チームが圧倒的な強さを見せ、決勝でもイングランドを一方的に破り、初参加で初優勝という偉業を成し遂げその力をまざまざと見せた。



全英シングルス勝者の李玲蔚、シングルスでは他を寄せつけず、第一人者として中国チームを引っ張った



呉迪西／林瑛のペアも全英ダブルス優勝の実力者。危な気ないゲーム運びで確実にポイントをあげた

写真提供 ベースボールマガジン社
バドミントンマガジン

'84 WORLD LANKING
1984年世界ランキングリスト

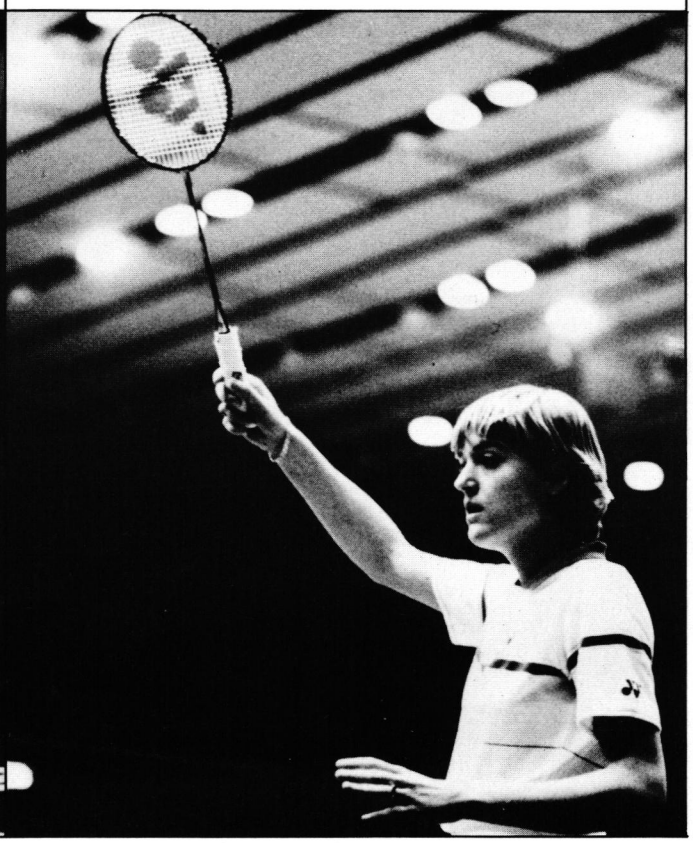
GENTLEMEN'S SINGLES

1. Morten Frost (Denmark)
2. Icuk Sugiarto (Indonesia)
3. Steve Baddeley (England)
4. Jens Peter Nierhoff (Denmark)
5. Hastomo Arbi (Indonesia)
6. Prakash Padukone (India)
7. Liem Swie King (Indonesia)
8. Han Jian (China)
9. Nick Yates (England)
10. Sigit Pamungkas (Indonesia)
11. Michael Kjeldsen (Denmark)
12. Misbun Sidek (Malaysia)
13. Lius Pongoh (Indonesia)
14. Sze Yu (Hong Kong)
15. Steve Butler (England)
16. Jesper Helledie (Denmark)
17. Steen Fladberg (Denmark)
18. Sompol Kukasemkij (Thailand)
19. Kevin Jolly (England)
20. Ib Frederiksen (Denmark)

LADIE'S SINGLES

1. Kirsten Larsen (Denmark)
2. Helen Troke (England)
3. Li Lingwei (China)
4. Ivana Lie Ing Hoe (Indonesia)
5. Christine Magnusson (Sweden)
6. Karen Beckman (England)
7. Dorte Kjaer (Denmark)
8. Han Aiping (China)
9. Wu Jianqiu (China)
10. Sally Podger (England)
11. Gillian Gowers (England)
12. Lin Hui-Hsu (Chinese-Taipei)
13. Fumiko Tokairin (Japan)
14. Yun Ja Kim (Korea)
15. Qing Ping (China)
16. Saori Kohmoto (Japan)
17. Jane Webster (England)
18. Zheng Yuli (China)
19. Hye Yong Hwang (Korea)
20. Sumiko Kitada (Japan)





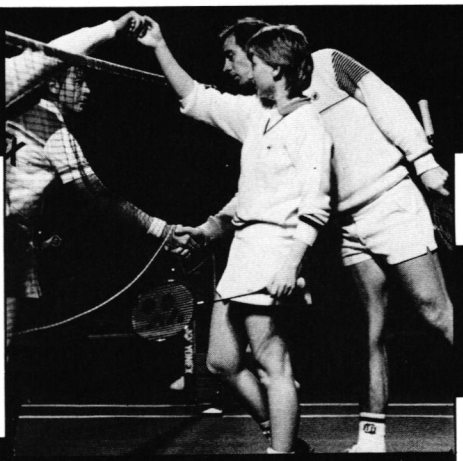
※以上のランキングは、グランプリ・シリーズでのポイントによって決められるもので1984年最後のグランプリ大会（スカンジナビアカップ）終了後のものとなっています。

'85 BADMINTON TOURNAMENT CALENDAR
1985年バドミントン競技カレンダー

★は国内大会（一部予定）

1 JANUARY

10～13　香港オープン
（香　港）
17～20　中国台北招待
（台　北）
★22～27　ヨネックスカップ・ジャパンオープン
（桐生・東京）

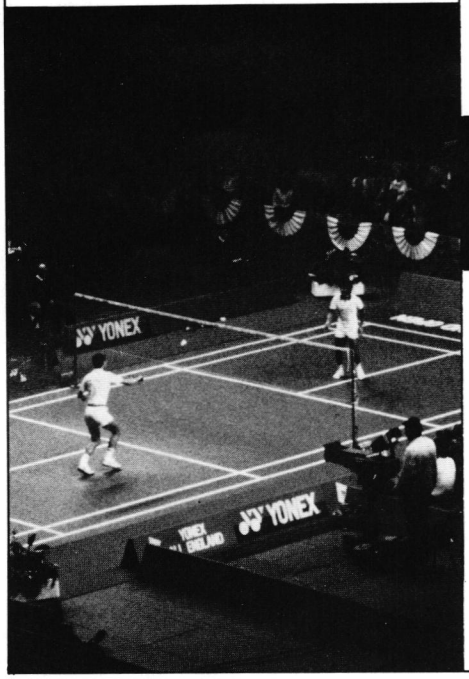


2 FEBRUARY

★16日　全日本女子チャンピオンズ
（東　京）

3 MARCH

6～10　デンマークオープン
（コペンハーゲン）
14～17　スウェーデンオープン
（マ ル モ）
19～24　全英オープン
（ロンドン）
★26～27　全国高校選抜大会
（金 沢 市）



5 MAY

26～6／2　世界選手権
（カルガリーカナダ）

6 JUNE

★19～23　全日本実業団選手権
（藤 沢 市）

7 JULY

18～21　マレーシアオープン
（クアラルンプール）
24～28　インドネシアオープン
（ジャカルタ）

8 AUGUST

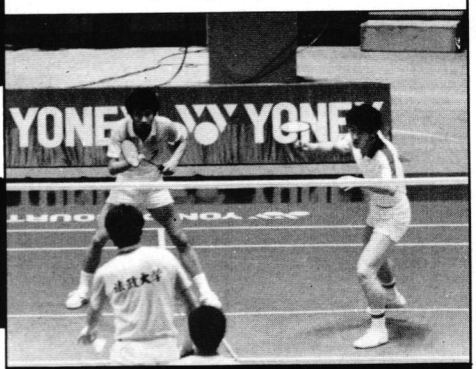
★1～6　全国高等学校選手権
（金沢市他）
★17～21　全日本教職員選手権
（福 井 市）
★22～24　全国中学校大会
（登 別 市）
★下旬　全日本高等専門学校選手権
（苫小牧市）
全日本家庭婦人競技大会
（東 京 都）

9 SEPTMBER

★中旬　全日本社会人選手権
（山梨県勝沼町）

10 OCTOBER

17～20　イングリッシュマスターズ
（ロンドン）
★20～25　全日本学生選手権
（大 阪 市）
★21～24　国民体育大会
（鳥取県大栄町）
23～27　スカンジナビアカップ
（デンマーク）
★26～28　全日本シニア選手権
（上 尾 市）



11 NOVEMBER

★下旬まで（10月中旬開始）
日本リーグ
（東 京 他）

12 DECEMBER

★10～15　全日本総合選手権
（東　京）
11～15　グランプリ決勝
（未　定）
★21～23　全日本ジュニア選手権
（東　京）

※国内は全日本大会、海外は日本選手の参加予定する大会だけを選びました。この他に「日韓定期交流」「日中定期交流」「学生中国合宿」がありますが、いずれも時期・場所は未定。



お好きなスキー場へ、スイスイ。

電話できける交通情報

首都圏ドライバーダイヤル

- **首都圏広域ダイヤル**
  （首都圏内の高速・幹線道路の総合情報）
  (03)236-0111
- **高速道路ダイヤル**
  （東日本の高速道路情報）
  (03)264-0222
- **首都高速ダイヤル**
  （首都高速道路の情報）
  (03)553-0555
- **幹線道路ダイヤル**
  （都内・周辺の幹線道路情報）
  (03)581-0333

電話できけるスキー情報

ゲレンデダイヤル

宮城

- 宮城近県スキー場 (0222)21-3261
- 宮城蔵王えぼし・澄川スキー場 (0222)66-0161＊

山形

- 蔵王温泉スキー場 (0236)94-2001
- 栗子国際スキー場 (0238)34-2020
- 天元台スキー場 (0238)55-2100

福島

- 裏磐梯スキー場 (02413)2-3333
- 猪苗代スキー場 (02426)2-4000

群馬

- 片品村内スキー場 (0278)58-3221
- 白樺林の武尊牧場スキー場 (0278)58-3756＊
- 水上町内スキー場 (0278)72-5000
- 草津白根スキー場 (027988) 2121
- 浅間・万座・鹿沢スキー場 (02799)6-1515

栃木

- 湯元・霧降高原スキー場 (0288)53-2525
- 鶏頂山スキー場 (0288)76-1000

新潟

- 新潟県内スキー場 (0252)25-4141
- 関・燕温泉スキー場 (0255)82-2300
- 妙高高原スキー場 (0255)86-3500
- 赤倉温泉スキー場(ホテル秀山) (0255)87-2200
- 石打、塩沢地区各スキー場 (0257)82-0007＊
- 中里スキー場 (0257)87-3240＊
- 岩原スキー場 (0257)87-3476＊
- みつまた高原スキー場 (0257)88-9100
- 苗場、浅貝、三国スキー場 (0257)89-2706＊

長野

- 長野県内スキー場案内 (0262)34-3200
- 鹿島槍国際スキー場 (0261)23-1234
- 岩岳スキー場 (0261)72-2500
- 八方尾根スキー場 (0261)72-3330
- 白馬乗鞍国際スキー場(白馬アルプスホテル) (0261)82-2800
- 栂池高原スキー場 (0261)83-2200
- 戸隠スキー場 (02625)4-3535
- 黒姫高原スキー場 (02625)5-5151
- 霧ヶ峰スキー場 (0266)53-4126
- 菅平スキー場 (0268)74-2000
- 志賀高原スキー場 (02693)4-2323
- 斑尾高原スキー場 (02696)4-3101
- 木島平スキー場 (026982) 3100
- 野沢温泉スキー場 (026985) 3100

▷情報は、各地スキー場の観光協会等が作成したものです。
▷＊印があるものは、人手による案内です。(夜間のみテープ)
▷サービス提供元の都合により、情報内容や電話番号を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
(通話料は有料です)

ゲレンデダイヤルのお問合せは
(03)214-2233(無料)へどうぞ。
全国のゲレンデダイヤルの電話番号リストは電話局の窓口においてあります。



スキーへのお出かけには、
ドライバーダイヤルと
ゲレンデダイヤルが
お役に立ちます。

電電公社

バドミントンマガジン

毎月16日発売●定価500円

ひとつのエース・ショットに
限りない努力がある。
ひとつの勝利に
限りない情熱がある。



熱き青春を記録するバドマガ

ジャパンオープン'85詳報

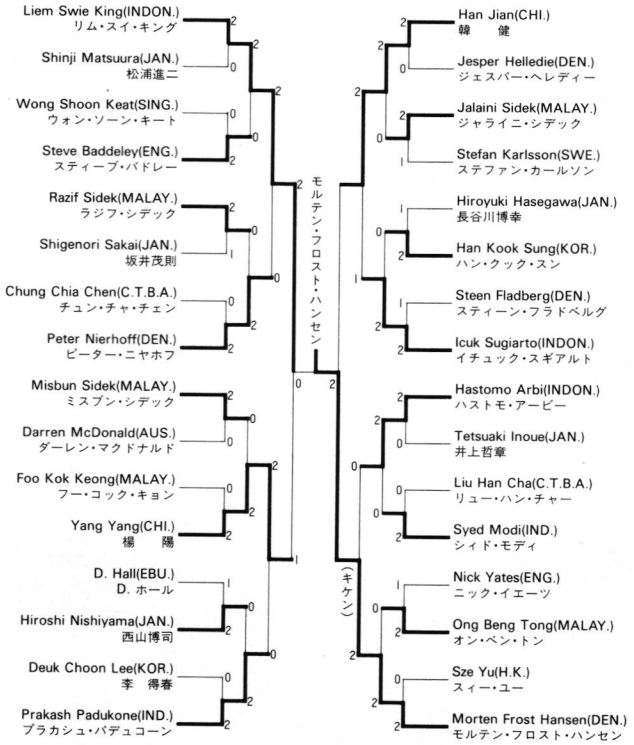
3月号(2月16日発売)に掲載!

BASEBALL MAGAZINE SHA
株式会社ベースボール・マガジン社 〒101東京都千代田区三崎町3-10-10 ☎03(238)0181《販売部》

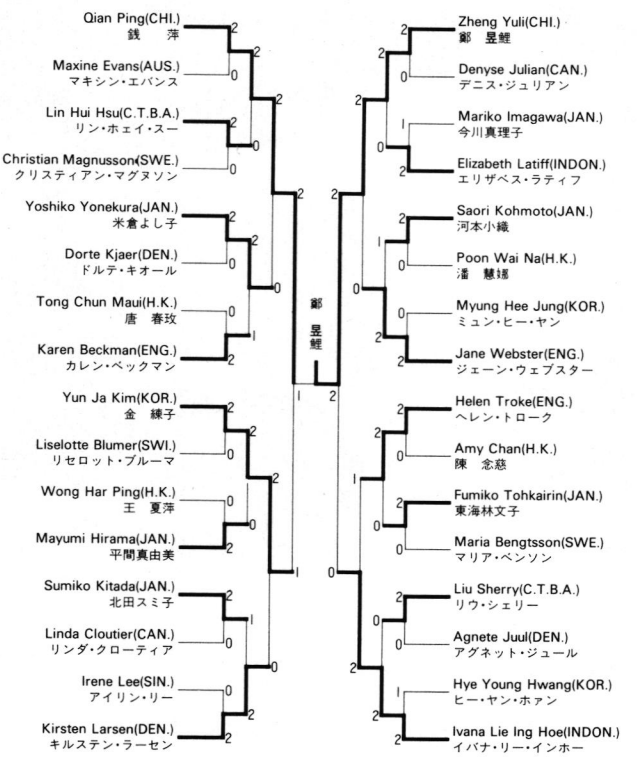
'84 JAPAN OPEN

1984年ジャパンオープン戦績

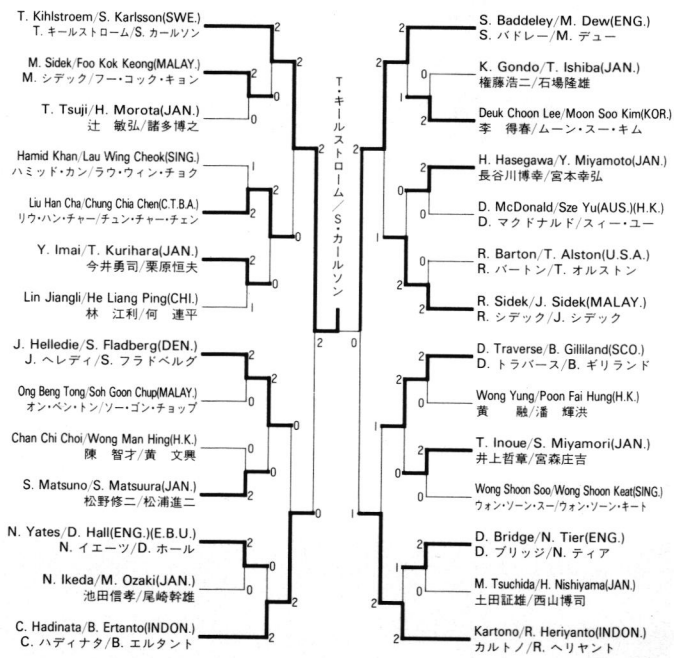
●GENTLEMEN'S SINGLES



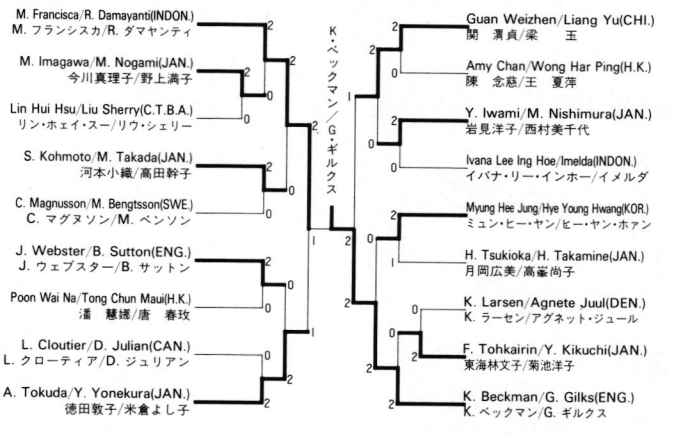
●LADIES' SINGLES



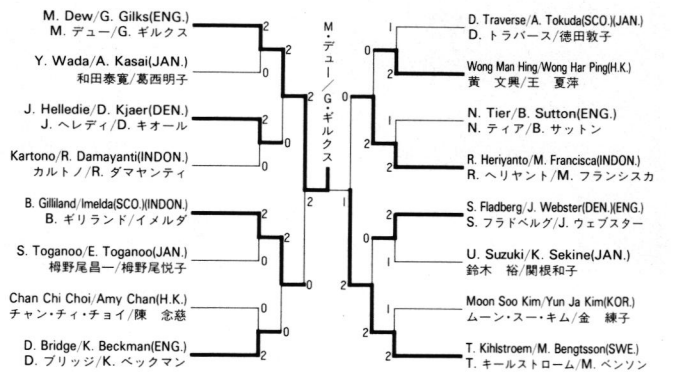
●GENTLEMEN'S DOUBLES



●LADIES' DOUBLES



●MIXED DOUBLES



(AUS.)AUSTRALIA (CAN.)CANADA (CHI.)CHINA (DEN.)DENMARK (ENG.)ENGLAND
(H.K.)HONG KONG (IND.)INDIA (INDON.)INDONESIA (JAN.)JAPAN (KOR.)KOREA
(MALAY.)MALAYSIA (PAK.)PAKISTAN (SCO.)SCOTLAND (SING.)SINGAPORE SWE.)SWEDEN
(SWI.)SWITZERLAND (C.T.B.A.)CHINESE TAIPEI (U.S.A.)U.S.A.

'84 BIG TOURNAMENTS

1984年ビッグトーナメント戦績

'84 GERMAN OPEN

●GENTLEMEN'S SINGLES

Winner	Michael Kjeldsen	Denmark
Runner-up	Andersen	Denmark
Semi Finalists	Andy Goode	England
	Steve Baddeley	England

●LADIES' SINGLES

Winner	Karen Beckman	England
Runner-up	Helen Troke	England
Semi Finalists	Dorte Kjaer	Denmark
	Marjan Ridder	Netherlands

●GENTLEMEN'S DOUBLES

Winner	Martin Dew	England
	Mike Tredgett	
Runner-up	Nigel Tier	England
	Duncan Bridge	
Semi Finalists	Andy Goode	England
	Steve Baddeley	
	Mark Christiansen	Denmark
	Michael Kjeldsen	

●LADIES' DOUBLES

Winner	Karen Beckman	England
	Gillian Gilks	
Runner-up	Gillian Clark	England
	Karen Chapman	
Semi Finalists	J. Pedersen	Denmark
	C. Pilgaard	
	Pamela Hamilton	Scotland
	Miles Johnson	

●MIXED DOUBLES

Winner	Martin Dew	England
	Gillian Gilks	
Runner-up	Mike Tredgett	England
	Karen Chapman	
Semi Finalists	Duncan Bridge	England
	Karen Beckman	
	Nigel Tier	England
	Gillian Clark	

'84 SWEDISH OPEN

●GENTLEMEN'S SINGLES

Winner	Jens-Peter Nierhoff	Denmark
Runner-up	Sze You	Hong Kong
Semi Finalists	Morten Svarrer	Denmark
	Ib. Frederiksen	Denmark

●LADIES' SINGLES

Winner	Fumiko Tokairin	Japan
Runner-up	Yun Ja Kim	Korea
Semi Finalists	Kirsten Larsen	Denmark
	Bok Sum Kim	Korea

●GENTLEMEN'S DOUBLES

Winner	Park Joo Bong	Korea
	Kim Moon Soon	
Runner-up	Thomas Kihlstrom	Sweden
	Stefan Karlsson	
Semi Finalists	Hadibowo	Indonesia
	Hafid Yusuf	
	Jesper Helledie	Denmark
	Jens-Peter Nierhoff	

●LADIES' DOUBLES

Winner	Yun Ja Kim	Korea
	Yoo Sang Hee	
Runner-up	Atsuko Tokuda	Japan
	Yoshiko Yonekura	
Semi Finalists	Gillian Clark	England
	Sally Podger	
	Gillian Gowers	England
	Massam	

●MIXED DOUBLES

Winner	Thomas Kihlstrom	Sweden
	Maria Bengtsson	
Runner-up	Dipak Tailor	England
	Gillian Gowers	
Semi Finalists	Park Joo Bong	Korea
	Yoo Sang Hee	
	Kim Moon Soon	Korea
	Yun Ja Kim	

'84 ALL ENGLAND

●GENTLEMEN'S SINGLES

Winner	Morten Frost Hansen	Denmark
Runner-up	Liem Swie King	Indonesia
Semi Finalists	Han Jian	China
	Michael Kjeldsen	Denmark

●LADIES' SINGLES

Winner	Li Lingwei	China
Runner-up	Han Aiping	China
Semi Finalists	Qian Ping	China
	Zhang Ailing	China

●GENTLEMEN'S DOUBLES

Winner	Rudy Heryanto	Indonesia
	H. Kartono	
Runner-up	Mike Tredgett	England
	Martin Dew	
Semi Finalists	Steen Fladberg	Denmark
	Jesper Helledie	
	Razif Sidek	Malaysia
	Jailani Sidek	

●LADIES' DOUBLES

Winner	Wu Dixi	China
	Lin Ying	
Runner-up	Yun Ja Kim	Korea
	Yoo Sang Hee	
Semi Finalists	Gillian Gilks	England
	Karen Beckman	
	Xu Rong	China
	Wu Jianqiu	

●MIXED DOUBLES

Winner	Martin Dew	England
	Gillian Gilks	
Runner-up	Nigel Tier	England
	Gillian Gowers	
Semi Finalists	Billy Gilliland	Scotland
	Imelda Kurniawan	Indonesia
	Dipak Tailor	England
	Barbara Sutton	

'84 WORLD CUP

●GENTLEMEN'S SINGLES

Winner	Han Jian	China
Runner-up	Yang Yang	China
Semi Finalists	Hastomo Arbi	Indonesia
	Liem Swie King	Indonesia

●LADIES' SINGLES

Winner	Li Lingwei	China
Runner-up	Han Aiping	China
Semi Finalists	Qian Ping	China
	Ivana Lie Ing Hoe	Indonesia

●GENTLEMEN'S DOUBLES

Winner	Liem Swie King	Indonesia
	Kartono	
Runner-up	Tian Bingyi	China
	Li Yongbo	
Semi Finalists	Christian Hadinata	Indonesia
	Hadibowo	
	Razif Sidek	Malaysia
	Jailani Sidek	

●LADIES' DOUBLES

Winner	Wu Jianqiu	China
	Xu Rong	
Runner-up	Wu Dixi	China
	Lin Ying	
Semi Finalists	Gillian Gilks	England
	Li Lingwei	China
	Gillian Clark	England
	Nora Perry	

●MIXED DOUBLES

Winner	Christian Hadinata	Indonesia
	Ivana Lie	
Runner-up	Thomas Kihlstrom	Sweden
	Nora Perry	England
Semi Finalists	Kartono	Indonesia
	Imelda Kurniawan	
	Martin Dew	England
	Gillian Gilks	

'84 MALAYSIAN OPEN

●GENTLEMEN'S SINGLES

Winner	Ichuk Sugiarto	Indonesia
Runner-up	Morten Frost Hansen	Denmark
Semi Finalists	Prakash Padukone	India
	Misbun Sidek	Malaysia

●LADIES' SINGLES

Winner	Li Lingwei	China
Runner-up	Wu Jianqiu	China
Semi Finalists	Guan Weizhen	China
	Sally Podger	England

●GENTLEMEN'S DOUBLES

Winner	Deuk Choon Lee	Korea
	Kim Moon Soon	
Runner-up	Razif Sidek	Malaysia
	Jailani Sidek	
Semi Finalists	Steen Fladberg	Denmark
	Jesper Helledie	
	Steve Baddeley	England
	Martin Dew	

●LADIES' DOUBLES

Winner	Wu Jianqiu	China
	Guan Weizhen	
Runner-up	Christian Magnusson	Sweden
	Gillian Clark	England
Semi Finalists	Gillian Gilks	England
	Karen Beckman	
	Nora Perry	England
	Jane Webster	

●MIXED DOUBLES

Winner	Martin Dew	England
	Gillian Gilks	
Runner-up	Nigel Tier	England
	Gillian Gowers	
Semi Finalists	Billy Gilliland	Scotland
	Imelda Kurniawan	Indonesia
	Thomas Kihlstrom	Sweden
	Nora Perry	

'84 DANISH OPEN

●GENTLEMEN'S SINGLES

Winner	Morten Frost Hansen	Denmark
Runner-up	Jens-Peter Nierhoff	Denmark
Semi Finalists	Prakash Padukone	India
	Misbun Sidek	Malaysia

●LADIES' SINGLES

Winner	Kirsten Larsen	Denmark
Runner-up	Helen Troke	England
Semi Finalists	Fumiko Tohkairin	Japan
	Yun Ja Kim	Korea

●GENTLEMEN'S DOUBLES

Winner	Park Joo Bong	Korea
	Kim Moon Soon	
Runner-up	Morten Frost Hansen	Denmark
	Jens-Peter Nierhoff	
Semi Finalists	Mark Christiansen	Denmark
	Michael Kjeldsen	
	Martin Dew	England
	Steve Baddeley	

●LADIES' DOUBLES

Winner	Kim Moon Soon	Korea
	Yoo Sang Hee	
Runner-up	Atsuko Tokuda	Japan
	Yoshiko Yonekura	
Semi Finalists	Saori Komoto	Japan
	Mikiko Takada	
	Gillian Gilks	England
	Karen Beckman	

●MIXED DOUBLES

Winner	Martin Dew	England
	Gillian Gilks	
Runner-up	Billy Gilliland	Scotland
	Imelda Kurniawan	Indonesia
Semi Finalists	Andy Goode	England
	Gillian Clark	
	Kenneth Larsen	Denmark
	Gitte Paulsen	

ラケットスポーツで世界をむすぶ
GOSEN

今年も提供します。16の世界グランプリ。

昨年、トマ杯、ユ杯をはじめとする16のチャンピオン大会を提供したプロケネックス。今年もまた、ジャパン・オープンなど16のグランプリを全面的にバックアップします。世界中から集まる一流の力と技。プロケネックス・グランプリにふさわしいトッププレーヤーが参加。輝かしい栄光を求めて、いままさに熱い闘いが始まろうとしているのです。



BORON 858 NEW
(A・青／B・赤)
RB-858 ¥14,500(フレーム価格)
ボロン・グラファイトカーボン・コンポジット
ゴールドメタリック仕上げ
ジョイントレス(カバー・フィクチャー付)

＝プロケネックスグランプリ＝

- 香港オープン(1月)
- 台北オープン(1月)
- ジャパン・オープン(1月)
- オランダ・オープン(2月)
- 西独オープン(2月)
- デンマーク・オープン(3月)
- スウェーデン・オープン(3月)
- 全英選手権(3月)
- 世界選手権(6月)
- タイ・オープン(7月)
- マレーシア・オープン(7月)
- インドネシア・オープン(7月)
- インド・オープン(9月)
- ビクター・カップ(10月)
- 英国マスターズ(10月)
- スカンジナビア・カップ(10月)



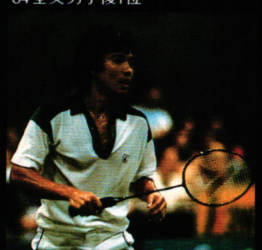
カルトノ(インドネシア)
'83インドネシア・オープン男子複1位
'84全英男子複1位



オン・ベン・トン(マレーシア)
マレーシア、ランキング2位



ダルニー(タイ)
タイ、ランキング1位



ハストモ・アービー(インドネシア)
'84インドネシア・オープン男子単2位



ウォン・スン・キート(シンガポール)
シンガポール、ランキング1位



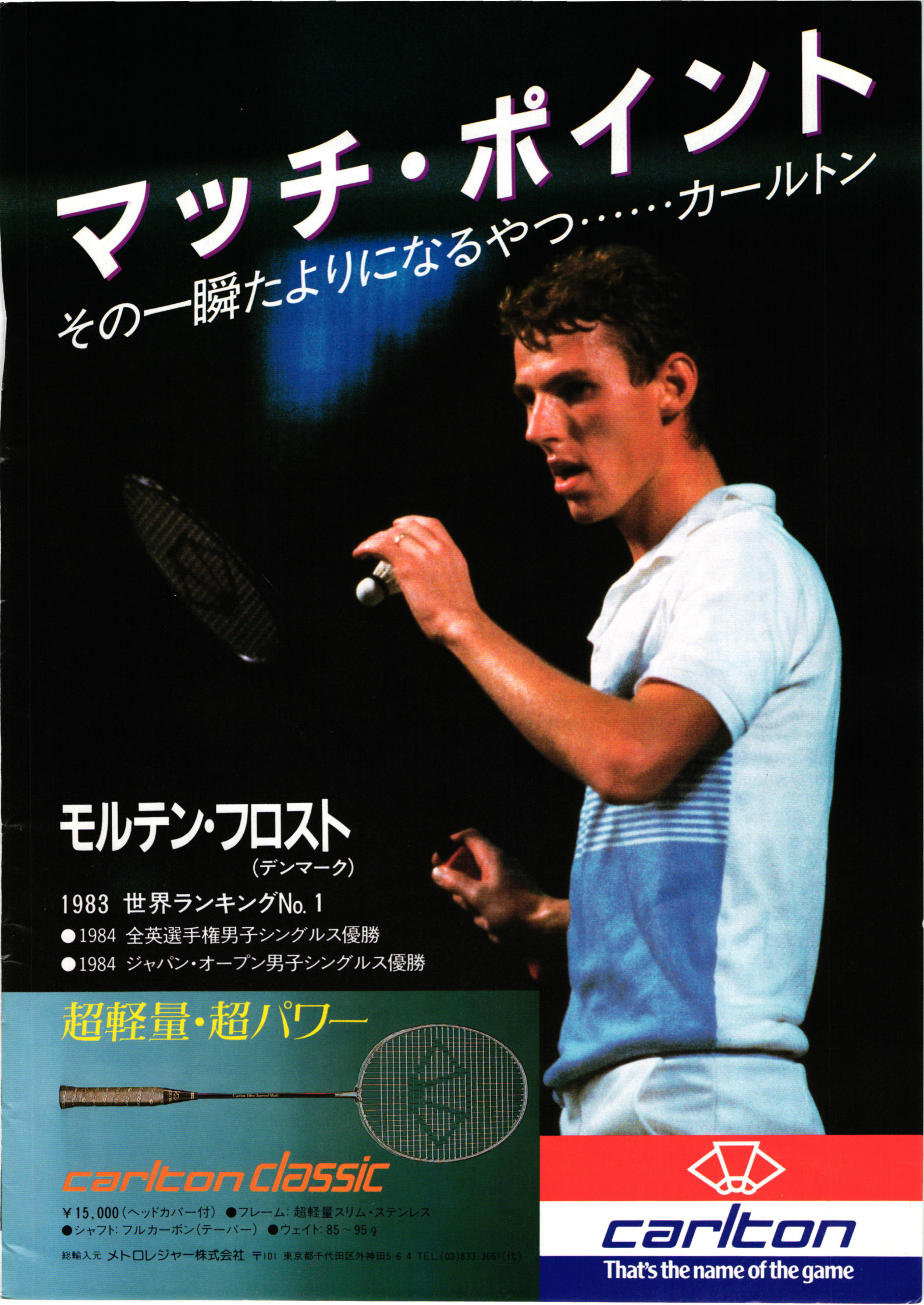
イバナ・リー(インドネシア)
インドネシア、ランキング1位

PRO KENNEX®

株式会社 ゴーセン 本社●〒540 大阪市東区豊後町4 ☎(06)942-5816代 ●東京支店 ☎(03)862-6576代 ●福岡営業所 ☎(092)712-5247代 ●北陸営業所 ☎(0762)91-0223代

マッチ・ポイント

その一瞬たよりになるやつ……カールトン



モルテン・フロスト
（デンマーク）

1983 世界ランキングNo. 1

- 1984 全英選手権男子シングルス優勝
- 1984 ジャパン・オープン男子シングルス優勝

超軽量・超パワー

carlton classic

¥15,000（ヘッドカバー付） ●フレーム：超軽量スリム・ステンレス
●シャフト：フルカーボン（テーパー） ●ウェイト：85～95g

総輸入元 メトロレジャー株式会社 〒101 東京都千代田区外神田5 6 4 TEL.(03)833 3661(代)

carlton

That's the name of the game

TOURNAMENT OFFCERS
大会役員

PRESIDENT

大会会長　桜内　義雄　Yoshio Sakurauchi

VICE-PRESIDENT

大会副会長　真藤　恒　Hisashi Shintoh
小口　政雄　Masao Oguchi
日野　貞夫　Sadao Hino

顧問　石渡　俊一　岩崎　純三　奥田　敬和　北口　博
柴田　勝治　白山源三郎　地崎宇三郎　内藤　健
永末　英一　西村　尚治　林　義郎　藤田　義光
松下　正寿　山崎武三郎　渡辺　秀央　清藤　六郎
佐々木洋平　森　康　松橋　藤吉　鈴木伝四郎
原　正　阿久津順一　笠原　良作　大須田良作
須田　勝勇　曽山　皓　原　二三雄　吉川　芳男
中村　伝　清水規矩雄　宮下　明　織田　喜一
斉藤　武　後藤　淳　安西　武二　神谷　一三
栗本藤四郎　今井　鎮雄　藤田　庸右　坂口　常博
成相　安信　石田　祥史　天野　辰雄　池上　任
俊成　薫　結城　健輔　四島　司　小原　嘉文
鈴田　正武　脇屋　長可　相澤　尚夫　御子柴　進
渡辺弥太郎　月岡朝太郎　佐久間大吉　米丸　芳男
稲福　盛輝　福田　篤泰　原　文兵衛　水谷　巖
米山　稔

参与　伊沢　三郎　今井　先　川端　昇市　小宮　淳宏
宮澤　宏之　玉手　庸　杉田　安雄　小林　芳蔵
上田　敬次　早川　政雄　宮崎　寿雄

CHAIRMAN

大会委員長　小飼　栄一　Eiichi Kogai

DEPUTY CHAIRMAN

副委員長　浅岡　武　Takeshi Asaoka
神沢　暁　Satoru Kanzawa

委員　相澤　和夫　相場　清一　池田　昌道　伊藤　鉱一
今北　基夫　岡本　武利　堺　三徳　里見　光徳
清水　善一　辰市　祐昭　遠井　稔男　内藤　安雄
野村　嘉明　浜中　誠　増田　稔　上原　正士
加藤　三夫　福岡　幸一　村山　幸雄　笠原　一男
小内山信一　竹林　克彦　中村　隆　松橋　裕
板垣　隆房　須藤　博　加藤　寛治　五十里光秋
高橋　重夫　川上　弘　秋山　真男　阿部　孚
長浦　音吉　中島　寿禧　原　紀征　大箸　昭司
伊豆　晃　河田　歳雄　沢　長寿　池田　芳麻
北　義一　木村　寛　吉田健次郎　山根　怜
高麗　久義　安倍　淳美　津守　幸介　東条　義昭
富田　善明　新名　静夫　山本　能也　木原　逸夫
鳥越　邦彦　本郷　節生　川島　一郎　日高　壮
藤本　滋　屋地久　潔　小林　健二　福井　正康
鈴木　梁　樹所　久雄　増田　保夫　桐生　一夫
新井　為治　正田　喜久　高橋　冽　稲村　豊
江黒　亘

THE INTERNATIONAL BADMINTON FEDERATION [I.B.F.] OFFICERS
国際バドミントン連盟役員

OFFICERS FOR 1984–85

PRESIDENT

P-E. Nielsen　Denmark

IMMEDIATE PAST PRESIDENT

C.C. Reedie　Scotland

VICE-PRESIDENTS

S.R. Chadha　India
A.E. Jones　England
Miss Lu Shengrong　China
A.E. Ter Metz　The Netherlands
I.D. Palmer　New Zealand
A.A. Verstoep　France
H.R. Ward　Australia

Chairman of Council:　P-E. Nielsen
Deputy Chairman:　I.D. Palmer

COUNCIL

T. Bacher　Denmark
N.M. Cameron　Scotland
M. Imakita　Japan
S.M. Kassa　Malaysia
D. Tejuoso　Nigeria
T. Tennila　Finland
R. Hartono Kurniawan　Indonesia
R. Johansson　Sweden
J.E. Robson　New Zealand
Miss D. Tinline　Canda
C. Wattanasin　Thailand
Wang Wenjiao　China

CONTINENTAL REPRESENTATIVES

Lee Kin Tat　Asian Badminton Confederation
A.E. Ter Metz　European Badminton Union
R.W.W. Kente　Africa Badminton Federation

HONORARY SECRETARY & TREASURER

H. Valken　The Netherlands

GENERAL SECRETARY

Mrs. V.S. Rowan　England

HONORARY LIFE VICE-PRESIDENTS

D.L. Bloomer　Scotland
S. Mohlin　Sweden

TOURNAMENT COMMITTEES 運営委員会

CHAIRMAN

委員長　今北　基夫　Motoo Imakita

委員　浅岡　武　池田　昌道　神沢　暁　増田　稔
中田　公丸　村山　幸雄　内藤　安雄　米山　広作
土田　隆

HONARARY REFEREE

オーナリーレフリー　里見　光徳　Mitsunori Satomi
中山　紀子　Noriko Nakayama

JOINT REFEREE

ジョイントレフリー　阿彦　周宜　Shugi Ahiko

PLAYER'S SECRETARY

プレイヤーズセクタリー　岡本　進　Susumu Okamoto
森下　一天　Kazuo Morishita
小柳　尚久　Naohisa Koyanagi
中島　浩二　Kozi Nakazima
根岸　英人　Hideto Negishi
五月女考孝　Toshitaka Saotome

MEDICAL DOCTOR

メディカルドクター　小林　総介　Shosuke Kobayashi
来栖　博　Hiroshi Kurusu

東京都実行委員会

委員長　浅岡　武
副委員長
（総務担当）　増田　稔
（競技担当）　鈴木　潔
（審判担当）　清水　善一

総務委員

関　敏夫　花岡　牧夫　千葉　健夫　佐藤　隆
高橋　秀男　根岸　知子　佐賀　武兵　岡本よし子
島原　敦

競技委員

菅原　幸雄　松浪鋭四郎　殿川　宜勝　近岡　昭
宮永　武司　森谷喜久雄　高橋　英夫　峰岸　千尋
取手　悦子　栗田　光憲

審判委員

伊藤　誠彦　坂爪　敏夫　前田　耕作　三須　徳次
入間　秀哲　星野　義昭　本多　修治　渡辺　美雄
弥永　正信　植松　伸勝　山本　昭治　小泉　紘
佐藤　修　吉原　克彦　藤井　伸一　鈴木　利雄
福留晋一郎　山崎　博光　木村　伸一　佐藤　六夫
山下　史郎　坂井　照男　毒島正太郎　堤　靖男
荒谷　勝造　伊東　光男　田中　伴幸　石井　幸男
加藤　泰彦　塚本　修平　樋地　正秀　塙　勝治
鈴木　康信　高松　孝二　吉岡　政雄　小林　正人
大久保忠晴　沼田　七郎　橋本　敏郎　小室　功
根岸　光正　溝内　始　鵜飼　良機　森脇　等夫
川田　喜一　沖山　和男　鬼島　梧郎　稲村　昇

代々木第2体育館　大会本部　TEL(03)467－0138
桐生市民体育館　大会本部　TEL(0277)53－7900

群馬県実行委員会

委員長　中田　公丸
副委員長
（総務担当）　正田　喜久
（競技担当）　高橋　冽
（審判担当）　稲村　豊　江黒　亘

総務委員

星野　寛一　小池　裕　関　俊夫　門倉憲一
西巻　育夫　今井　勇司　面川　富　早川　剛
藤生　章三　青木　実　土屋隆一郎　鏑木多亀寿
高田　泰司　茂木　泉　青木　弘行　下山　孝
住吉　一江　青山　澄子　大森　桂子　狩野　勝枝
柿沼　一江　田島　和子　市川　弘子　近藤　政子
吉沢加代子　和田　広美　今井　忠夫　星野　博之
森山　勝広

競技委員

高田　昌紀　武藤　茂　小林　克史　新木　敬司
桐生台次郎　真塩林二郎　米山　一男　山同偉佐夫
新井　学　青木　利夫　山口　知彦　堀江　延治
中村　弘行　今井　重行　宮田　猛　奈良　次男
亀山　治夫　栗原　恒夫　鏑木　智博　秋庭　克行
浅見　裕子　南雲　栄子　野口　英代　高橋　佳子
長岡　裕子　秋山　晴江　岩崎　盛和

審判委員

石黒　次男　新木　恵一　遠藤　幸夫　山口健次郎
土屋　昭一　真下　清　渡辺　晃一　千葉　元衛
石井　幸司　高橋　保　奈良　弘之　梅山　雅章
川和　彰二　高橋　新一　佐藤　忍　中沢　章
橋本　誠次　橋本　克司　金井　秀人　石関　正
住谷　芳朗　加賀谷　宏　桑原　茂　古川　栄一
松本喜久男　湯浅　正一　狩野　倅一　岸　浩
関根　兵次　茂木　孝　石井今朝雄　高橋　政明
吉野　博　唐品　喜一　藤井　健一　志賀　英一
高野　貞男　竹内　康夫　丸山　清春　藤田　康夫
角田　恒雄　池田　幸雄　志村　勝巳　平野　浩
平野　和男　立沢　茂　小島　靖　多田　哲夫
堀越　幸治　小島　敏晴　吉田　紳二　松崎　和弘
半田　実　饗庭　孝夫　田中　司　小野田国雄
宇治川公三　金井　功　北村　芳夫　北山　俊光
亀里徳次郎　川崎　誠二　田中　正弘　金井　徹
杉山　弘　湯浅　宏　田中　孝一　津久井善友
竹之内岩男　関口　和茂　二宮　政康　松井　義光
地曳　義朗　松村　公夫　金原　康悦　中野　二郎
吉野　茂男　柳沢　宣夫　桑原英一郎　小室　泰博
高野　章　中里　敏夫　千明　博　星　健治
浅野　佳夫　佐藤　保　阿部　正平　富所　陽子
山本　朋子　増淵千恵子　奈良　武枝　大　祐子
関　みどり

マイタイム マイコンビニエンス

受験勉強の夜食に
お弁当、おにぎり、カップみそ汁

ミセスのヘルシーランチに
サンドイッチ＆野菜サラダ

おやつタイムは
プリトーやじゃがまるくん

エアチェックに
カセットテープ
と電池

お友達のお祝いに
各種のし袋

思いがけないにわか雨
傘やハンカチ

通勤途中のブレックファーストは
ハンバーガーにコーヒー

今日、学校で使う文房具
ノート、鉛筆、消しゴム…

突然の電球ぎれやショート！
蛍光灯、電球、ヒューズ

晩酌のおともは
おつまみ、ロックアイス



セブン-イレブンは、みなさまの暮らしの時間に必要なものを、必要な時にすぐ手に入れられる便利なお店です。早朝から深夜まで、あなたのマイタイムに上手にご利用ください。

株式会社
セブン-イレブン・ジャパン
〒105 東京都港区芝公園4丁目1番4号



スポーツ最前戦 《ザバス》でチューンナップ。

ザバス・ニューコレクション

新発売



競技者のスポーツドリンクは「ハイポトニック」

スポーツドリンクは飲んだときの吸収スピードが勝負。より吸収の早いハイポトニック(低浸透圧)が《NEWクラッシャー》の特徴です。

NEW Crusher
SPECIAL DRINK ONLY FOR ATHLETE

NEWクラッシャー パウダー(1ℓ用)200円
ボトル (1ℓ用)400円

新発売



スポーツエキスパートのコンディショニングに

試合前のコンディション維持にはビタミンCが絶対条件。《NEWザバスC》1粒にはレモン10個分(果汁換算)、約200mgのビタミンCが含まれています。

HI-GRADE TYPE TEAM USE
NEW SAVAS C

NEWザバスC 1壜(75粒入り)1,800円

新発売



タフな骨格に毎日摂ろうカルシウム

ハードな競技には、骨から鍛えよう。《NEWカル・タブ》1粒には約75mgの豊富なカルシウムが含まれています。

HI-GRADE TYPE TEAM USE
NEW Cal-Tab

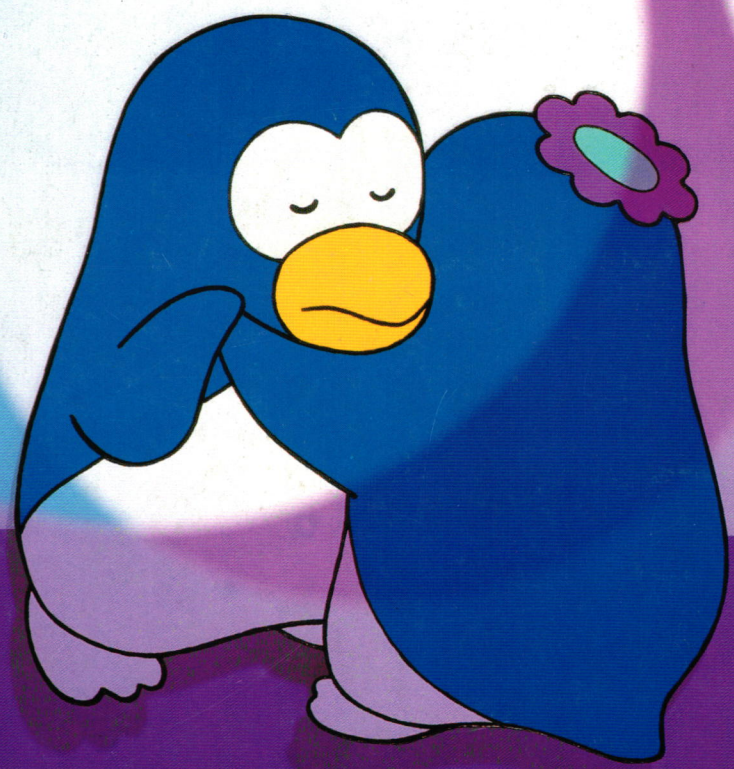
NEWカル・タブ 1壜(100粒入り)1,800円

高度化した近代スポーツ。精神力だけでは、その最前戦を勝ち抜くことはできません。毎日の食生活にスポーツ・ニュートリション(栄養素)を取り入れ、科学的なトレーニングを実践することこそ、勝利への最短距離。スポーツ・ニュートリション《ザバス》で体のチューンナップ。

SAVAS
Sports Nutrition

発売元:株式会社アシックス 製造元:明治製菓株式会社 ●ザバス取扱い店及びご購入に関するお問合せは:明治製菓ザバス販社
明治製菓株式会社ザバス事業部:〒104 東京都中央区京橋2-4-16☎(03)271 0367 東京/☎(03)862-6375 大阪/☎(06)323-5466

思い出だけでは、生きていけない。
カンビールください。



●ふたりで、ひとつの夢を見たこともありました。ふたりで、一本のカンビールを飲んだこともありました。なぜか、楽しいことばかり思い出します。愛があふれて、恋がこぼれたのでしょうか。逃がした魚は、ほんと大きい。と、思いつつ、僕はカンビールを飲んでいます。君と飲んだカンビールです。お達者で。



■ミニ缶135ml・ミニ缶250ml・レギュラー缶350ml・ロング缶500ml・ダブル缶700ml・ジャンボ缶1,000ml・スーパージャンボ缶1.15ℓ

SUNTORY BEER

CAN

サントリー生ビール

製造・販売 サントリー株式会社

TIME TABLE
大会日程

1・22 ㊋Tuesday

タイム Time	試合 Game	コート Court No.	1	2	3	4	5	6	7	8
14:00	混合ダブルス〈1回戦〉	Mixed Doubles 1st Round		①	②	③	④	⑤		
16:00	混合ダブルス〈2回戦〉	Mixed Doubles 2nd Round	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
17:00	女子シングルス〈1回戦〉	Ladies' Singles 1st Round		①		②	③		④	
18:00	女子シングルス〈2回戦〉	Ladies' Singles 2nd Round	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑭	⑮
19:00	女子シングルス〈2回戦〉	Ladies' Singles 2nd Round	⑯	⑤	⑰	⑫	⑬	⑱	⑳	⑲
20:00	混合ダブルス〈3回戦〉	Mixed Doubles 3rd Round	⑭		⑮			⑯		⑰

1・23 ㊌Wednesday

タイム Time	試合 Game	コート Court No.	1	2	3	4	5	6	7	8
14:00	男子シングルス〈1回戦〉	Gentlemen's Singles 1st Round	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
15:00	女子ダブルス〈1回戦〉	Ladies' Doubles 1st Round	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
16:00	男子シングルス〈2回戦〉	Gentlemen's Singles 2nd Round	⑩	⑪	⑭	⑮	⑱	⑲	㉒	㉓
17:00	男子シングルス〈2回戦〉	Gentlemen's Singles 2nd Round	⑨	⑫	⑬	⑯	⑰	⑳	㉑	㉔
18:00	女子ダブルス〈2回戦〉	Ladies' Doubles 2nd Round	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
19:00	男子ダブルス〈1回戦〉	Gentlemen's Doubles 1st Round	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
20:00	男子ダブルス〈1回戦〉	Gentlemen's Doubles 1st Round	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯

1・24 ㊍Thursday

タイム Time	試合 Game	コート Court No.	1	2	3	4	5	6	7	8
14:00	男子シングルス〈3回戦〉	Gentlemen's Singles 3rd Round	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜
15:00	女子シングルス〈3回戦〉	Ladies' Singles 3rd Round	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘
16:00	男子ダブルス〈2回戦〉	Gentlemen's Doubles 2nd Round	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔
17:00	女子ダブルス〈3回戦〉	Ladies' Doubles 3rd Round	⑯		⑰			⑱		⑲
18:00	男子シングルス〈4回戦〉	Gentlemen's Singles 4th Round		㉝		㉞	㉟		㊱	
19:00	女子シングルス〈4回戦〉	Ladies' Singles 4th Round	㉙		㉚			㉛		㉜
20:00	男子ダブルス〈3回戦〉	Gentlemen's Doubles 3rd Round		㉕		㉖	㉗		㉘	

1・26 ㊏Saturday

タイム Time	試合 Game	コート Court No.	1	2
12:00	女子ダブルス〈準決勝〉	Ladies' Doubles Semi Final	⑳	㉑
13:00	男子シングルス〈準決勝〉	Gentlemen's Singles Semi Final	㊲	㊳
14:00	混合ダブルス〈準決勝〉	Mixed Doubles Semi Final	⑱	⑲
15:00	女子シングルス〈準決勝〉	Ladies' Singles Semi Final	㉝	㉞
16:00	男子ダブルス〈準決勝〉	Gentlemen's Doubles Semi Final	㉙	㉚

1・27 ㊐Sunday

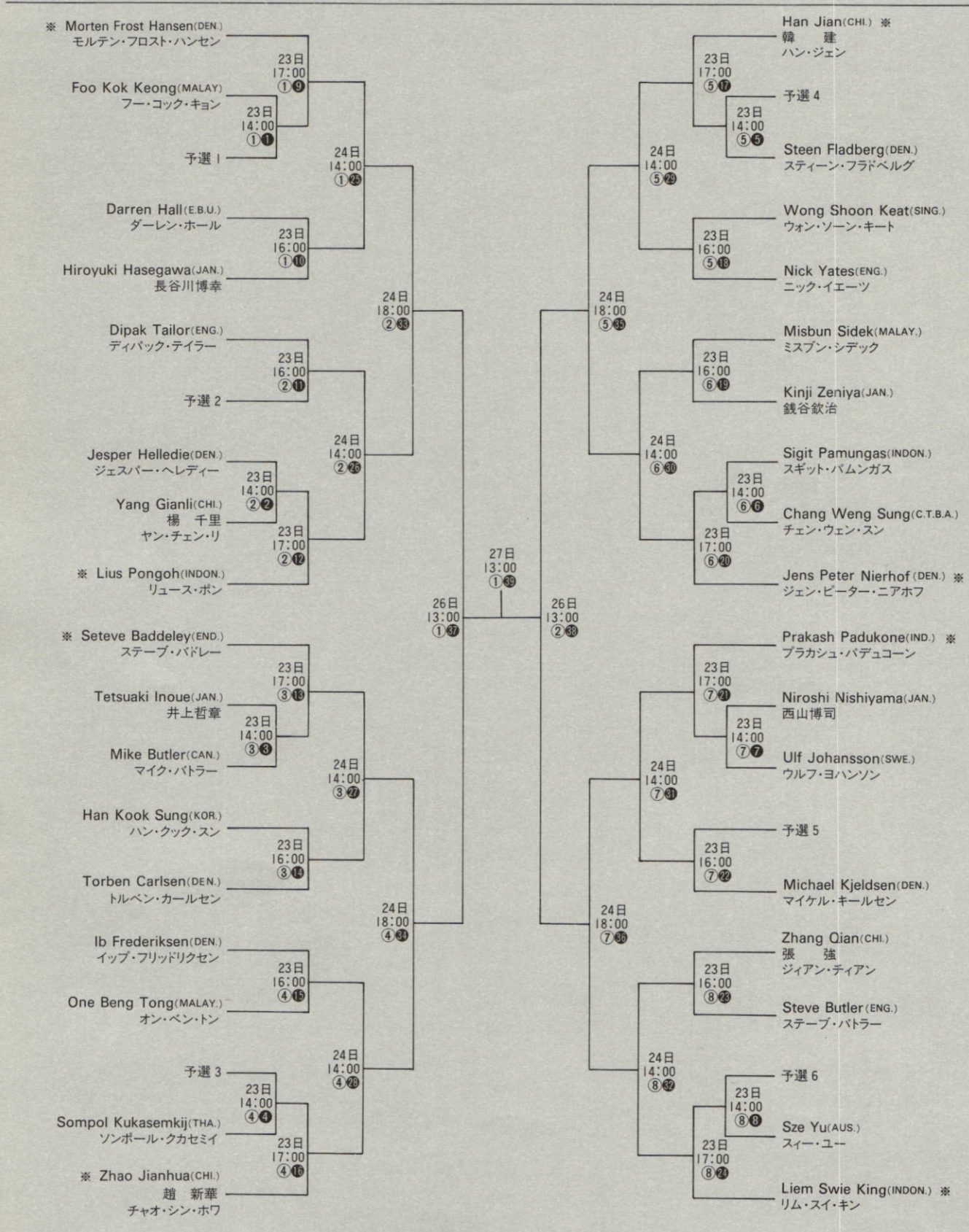
タイム Time	試合 Game	コート Court No.	1
12:00	女子ダブルス〈決勝〉	Ladies' Doubles Final	㉒
13:00	男子シングルス〈決勝〉	Gentlemen's Singles Final	㊴
14:00	混合ダブルス〈決勝〉	Mixed Doubles Final	⑳
15:00	女子シングルス〈決勝〉	Ladies' Singles Final	㉟
16:00	男子ダブルス〈決勝〉	Gentlemen's Doubles Final	㉛

男子シングルス Gentlemen's Singles
男子ダブルス Gentlemen's Doubles
女子シングルス Ladies' Singles
女子ダブルス Ladies' Doubles
混合ダブルス Mixed Doubles

1/22の15:00は予選
①②③…＝試合番号　Game No.
時間及び種目については変更となる場合があります。
Some miner changes of the above schedule, may be obliged.

男子シングルス
Gentlemen's Singles

YONEX CUP JAPAN OPEN '85
BADMINTON CHAMPIONSHIPS



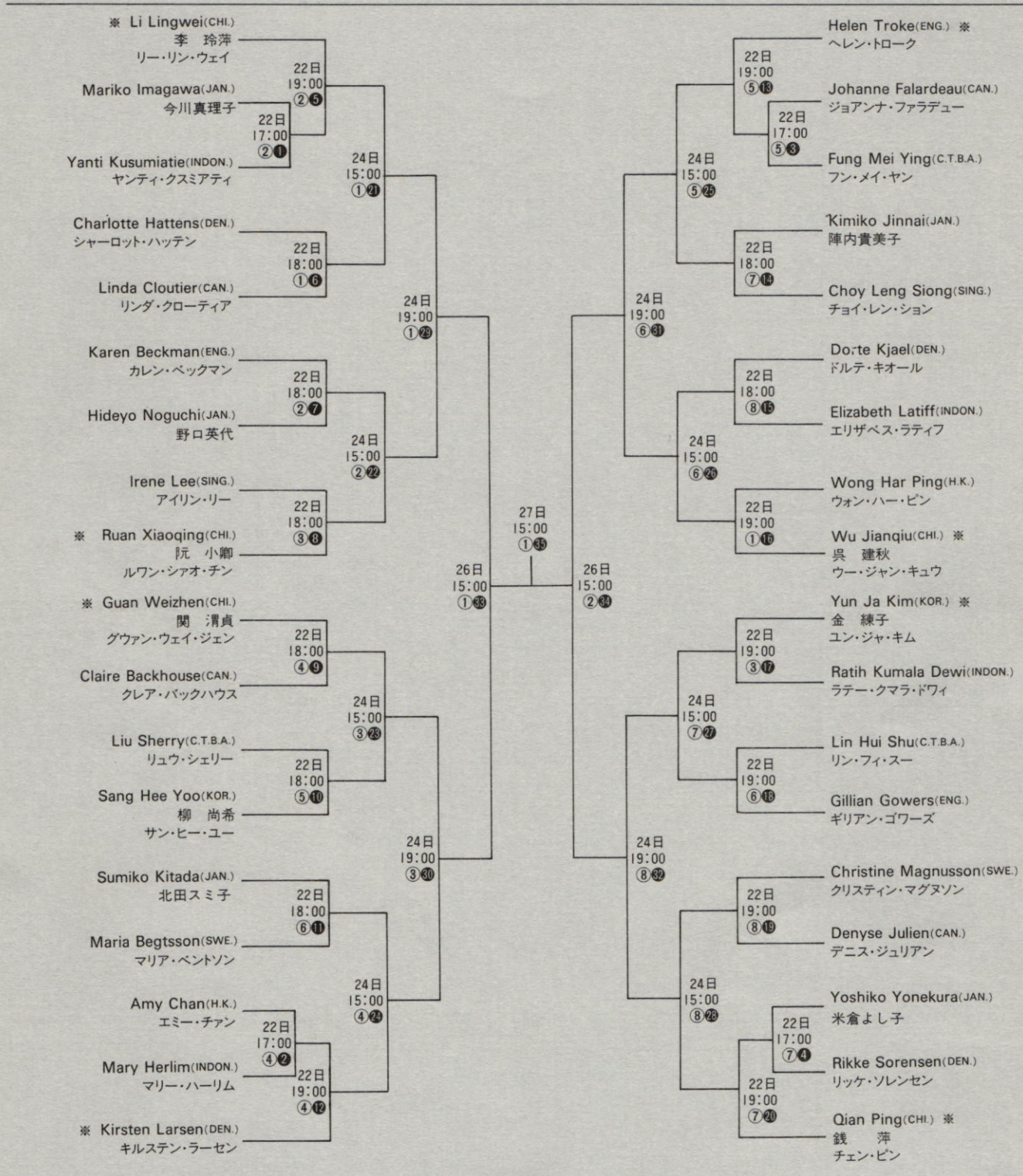
○数字はコート番号 ●数字は試合番号です

※Seeded player

(AUS.)AUSTRALIA (AUST.)AUSTRIA (CAN.)CANADA (CHI.)CHINA (DEN.)DENMARK (ENG.)ENGLAND (H.K.)HONG KONG (IND.)INDIA (INDON.)INDONESIA (JAN.)JAPAN (KOR.)KOREA (MALAY.)MALAYSIA (NEW.)NEW ZEALAND (SCO.)SCOTLAND (SWE.)SWEDEN (C.T.B.A.)CHINESE TAIPEI (THA.)THAILAND (U.S.A.)U.S.A.

女子シングルス
Ladies' Singles

YONEX CUP JAPAN OPEN '85
BADMINTON CHAMPIONSHIPS

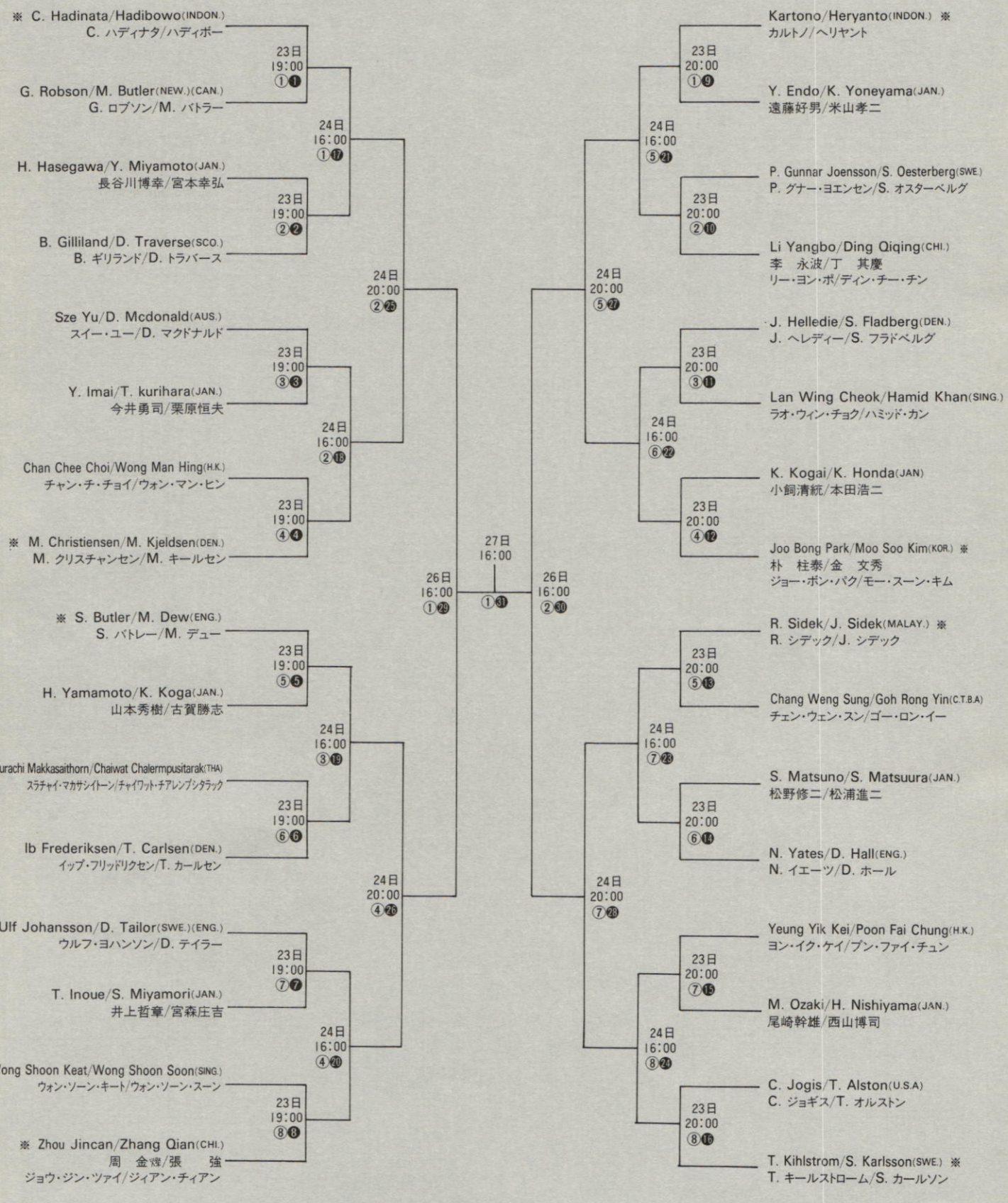


○数字はコート番号 ●数字は試合番号です

※Seeded player

男子ダブルス
Gentlemen's Doubles

YONEX CUP JAPAN OPEN '85
BADMINTON CHAMPIONSHIPS

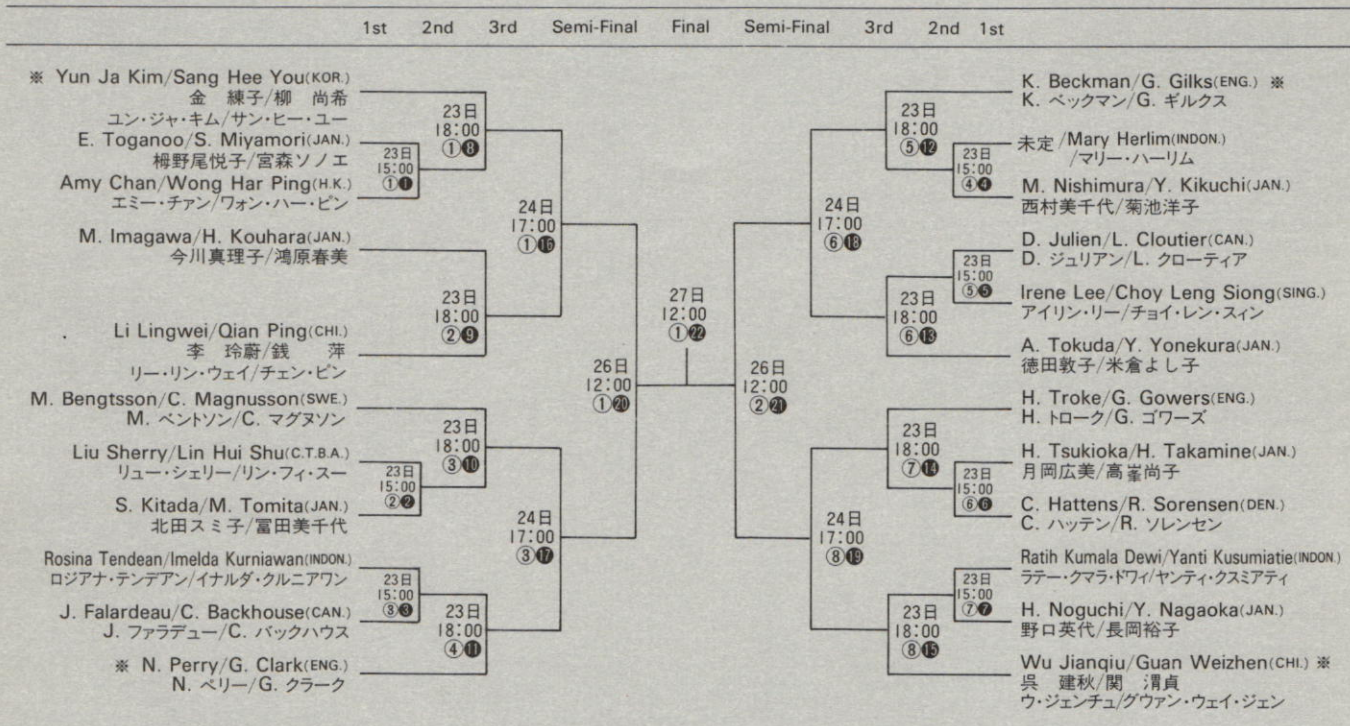


○数字はコート番号 ●数字は試合番号です

※Seeded player

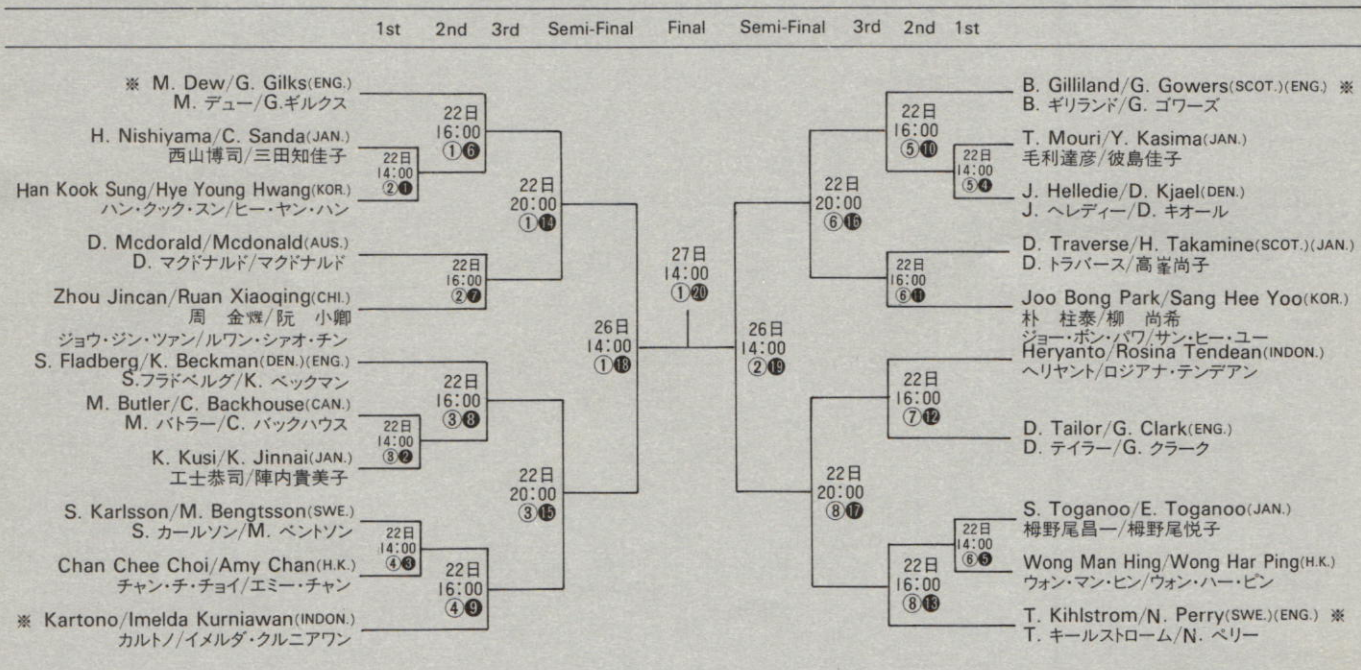
女子ダブルス
Ladies' Doubles

YONEX CUP JAPAN OPEN '85
BADMINTON CHAMPIONSHIPS



混合ダブルス
Mixed Doubles

YONEX CUP JAPAN OPEN '85
BADMINTON CHAMPIONSHIPS



○数字はコート番号 ●数字は試合番号です

※Seeded player